

# リアホサ



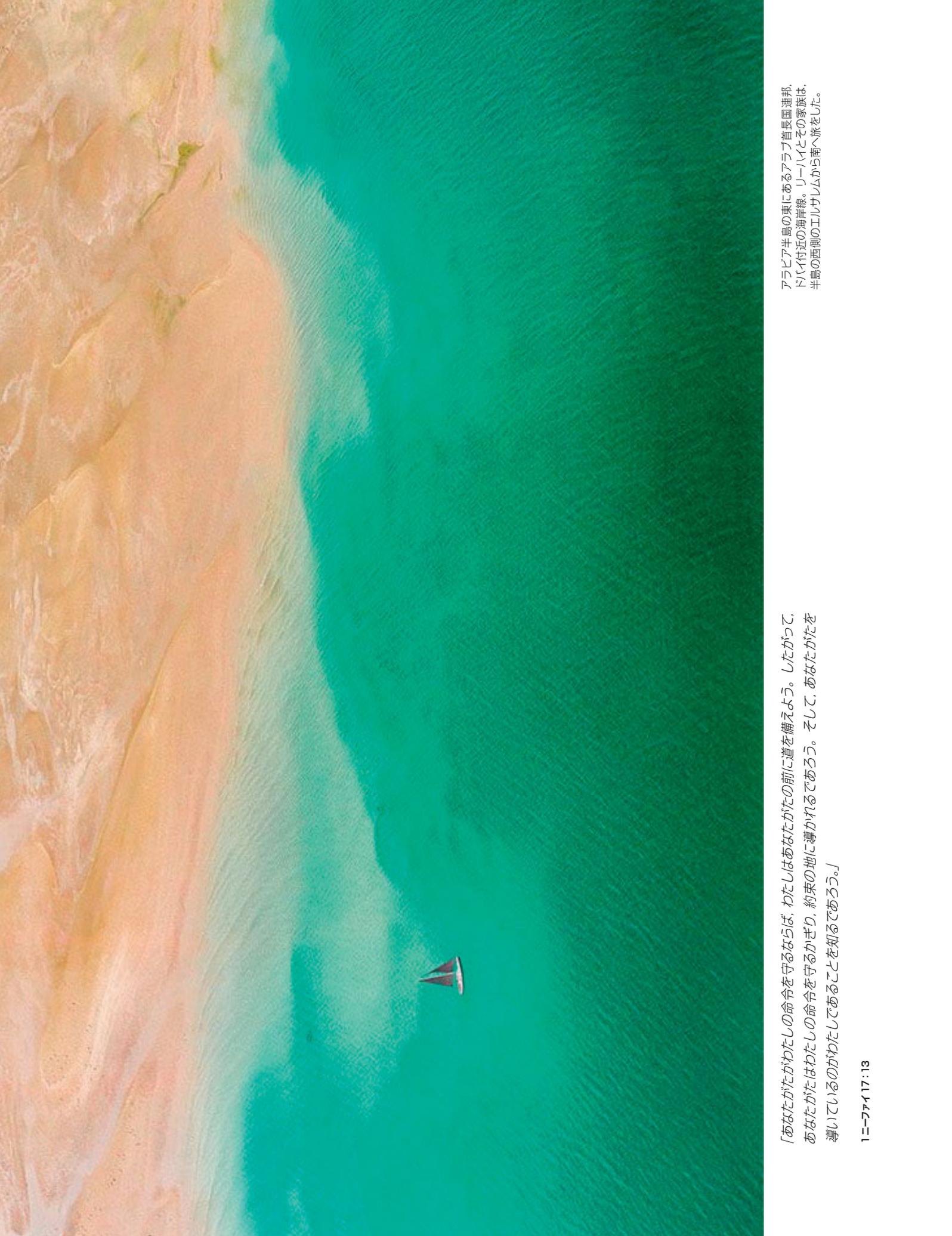
**ハワード・W・ハンター**

——父親, 弁護士, 音楽家, 預言者, 18 ページ

あなたの人生を変えるモルモン書のカ,  
24, 40, 56, 68, 72 ページ

神会についての知識を得る,  
32 ページ

人生設計で困っていますか?  
神の設計図を試してみてください, 62 ページ



「あなたがたがわたしの命令を守るならば、わたしはあなたがたの前に道を備えよう。したがって、あなたがたはわたしの命令を守るかぎり、約束の地に導かれるであろう。そして、あなたがたを導いているのがわたしであることを知るであろう。」

アラビア半島の東にあるアラブ酋長国、連邦、ドバイ付近の海岸線。リーハイとその家族は、半島の西側のエルサレムから南へ旅をした。



メッセージ

- 4 大管長会メッセージ——  
愛する人たちの幸せ  
ヘンリー・B・アイリング管長
- 7 家庭訪問メッセージ——  
家族—世界への宣言

特集

- 18 ハワード・W・ハンター——  
わたしの父、預言者  
リチャード・A・ハンター  
息子から見た末日の預言者について
- 24 モルモン書が持つ改心を促す力  
ケビン・S・ハミルトン長老  
イエス・キリストの福音に関する証<sup>あかし</sup>  
を得るための鍵が一つあります。
- 28 わたしに従ってきなさい——  
家庭で基本を教える  
アリシア・スタントンと  
ナタリー・キャンベル  
月ごとの青少年のテーマを家族で  
学ぶためのアイデア
- 32 神会を知る  
ジェフリー・R・ホランド長老  
わたしたちは、イエスが祈りの中で  
わたしたちに望まれたように、御父  
と御子、そして聖霊と一つになるこ  
とができるよう努力する必要があります。

シリーズ

- 8 2015年10月の大会ノート
- 10 わたしたちが信じていること——  
前向きに生きることを信じる
- 12 わたしたちの家庭、  
わたしたちの家族——  
ポルノグラフィーに対する  
最大の防御  
ケリー・ハンソン・ジェンセン
- 14 熟考——  
わたしたちが望んでいた  
奇跡ではなく  
ブリタニー・キング
- 15 教会での奉仕——  
祈ってみてください  
タリン・テラー
- 16 教会のニュース
- 40 末日聖徒の声
- 80 また会う日まで——  
夜行特急のたとえ  
ジェームズ・E・タルメージ長老

表紙  
表紙——  
孫のキャスリーンとアンと一緒に写る  
ハワード・W・ハンター大管長の写真。  
表紙裏——  
写真/アブラー・モシン  
裏表紙裏——  
写真/ロバート・ケーシー

44



**44 死すべき世** ——  
その明らかにされた現実  
ポール・B・パイパー長老

わたしたちは、永遠の幸福へと至る現世の生涯で全ての恩恵を経験するために、サタンの偽りを拒まなければなりません。



こんげつごう なか  
**今月号の中に**  
かく  
**隠れている**  
リアホナを  
さが  
**探しましょう。**  
ヒント ——  
いままで  
どのよう**な旅**を  
けいけん  
**経験**しましたか。



**50 2016年 ミューチャルのテーマ** ——  
キリストを確固として信じ、  
力強く進む

中央若い男性会長と  
中央若い女性会長

**52 教えに教え** ——  
2 ニーファイ 31 : 20

**53 ポスター** —— 力強く進む

**54 天の御父について学ぶ** ——  
壮大なスケールの研究

あなたはどれほどよく御父のことを  
知っていますか。

**56 モロナイと母と人生の教え**

ルイーザ・ホー

家で福音を学ぶことは、わたしにとつ  
て大きな祝福でした。

**58 わたしたちのスペース**

**60 教会指導者からの答え** ——  
力強く進む方法

ニール・L・アンダーセン長老

**61 そこが知りたい**

**62 神を設計者とする**

デビッド・ディクソン

神はあなたの人生のために、あなた  
が思い描くよりもすばらしい計画を  
お持ちです。

71



**66 しっかりと立つ子供たち** ——  
エチオピアでしっかりと立つ

エイミー・ジェーン・レビット

**68 毎日もっとよく読む**

マリッサ・ウィディソン、  
ソニア・クエナラタ

モルモン書は、ジョセフがもっとよ  
く読めるよう助けてくれました！

**70 使徒からの答え** ——

どうすれば自分のあかしを  
持つことができるでしょうか。

ロバート・D・ヘイルズ長老

**71 ウィルフォードのだんじき献金**

黄(サム) 志康長老

ウィルフォードは働いてお金をも  
らってはいませんが、かれの  
持っているものを分け合いたいと  
思っていました。

**72 モルモン書は**  
イエス・キリストについて教える

モルモン書のすべての預言者は、イ  
エスについて教えました。

**74 モルモン書のヒーロー** ——  
ニーファイは従順でした

**75 わたしは** モルモン書を  
読むことが できます

**76 小さな みんなのために** ——  
あれ野のたび

**79 色を めりましょう** ——  
わたしは 正しいことを  
えらぶことが できます

# 家庭の夕べのためのアイデア

今月号には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。以下に二つの例を挙げます。



「わたしに従ってきなさい——家庭で基本を教える」28ページ——この記事には、6つのテーマについて、教え、学ぶためのアイデアが載っています。家庭の夕べで、1月の青少年のテーマ「神会」のアイデアを用いるとよいでしょう。また、記事で説明されている学習方法を家族でもう一度読み、家族の役に立つ方法について話し合うのもよいでしょう。今後、この記事にある福音のテーマに基づいて家庭の夕べでレッスンするときには、これらの方法を用いてレッスンを準備するよう家族に勧めるとよいでしょう。

「あれ野のたび」76ページ——家具の位置を変えたり、廊下に糸を張ったりして、家の中に短い障害物コースを設けます。一人を除く家族全員に目隠しをし、目隠しをしていない人の指示に従ってコースを通り抜けてもらいます。その後、天の御父がどのようにニーファイと家族を約束の地まで導かれたかを話し合います。それから、天の御父のもとに無事に戻れるように、御父はあなたと家族のためにどのような方法を備えてくださったかについて話し合うとよいでしょう。

## あなたの言語で

[languages.lds.org](http://languages.lds.org) で、「リアホナ」や、教会のその他の資料を多くの言語で入手できます。家庭の夕べのアイデアや、日曜日のレッスンのためのヒントや、友達、家族と分かち合える内容を見つけるために、[Facebook.com/liahona.magazine](http://Facebook.com/liahona.magazine) (現在は英語・スペイン語・ポルトガル語のみ) をご覧ください。

## 今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

- |                                  |                                  |   |
|----------------------------------|----------------------------------|---|
| 愛, 4, 32, 50, 52, 60             | 従順, 4, 32, 60, 62, 70, 74        | 天の御父, 32, 54, 70                                      |
| 証, 32, 42, 58, 66, 70            | 神会, 28, 32                       | ハンター、ワード・W, 18  |
| イエス・キリスト, 28, 32, 50, 52, 70, 72 | 神権, 28, 50                       | 召し, 15  |
| 折り, 14, 15                       | 信仰, 50, 58, 60, 62, 80           | モルモン書, 12, 24, 40, 41, 42, 43, 66, 68, 72, 74, 75, 76 |
| 永遠の命, 50, 52                     | 親切, 18, 71                       | 預言者, 18, 28   |
| 教える, 28                          | 救いの計画, 28, 44                    | 喜び, 4, 10   |
| 改心, 40                           | 青少年, 50, 58                      | 労働, 44  |
| 家族, 7, 12, 14                    | 聖文研究, 12, 54, 56, 58, 70, 72, 75 |   |
| 家庭の夕べ, 12, 28, 54                | 聖霊, 4, 28, 32, 50, 52, 70,       |   |
| 犠牲, 18, 71                       | 選択の自由, 4, 44                     |   |
| 希望, 50, 52, 60, 62               | 態度, 10, 50                       |   |
| 結婚, 18, 44                       | 断食献金, 71                         |   |
| 子供, 14, 15, 44                   | 伝道活動, 10, 58, 66                 |   |



大管長会第一顧問  
ヘンリー・B・  
アイリング管長

## 愛する人たちの 幸せ

わたしたちは皆、愛する人たちが幸せであってほしいと願っています。できる限り彼らの苦しみが少なくあってほしいと思っています。モルモン書にある幸福の記録や苦しみの記録を読むとき、愛する人たちのことを考えて心が揺さぶられます。現実にあった幸せな時代について次のように記録されています

「そして、民の心の中に宿っていた神の愛のために、地の面にはまったく争いがなかった。

また、ねたみや紛争、騒動、みだらな行い、偽り、殺人もなく、どのような好色もなく、神の手によって造られたすべての人の中で、彼ら以上に幸せな民は確かにあり得なかった。」

さらに、こう記されています。

「彼らは何と祝福されていたことか。主が彼らの行くすべてのことについて彼らを祝福されたからである。第百十年が過ぎ去るまで、彼らは祝福されて栄えた。そして、キリストからの最初の世代の人々が世を去ったが、全地に少しも争いがなかった。」(4 ニーファイ 1:15 - 16, 18)

キリストに従う愛にあふれた弟子たちは、他の人や自分自身がこのような祝福にあずかれるように祈り、働きます。モルモン書にある話から、またわたしたちの多くにとっては自分自身の経験から、わたしたちは幸せという賜物たまものが手の届くところにあるということを知っています。幸せに至る道が明らかにされていることを知っています。また、救い主が訪れられた後のニーファイ人のように、「神の愛」が心に宿っていない限り、幸せを維持することは容易ではないことも知っています。

その愛はニーファイ人の心の中にありました。というの

も、それを可能にする律法を彼らが守っていたからです。その律法を要約したものが聖餐せいさんの祈りの中に見られます。聖餐の祈りは愛にあふれる天の御父への心からの嘆願で始まります。わたしたちは自分の救い主を信じる信仰を心に満たし、救い主に対する深い愛を込めて祈ります。救い主の名を受け、救い主を覚え、救い主の全ての戒めを守ると真心から約束します。最後に、神会の第三の御方である聖霊をいつも受けることができるという信仰を働かせます。聖霊はわたしたちの心に御父と御父の愛する御子について証してください。(教義と聖約 20:77, 79 参照)

聖霊を伴侶とすることで、わたしたちの心は変わります。天の御父と主イエス・キリストの愛を望み、喜んで迎え入れるようになるのです。神の愛を心に宿す方法は簡単です。同様に、心の中にあるその愛の気持ち<sup>あま</sup>を失うのも簡単です。例えば、天の御父にあまり祈らない、什分じゅうぶんの一を完納しない、神の言葉をよく味わうのをやめる、貧しい人や助けの必要な人を顧みない、といった選択をする人がいるかもしれません。

主の戒めを守らないという選択は何であっても、御霊みたまがわたしたちの心から去る原因になり得ます。御霊が失われれば、幸せな気持ちも消えていきます。

わたしたちは愛する人たちが幸せになるよう願っていますが、それは、その人がどんな選択をするかに懸かっています。わたしたちは子供や求道者、友人を愛していますが、戒めを守るよう強いることはできません。戒めを守れば、心の琴線に触れて心を変えてくださる聖霊を受ける資格が生まれるからととっても、強いることはできないのです。



したがって、わたしたちができる一番の助けは、愛する人たちが自分自身の選択を慎重に行うよう、どんなことでも導いてあげることです。アルマは次のように言って勧めましたが、その言葉は皆さんも使えるかもしれません。

「あなたがたは主の御前にへりくだ

り、主の聖なる御名を呼び、自分が耐えられないような誘惑を受けないように、目を覚ましていて絶えず祈りなさい。そのようにして、聖なる御霊の導きを得て、謙遜、柔和、従順になり、忍耐強くなり、愛に富み、限りなく寛容になって、

さらに主を信じる信仰を持ち、永遠

の命を得る希望を抱き、常に心の中に神の愛を持って、終わりの日に上げられて神の安息に入れるようにしてほしい。」(アルマ 13: 28 - 29)

永続する幸せに至る道を選ぶようにという靈感あふれる勧めを、皆さんの愛する人たちが受け入れてくれるよう祈っています。■

### このメッセージから教える

**ア**イリング管長は、わたしたちが人生で感じる幸せはどのような決断を下すかに懸かっていると教えています。このメッセージについて話し合うとき、幸せに至る道にわたしたちを導いてくれる事柄を行う選択ができるように、アイリング管長が述べている事柄(祈ること、働くこと、信仰

を働かせること、真心から決意すること、など)に焦点を当てるようにしてください。あなたが教える人たちは、「永続する幸せに至る道」にもっとしっかりと向かえるように、どんな行動を起こしたいと思っているのでしょうか。2つか3つ書き出してもらってください。



## 幸せをもたらす行い

**ア**イリング管長はこう教えています。「わたしたちは愛する人たちが幸せになるよう願っていますが、それは、その人がどんな選択をするかに懸かっています。」

あなたは、ニーファイやレーマン、レムエルの例から、選択の及ぼす影響について知ることができます。レーマンとレムエルはつばやき、戒めを守りたいと思いましたが（1 ニーファイ 2：12 参照）。その結果、彼らと子孫は呪いを受け、主の前から絶たれました（2 ニーファイ 5：20 - 24 参照）。ニーファイは戒めに従う方を選び（1 ニーファイ 3：7 参照）、そのために彼とその民は「幸福に暮らしました（2 ニーファイ 5：27）。

あなたは義になつた者となり幸せになる選択をすることができます。しかし、あなたの周りの人は不適切な選択をして、不幸や不安に陥るかもしれません。もちろん決断を下すのはその人たちですが、あなたは模範によって彼らの選択に良い影響を及ぼすことができます。どうすればあなたの選択によって人に幸せをもたらすことができるでしょうか。周りの人に良い影響を及ぼし、彼らが幸せを感じられるように助けることのできる、さまざまな方法について家族と話し合ってください。

## こども

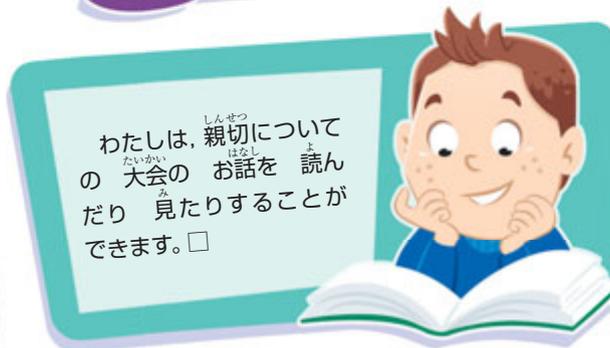
### 「親切 チャレンジ」

**イ**エスが アメリカの 人人をおとすれたとき、たがいに あいし合い 親切に するように お教えになりました。イエスに ならって 人人を あいするのために、あなたには どんなことが できますか。いくつか アイデアを しようかしましょう。できたら、チェックしましょう。



わたしは、さびしそうな人に ほほえみかけることができます。□

わたしは \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ が できます。□



わたしは、親切についての 大会の お話を 読みたり 見たりすることができます。□

わたしは、かなしんでいる人を だきしめることができます。□

わたしは \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ が できます。□



わたしは、かぞくのために、初等協会の 歌を 歌うことができます。□



わたしは、ないしょで だれかのために ほうしすことができます。□

よく祈りながらこの資料を学び、何を伝えるべきか分かるようお願いしてください。  
 家族に関する教義を理解することは、家庭訪問を通して  
 あなたが見守っている姉妹をどのように祝福するでしょうか。  
 詳しくは [www.lds.org/callings/relief-society?lang=jpn](http://www.lds.org/callings/relief-society?lang=jpn) をご覧ください。

## 家族—— 世界への宣言

1995年の中央扶助協会集会で、ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910 - 2008年）が初めて『家族——世界への宣言』を読み上げたときのことを、中央若い女性会長のポニー・L・オスカーソン姉妹はこう述べています。「わたしたちは啓示により与えられたこの文書の明快さと簡潔さ、真実性に感謝したものです。……家族についてのこの宣言は、世の考えを判断するための基準となりました。わたしは、この宣言に示されている原則が、20年近く前に神の預言者によって与えられたときと同じように今日も真実であることを証します。」<sup>1</sup>

中央扶助協会会長会第一顧問のキャロル・M・スティーブズ姉妹は次のように付け加えています。「家族の宣言からは、『前世で、霊の息子、娘たちは神を知っていて、永遠の御父として神を礼拝し〔ていた〕』<sup>2</sup>ことが分かります。……

誰もが神の家族の一員であり、必要とされています。」<sup>3</sup>

わたしたちは両親が家庭と家族を守らなければならない時代に生



きています。『家族——世界への宣言』がその手引きとなるでしょう。

### その他の聖句

モーサヤ 8 : 16 - 17 ; 教義と聖約 1 : 38

#### 注

1. ポニー・L・オスカーソン「家族の宣言の擁護者」『リアホナ』2015年5月号、14 - 15
2. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号、129
3. キャロル・M・スティーブズ「神様からの家族」『リアホナ』2015年5月号、11
4. ニコール・シーモア「10年の節目を迎える『家族——世界への宣言』」『リアホナ』2005年11月号、127
5. バーバラ・トンプソンの言葉。『わたしの王国の娘——扶助協会の歴史と業』148で引用



信仰・家族・扶助

### 現代の人々の経験から

「台湾桃園ステーク、桃園第3ワードの何李梅珍は、家族の関係が信仰や忍耐、愛といった神聖な資質を高めるのに役立つことをこの宣言が教えてくれたと言っています。『宣言に従って自分自身を高めようとするとき、本当の幸福を経験することができます。』<sup>4</sup>

後に中央扶助協会会長会の顧問に召されたバーバラ・トンプソン姉妹は、ヒンクレー大管長が初めてこの宣言を読み上げたとき、その場にいました。彼女はこう語っています。「自分は結婚していないし、子供もいないから、自分にあまり関係がないと、一瞬考えました。しかし、すぐに考え直して『でもやはり自分にも関係がある。わたしは家族の一員だ。娘であり、姉であり、おばであり、いとこであり、めいであり、孫娘なのだ。……たとえ家族の中で生きているのがわたしだけだとしても、それでも神の家族の一員で……ある』と考えました。」<sup>5</sup>

### 考えてみましょう

「家族——世界への宣言」はどのような意味でわたしたちの時代のための宣言なのでしょう。

# 2015年10月の大会ノート

「主なるわたしが語ったことは、わたしが語ったのであ〔る。〕……  
わたし自身の声によろうと、わたしの僕たちの声によろうと、  
それは同じである。」(教義と聖約1:38)

2015年10月の総大会を読み返す際に、このページ(および今後の「大会ノート」)を使って、  
生ける預言者と使徒、他の教会指導者の最近の教えを学び、生活に取り入れることができます。

## 教義的な重要点



ウクライナのキエフで総大会を視聴している教会員たちの写真/マリナ・ブアッチ

## 信仰は一つの選びです

「主イエス・キリストを信じる信仰は、  
空中に漫然と漂う軽いものではありません。  
信仰は偶然に舞い降りて来る  
ものでも、生得権として備わるもの  
でもありません。それは、聖文にある  
ように、『まだ見ていない事実を確認  
すること』なのです。〔ヘブル11:1〕  
信仰は霊的な光を放ち、光は見分け  
がつくものです。イエス・キリストを  
信じる信仰は、天からの賜物であり、  
わたしたちが信じることを選び、それ  
を求め、それにしっかりとつかまると

きに与えられます。皆さんの信仰は強  
くなっているか、弱くなっているかの  
どちらかです。信仰は力の源であり、  
この世だけでなく、幕を越えて進歩す  
るうえでも重要なものです。キリスト  
の恵みにより、わたしたちはいつの日  
か主の御名を信じる信仰を通して救  
われるのです。将来どれほどの信仰  
を抱くかは、偶然ではなく、選びによ  
るのです。」

十二使徒定員会 ニール・L・アンダーセン長老  
「信仰は偶然ではなく、選びによって与えられる」  
『リアホナ』2015年11月号、65

## 預言者の約束



## あなたの光を 輝かせなさい

「救い主の模範に従うとき、家族で  
あれ、友人であれ、職場の同僚であ  
れ、ただの知り合いであれ、まったく  
見ず知らずの人であれ、それは他  
の人々の生活に光をもたらす機会と  
なるのです。」

皆さん一人一人は、天の御父の息  
子娘です。皆さんは、しばらく地上  
で生活し、救い主の愛と教えに倣  
い、全ての人の前で雄々しく自らの  
光を輝かすために、御父のみもとか  
ら来たのです。地上の生活を終え  
るとき、自らの務めを果たしてきた  
のであれば、御父のみもとに帰り、  
御父とともに住むという輝かしい栄  
光にあずかることができるのです。」

トーマス・S・モンソン大管長  
「模範となり、光となる」  
『リアホナ』2015年11月号、88

## 新しい特別な証人



「救い主の贖罪しよくざいに感謝し、アルマと同じように、天使のラッパの声で叫びたいと願っています。」  
——ロナルド・A・ラズバンド長老「主イエスの愛に、ただ驚く」90



「……気持ちをはっきりと感じました。それは、自分にできないことではなく、できることに目を向けるようにというものでした。わたしにできるのは、福音の簡潔で貴い真理あかしを証することです。」  
——ゲーリー・E・ステューブソン長老「分かりやすくして尊い真理」92



「わたしはイエス・キリストに真に従う者となりたいたいと心から望んでいます。わたしは主を愛し、あがめています。主が実に生きておられることを証します。」  
——デール・G・レンランド長老「神の目を通して」94

### 類似点を見つける

## 聖餐せいさん

同じ福音のテーマで複数の話者が話すことが時折あります。3人の話者が聖餐について語ったことを次に挙げます。

- 「信仰をもって聖餐を受けるなら、ますます強く、ますます頻繁にやって来る誘惑から、聖霊はわたしたちと、わたしたちの愛する人々を守ることがおできになるのです。」——ヘンリー・B・アイリング管長「あなたの伴侶としての聖霊」104
- 「キリストの話を研究するとき、安息日や聖餐がさらに喜びに満ちたものになります。そうしながら、信仰と証を確立し、家族を守ってくれる伝統を築き上げるのです。」——クラウディオ・R・M・コスタ長老「いつも御子を覚えていることを」101
- 「『わたしにまだ欠けているものは何でしょうか』と尋ねる最善の時は、聖餐を取るときです。……この敬虔な雰囲気けいけんの中で、わたしたちの思いが天に向くときに、主は次のステップが何かをそっと教えてくださるのです。」  
——ラリー・R・ローレンス長老「『ほかに何がたりないのでしょうか。』」34

総大会説教を読んだり、見たり、聴いたりするには、[lds.org/general-conference?lang=jpn](https://lds.org/general-conference?lang=jpn) にアクセスしてください。

## あなたのための答え

各大会で、預言者と使徒は教会員が抱くかもしれない疑問に靈感を受けて答えています。それらの疑問への答えを見つけるには、『リアホナ』2015年11月号を読むか、[lds.org/general-conference?lang=jpn](https://lds.org/general-conference?lang=jpn) にアクセスしてください。

- ある人が他の人よりも教会から益を得ているように思われるのはなぜでしょうか。ディーター・F・ワークトドルフ「すばらしく益になっています！」20ページを見ましょう。
- わたしたちを安全に教会につなぎ留めておくことができる真理や教義とは何でしょうか。M・ラッセル・バラード「神が舵かじを取っておられる」24ページを見ましょう。
- 高齢者が教会の中で上級指導者の地位にいるのはなぜでしょうか。デビッド・A・ベドナー「『わたしの名について証を述べるために選ばれて』」128ページを見ましょう。
- 自ら既に霊的な人間だと思っているならなぜ教会に行く必要があるのでしょうか。D・トッド・クリストファーソン「なぜ教会が」108ページを見ましょう。

## 前向きに生きることを信じる

**聖**文には、「喜び〔なさい〕」「元氣を出しなさい」という勧告が幾度も出てきます。主はニーフアイ第二書第2章25節で、「人が存在するのは喜びを得るためである」と教えておられます。この世の生涯の目的は、主の究極の約束である喜びにわたしたちを導くことです。

元氣を出すとは、人生で起きる困難な出来事を無視することでも、簡単に考えることでもありません。十二使徒定員会のニール・A・マックスウェル長老（1926 - 2004年）は朗らかでいることを次のように説明しました。

「人類全体のみならず、個人一人一人に対する、まだ全容が明らかにされていない神の目的への深い信頼です。」<sup>1</sup> 困難な事態は必ず起こります。それはこの世の生涯では自然なことだからです。しかし、失望や悲しみに打ちひしがれる必要はありません。主を信頼し、前向きになることができます。

イエス・キリストはわたしたちが**かん**難を受けよう定められました。しかし同時に、「勇氣を出しなさい。わたしはすでに世に勝っている」と言って励まされました（ヨハネ16:33）。エズラ・タフト・ベンソン大管長（1899

- 1994年）は、福音を信じている「わたしたち末日聖徒は、全ての民の中で最も楽観的であって、最も悲観的でない民です」と教えました。<sup>2</sup>

誰でも時には、悲しみを経験し、失望することがあります。それでも明るい気持ちでいることはできるのです。十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老は次のように言いました。「わたしは救い主への信仰を込めて、また救い主の教えに照らして**あかし**証します。『幸福は決して尽きず、悲しみは終わります。』」<sup>3</sup>「苦難は、つかの間にすぎない」ことを知れば、喜びのある毎日を送ることができるのです（教義と聖約121:7）。

神がわたしたちのために備えてくださった計画を信じ、前向きに生きることを選べば、人生の試練に立ち向かう力が強まります。心配事や恐れに影響されることが少なくなり、神が望んでおられる喜びを経験するようになるのです。■

### 注

1. ニール・A・マックスウェル “But a Few Days” (CES 宗教教育者への講話, 1982年9月10日), 4
2. エズラ・タフト・ベンソン 「落胆してはいけません」 『聖徒の道』 1975年2月号, 90 参照
3. リチャード・G・スコット 「人生に喜びを見いだす」 『聖徒の道』 1996年7月号, 32
4. ゴードン・B・ヒンクレイ 「絶えず真理を求める」 『聖徒の道』 1986年2月号, 3 参照

### 幸せであることを選ぶ



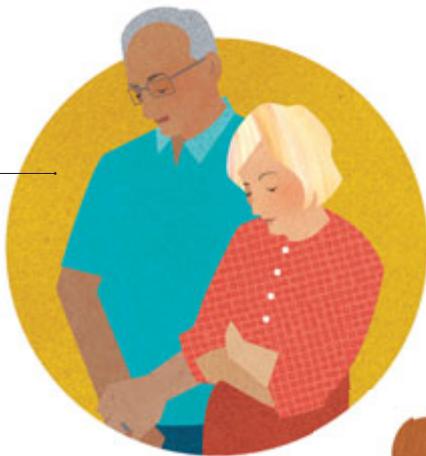
「人生の大半は自分の態度で決まります。物の見方や人への対応のしかたで、全てが異なってきます。最善を尽くし、その後、自分の置かれている状況

を良しとすることを選ぶならば、どのような状況にあっても平安と満足を得ることが

できます。……風向きを変えることはできませんが、帆を調節することはできます。最大の幸福と平安と満足を得るために、わたしたちが前向きな態度を選ぶことができますように。」

トーマス・S・モンソン大管長  
「豊かな人生を送る」  
『リアホナ』2012年1月号, 4

聖文も預言者も、どのようにすれば  
前向きになれるか教えています。



真の満ちみちる喜び、  
それは神によってのみ  
もたらされます  
(教義と聖約 101:  
36 参照)。  
神に心を向けるとき、  
わたしたちの心に  
変化が起こります。



神はわたしたち一人一人の  
生活を祝福してくださいませ  
(詩篇 145:9 参照)。  
日々の生活の中で  
神の深い憐れみに気づくよう  
努力することができます。

ひたすら神に心を向けるのは、  
一度限りのことではありません。  
毎週ふさわしい状態<sup>せいさん</sup>で聖餐を頂くなど、  
聖約を交わし、それを絶えず  
守らなければなりません。



わたしたちも  
ニーファイのように  
「聖文に喜びを感じる」  
ことができます  
(2 ニーファイ 4:15 - 16)。  
神と神の預言者の言葉を読む  
ことで、元気になれます。



ゴードン・B・ヒンクレイ大管長  
(1910 - 2008 年) は  
「互いの欠点を指摘し合うのでは  
なく、長所を語り合うよう」、  
また、「もっと惜しみなく美徳や  
努力をたたえ[る]」ようにと  
勧めました。<sup>4</sup>

## ポルノグラフィーに対する最大の防御

ケリー・ハンソン・ジェンセン

露骨な画像は至る所にあるように思えますが、わたしはある聖句で、  
家族がそのような画像を避けるための鍵を見つけました。

9歳の息子を連れて通学用の服を買っていたとき、わたしたちの会話がただの雑談からもっと真面目なものに変わりました。「お母さん、どうしてお店のウィンドウには必ずあんなものがあるの。」

息子が「あんなもの」と言ったのは、慎みのない姿をした人の写真で、わたしたちが前を通ったほぼ全ての店のウィンドウに飾られていました。そうした写真はそれまでいつもあったのですが、特に気に留めたことはありませんでした。しかし、実際に長男がこれに気づいたことで、わたしは改めて意識するようになりました。それから数週間、テレビ、スーパーマーケット、レストラン、メールについてくる広告など、あらゆるところにそのような写真や映像があることが分かってきました。目に入らないようにすることはできませんでした。中にはあまりに露骨な写真があり、警戒心が強まってきました。家族をポルノグラフィーのわなから守るためにはどうしたらいいのでしょうか。

総大会では必ずポルノグラフィーの破壊的な力に対する警告を聞きます

し、また、その犠牲となった人も幾人か知っています。わたしたちは家庭でコンピューターや許可しているメディアの全てに目を光らせていましたが、子供たちを隔離しない限り、興味をそるような望ましくない画像を完全に避けることができそうもないことは明らかでした。スーパーで何げなく見た写真が原因で、息子はポルノグラフィーに生涯苦しめられるようになってしまうのでしょうか。この問題に対する不安は大きくなり、自分の子供を守ることでできない無力感とやるせなさを感じ始めました。

そんなある日、モルモン書を読んでいて、不安を拭い去ってくれる言葉を

ポルノグラフィーで苦しんでいる人は、ウェブサイト [overcomingpornography.org](http://overcomingpornography.org) や、『リアホナ』2015年10月号のダリン・H・オークス長老の記事「ポルノグラフィーのわなから抜け出す」をご覧ください。役立つ情報を見つけることができます。

思いがけず見つけたのです。ニーファイ第一書第15章でした。ニーファイは水の流れている川の意味をレーマンとレムエルに尋ねられて、リーハイの見た命の木の示現を説明しています。そして、27節でこう答えているのです。「わたしは、父の見た水は汚れているが、父は心をほかの物事に奪われていて、水の汚れは見えなかったと言った。」(強調付加) リーハイは、命の木のことしか頭になく、家族を連れて来てその実を食べさせることばかり考えていました。そのために、汚れが目に入ることを知らなかったのです。

これが答えでした。まず不適切なメディアを家庭から締め出さなければなりません。もっと直接的に、意識して子供たちに福音を教えるよう努力することこそが、結局は、誤った道に導くものに対する最大の防御となるのです。

聖文でこのことを学んだ夫とわたしは、世の汚れではなく、神の愛から目を離さないよう、もっと力を入れて子供たちを教えることにしました。そこで、次の3つに重点を置く必要があったと感じました。\*



リーハイは、  
命の木のことしか頭になく、  
家族を連れて来て  
その実を食べさせることばかり  
考えていました。  
そのために、  
汚れが目に入ることすら  
なかったのです。

るという御霊の証を受けて、証は強くなります。わたしたちは家族で伝道しようとしています。福音を伝えることについて話し合い、日頃からよく友人を家庭に招待しています。また、機会を逃すことなく、宣教師と求道者を招待し、福音のレッスンをしてもらっています。新会員や求道者を家に招いてすばらしい時間を過ごし、子供たちには自分の証を見詰め直したり、宣教師の証を聞いたりして、何かを感じてもらうことができました。

モルモン書にとっても感謝しています。たった一つの聖句が安心感を与え、家族にはっきりした導きを示してくれました。この奇跡的な方法に感謝しています。聖文には確かに、恐れや無力感を力と平安に変える力があります。■

筆者はアメリカ合衆国ワシントン州在住です。

\*メディアや肉体、健全な性的関心など、子供に重点的に教えるべき分野は、家族によって異なるかもしれません。

1. 個人の聖文研究にもっと力を入れ、周囲の「雑念」を少なくする。御霊のささやきを聞き、福音という錨に家族をつなぎ留めておくことを目標にするためには、リーハイのように、心が良いことで満たされていなければなりません。夫とわたしは定期的に時間を取って、家族一人一人にどんな霊的な助けが必要か、どうすればその助けを与えて御霊のある家庭を作ることができるか話し合うようにしています。

2. 家族の聖文研究をさらに意義深いものにする。毎日家族を集めて聖文を読むだけでも大変な努力が必要ですが、わたしたちは聖文を読む際にもっと話し合うようにしています。子供たちの年齢幅が大きいので、小

い子供たちとは一日の遅い時間に、大きい子供たちとは、気が散らされずにもっと自由に話し合いができるよう、小さい子供たちがまだ寝ている早朝と一緒に聖文を読んでいます。それで気がついたのは、読んでいる聖文に関する話し合いでは、そのとき起こっている出来事が話題になることがほとんど毎日のようにあるということです。

朝はたいてい、理想とは程遠い状態で、皆を集めるのに苦勞することもあります。親が忍耐をもってこれを行えば、子供たちは耳を傾け、意見を言ってくれることが分かってきました。

3. 伝道活動の実践。証を述べると、自分の言っていることが真実であ

# わたしたちが望んでいた奇跡ではなく

ブリタニー・キング

時にわたしたちは自分の望む奇跡を求めて膝が痛くなるまで祈り続けますが、神は、わたしたちに必要な奇跡をお与えになります。

わたしは数か月後には大学を卒業することになっており、それまでに最初の赤ちゃんが欲しいと思っていました。夫も同じように、子供を望んでいました。

1年と4か月が過ぎました。妊娠検査を何度繰り返しても結果は陰性で、排卵検査も5回受けましたが、いずれも陰性でした。2か月間薬を服用するというつらい経験をして何度も涙を流しましたが、子供を授かることはなく、自然な妊娠を望むことはまずできないことが分かりました。医院から不妊治療の専門医を紹介すると電話で言われましたが、わたしたちは断りました。ストレスが大きすぎて耐える自信がなく、一休みしたかったので。電話を切ろうとすると看護師がこう言いました。「奇跡が起きたら知らせてくださいね。」

奇跡とは、まあ、奇跡的なものです。大小さまざまな奇跡があります。奇跡は思いも寄らないとき、しかも心底それを必要としているときにやって来ます。時にわたしたちは自分の望む奇跡を求めて膝が痛くなるまで祈り続けますが、神は、わたしたちに必要な奇跡をお与えになります。

長い間、わたしたちは子供が授かるように必死で祈りましたが、天はそれにこたえてはくれないようでした。やがてわたしたちは、自分たちの祈りが間違っていることに気づきました。神はわた

したちにいつ、どのような祝福が必要なのか御存じです。神は大局的に物事を御覧になります。わたしたちには今現在のことしか見えません。そこで、わたしたちはやり方を変えました。欲しいものを祈り求めるのをやめて、「感謝します」と言うようにしたのです。

天のお父さま、互いを伴侶として与えられている祝福に感謝します。

心配してくれる家族と友人に感謝します。

周りにいる子供たちに感謝します。自分の子を授かるまで、彼らと一緒に楽しむことができるからです。

わたしたちの体でうまく機能している部分とそうでない部分を明らかにし



てくれる医師や科学に感謝します。

そして、(口にするのが最も難しかった)この試練に感謝します。

胸が張り裂けそうな思いをしている事柄そのものについて感謝するのは難しいことでした。しかし、わたしたちは天の御父がわたしたちを愛しておられることを知っていました。ですから、この試練のどこかに祝福があるはずでした。試練に負ければ、その祝福に気づくことはないのです。でも、わたしたちは感謝することを選びました。すると、祝福がはっきりと見えてきました。

わたしたちは前にも増して互いに頼り合い、気持ちを伝え合い、愛し合うようになっていました。

さらに主に頼り、より頻繁に祈るようになりました。

救い主に近づき、主の存在をより身近に感じ、より主を愛するようになりました。

わたしたちのために祈ってくれている家族や友人の愛を感じました。

また、このように多くの祝福に感謝したとき、わたしたちの心はこの上なく純粋で心地よい平安で満たされました。

すぐに子供を授からなかったからといって、神が気にかけておられないということではなかったのです。ただ神の御心みこころにかなった時があることを信じる必要がありました。そして、それを信じ続けるためには、神の平安が必要でした。張り裂けそうな心を優しく包み、前に進む信仰を与えてくれる神の平安が必要だったのです。

平安こそ、わたしたちに必要な奇跡でした。わたしたちが願い求めていた奇跡ではありませんでしたが、わたしたちに最も必要なのはそれだったのです。■

著者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。

## 祈ってみてください

タリン・テラー

もっと良い母親になる方法を教えてくださいと  
主をお願いしていたところ、  
主はそれを学べる責任にわたしを召してくださいました。



わたしはビショップに、人選を誤っていると仰いました。

「わたしはよその子は嫌いなんです。子供を教えたことはありませんし、歌も歌えません」とわたしは仰いました。

「テラー姉妹」とビショップは答えました。「主は御自身が召す人を変えて、召しを果たせるようにしてくださいます。きっと立派に召しを果たせますよ。」

ビショップは、この召しについて考えてみて、受けるかどうか来週の日曜日に知らせてほしいと仰いました。

「6歳児と3歳児と赤ん坊がいるんですよ」とわたしは仰いました。「自分の子供の世話にも四苦八苦しているのに、そのうえ40人もの子供に音楽を教えろとおっしゃるんですか。」

彼は答えました。「祈ってみてください。」

その日の午後、わたしはこの召しの間違っているのはなぜかを夫のマークに説明しようとしていました。自分の子供にさえ良い母親になれていないのに、どうして初等協会で奉仕することができるのでしょうか。わたしは何か月もの間、自分は母親失格だという思いに悩まされていたのです。

1週間は瞬く間に過ぎましたが、別

れ際のビショップの言葉がいつも頭から離れませんでした。結局わたしは日曜日の朝になって、寝室でひざまずいて祈りました。涙が頬を伝って流れ始めましたが、心は心地よい平安で満たされました。その召しを受けるのが正しいということは、すぐに分かりました。主の御心に従うことで、全ての不安は消え去りました。

聖餐会が終わって初等協会の部屋に入ると、初等協会会長がわたしを紹介し、子供たちが歓迎の歌を歌ってくれました。子供たちの希望に満ちた目と、6歳の息子のうれしそうな笑顔を見て、わたしは自分になれる最高の初等協会指揮者になろうと固く決心しました。

そのときから、歌を学んでレッスンの準備をするためにたくさんの時間を費やしました。家でも、車の中でも、散歩のときも、初等協会の歌を聞きました。さまざまな教え方を調べ、毎週何時間もかけてポスターやゲームを作りました。

ある日の午後、キッチンテーブルで音楽の時間のレッスンの準備をし

ながら「聖文の力」の歌をハミングしていました。6歳の子はカウンターに座ってサンドイッチを食べ、3歳の子はわたしの隣で紙を切っていたのですが、わたしのハミングが繰り返し部分に来ると、突然二人とも大声で歌いだしたのです。

せいぶん 読むときに  
ゆうわくから まもられ  
せいぶんの力 毎日 読むたびに  
しゅから 力 いただく<sup>1</sup>

そのとき気づいたのです。この召しはわたしの祈りの答えだったのだということに。どうしたらもっと良い母親になれるか教えてくださいと主をお願いしていたので、主はわたしが自分の子に音楽を教えながらそれを学べる責任に召してくださいましたのです。

ビショップの靈感と、「祈ってみてください」という愛に満ちた言葉に、心から感謝しています。■

著者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。

注

1. クライブ・ロムニー「聖文の力」lds.org/callings/primary/sharing-time-music (英語)

# 教会のニュース

教会のニュースや出来事についてもっとお知りになりたい方は [lds.org/church/news?lang=jpn](http://lds.org/church/news?lang=jpn) にアクセスしてください。



上——インディアナ州インディアナポリス神殿；  
右上から——フィジー・スバ神殿；  
メキシコ・メキシコシティD.F. 神殿；  
アルゼンチン・コルドバ神殿

## 着々と進む神殿建設

**20**15年に5つの神殿が奉献され、2つの神殿が再奉献され、さらに4つの神殿用地の<sup>くわ</sup>鍬入れ式が行われた。

2015年に奉献された神殿——アルゼンチン・コルドバ神殿、ユタ州ペイソン神殿、ペルー・トルヒーヨ神殿、インディアナ州インディアナポリス神殿、メキシコ・ティファナ神殿。

2015年に再奉献された神殿——メキシコ・メキシコシティD.F. 神殿、カナダ・ケベック州モントリオール神殿。フィジー・スバ神殿は2016年2月に再奉献される予定である。

2015年に行われた鍬入れ式——

ワイオミング州スターバレー神殿、ユタ州シダーシティ神殿、チリ・コンセプション神殿、アリゾナ州トゥーソン神殿。

ドイツのフランクフルト神殿とフライベルク神殿は改修工事のため2015年9月に閉館しており、ユタ州ジョーダンリバー神殿は改修工事のため2016年2月に閉館する。ユタ州プロボのプロボシティセンター神殿は2016年3月に奉献される。

世界中で稼働する教会の神殿は148となり、さらに11が建設中、14の神殿が発表され、これから建設工事が始まる。■

## 宗教の自由を守る

十二使徒定員会のダリン・H・オクス長老はアルゼンチン国際関係協議会で、神が人に善悪を選ぶ能力を与えられたと信じる人は、宗教的な信条を唱えて実践する自由を強化するために力を合わせなければならないと話した。

「宗教の自由を守るかどうかは、このきわめて重要な自由を一般社会が理解し支持することに懸かっています」とオクス長老は語った。「それは、教会やユダヤ教の会堂、モスクで善悪を教えることに一般社会がどのような価値をつけるかに懸かっています。信仰を持つ人も持たない人も、次のことを理解できるよう助けなければなりません。神をどのように定義するとしても、神を信じる信仰こそが、宗教的な教えを、国に恩恵をもたらす道徳的な行いに変えるのです。」■

2015年4月23日、  
アルゼンチンで開かれた  
アルゼンチン国際関係協議会 (CARI) で、  
十二使徒定員会の  
ダリン・H・オクス長老が講演を行った。



## 熱心に携わる

末日聖徒は世界中で善を行うことに「熱心に携わ〔って〕」いる。(教義と聖約 58:27 参照) 以下は、昨年行われたおもな活動である。

- ・ ホンジュラスでは、600 人の末日聖徒の青少年が地域の住民と医療関係者、軍の代表者とともに、蚊が生息している地域を清掃した。
- ・ インドでは、末日聖徒の青少年がハイデラバードにある公立女子高等学校の廊下にペンキを塗り、教室の掃除をした。
- ・ ラトビアでは、会員たちがモルモンヘルピングハンズベストとTシャツを着て、地域の清掃を行い、70 袋のごみを集めた。
- ・ トンガでは、末日聖徒がキャッサバとパンノキの実を集めてバナアツに送り、サイクロン・パムの被災者を支援した。
- ・ マレーシアでは、教会は政府機関と協力して洪水の被災者に調理機器と冷蔵機器を提供し、電動ミキサーやオープンを使って調理する方法を女性たちに教えた。
- ・ ソロモン諸島では、会員たちは約 2,000 人に清潔な飲料水を供給するための貯水槽を設置する手助けをした。
- ・ ロシアでは、末日聖徒は復活祭の週末に行われた地域の清掃活動に参加した。
- ・ トルコでは、教会員はカトリック、プロテスタント、イスラム教の信者など、異宗派の人々から成る聖歌隊に参加した。■



上から—  
ラトビア、ソロモン諸島、  
ホンジュラス各地で奉仕する  
ボランティア



ニール・L・アンダーセン長老と  
ニール・バルカット・エルサレム市長

## エルサレムを 訪問した アンダーセン長老

十 二使徒定員会のニール・L・アンダーセン長老は、エルサレムの国際系図大会に出席し、エルサレムのニール・バルカット市長と会談した。二人は、家族歴史記録を保存する教会の取り組みに加えて、27 年間エルサレムで運営されてきたブリガム・ヤング大学近東研究エルサレムセンターの歴史と活動について話し合った。

系図大会には、イスラエル、北米、欧州やその他世界各地の家族歴史の専門家や研究者など数百人が参加した。■



# ハワード・W・ハンター—— わたしの父、 預言者



リチャード・A・ハンター  
(左ページの写真)

わたしは、男女を問わず人というものは、何に価値を置いているか、そしてその価値に関わって何を積極的に行おうとしているかによって評価されると、考えるようになってきました。偉大な人なら、自分が価値を置くものに従って生きるために、大きな犠牲を伴うとしても、求められたらどんなことでも一貫して行うのではないかと思います。父はそんな偉大な人物の一人でした。わたしは偉大さの真の意味について父から数々のすばらしいことを学ぶ特権にあずかりました。その教えは、父がわたしに語ったことからではなく、父の行いや人となりから学んだものです。

以下の話は、その父から育てられることがどういうものであったかを物語っています。父は弁護士であり、音楽家であり、介護に尽くす人であり、そして預言者でした。しかしそれ以上に、深い思いやりを示し、神と家族のためなら何でも喜んでささげる人でした。

## 家族の幸せのために犠牲を払う

10代のある日、屋根裏部屋で探し物をしていたわたしは、偶然、ほこりをかぶったたくさんの箱を見つけました。クラリネットやサクソフォン、バイオリン、トランペットが入っていました。父に尋ねると、それは父が演奏した楽器の一部であることが分かりました。父はアメリカ合衆国アイダホ州ボイシで高校に通っていたときにバンドを組んでいました。才能豊かな音楽家であった父は、音楽を愛し、作曲が大好きでした。父のバンドは、ボイシの大きな社交行事で、またアジアに向かうクルーズ船でも演奏しました。1928年にアメリカ合衆国の南カリフォルニアに引っ越した後、父はバンドを再編成し、非常に好評を博しました。

1931年、父はわたしの母クララ・ジェフスと結婚し、二人は子供を持ちたいと思いました。父は、自分にとって興行界で求められることは自分が望む大切な家族と両立できるものではないと感じました。そこである日、父は楽器を全てケースに入れて、屋根裏部屋に運んだのです。以来、家族の行事で

友人たちからよく  
次の二つのことを  
尋ねられます。  
「預言者の  
息子であって、  
そんな  
すばらしい人から  
育てられた  
というのは、  
どんな感じ  
ですか。」  
「お父さんは  
本当に  
神の預言者  
だったと  
思いますか。」



若い時代に重要な役割を果たしたものだからです。父の返答にわたしは驚きました。「まだだめだ。今は手放せないよ。」父は二度とそれを使って演奏することはないのを知ってはいましたが、手放すことには耐えられなかったのです。わたしはそのときに初めて、父がどれほど大きな犠牲を払っていたかを理解したのでした。



まれに演奏することはあっても、それ以外で演奏することはまったくありませんでした。

父がどれほどの犠牲を払っていたのか、わたしが気づいたのはずっと後になってからのことでした。1993年、父はアメリカ合衆国ユタ州ソルトレーク・シティーの家から、オフィスに近いソルトレーク・シティー中心部にあるアパートに引っ越しました。その引っ越しのときに、わたしたちはまた楽器を目にしました。わたしは父に、楽器を教会に寄贈したいかどうか尋ねました。父の

### 家族歴史に対する決意を強める

結婚した後で、父が受けた最初の召しの一つは家族歴史クラスを教えることでした。この時期に、父は家族歴史活動を行うことを自ら決意しました。父の法律事務所のカレンダーには、多くの日の午後に、系図探求を行うためにロサンゼルス公共図書館に行くという予定がよく書き込まれていました。父は6フィート（1.8メートル）に及ぶ「家族の記録」を作成し始め、装丁してしっかりとした原簿にしました。

また、情報を集めて、親族と連絡を取りました。親族に数百通もの手紙を書き、どういう関係にある人かを明らかにしました。家族の休暇には、いとこやおば、おじを訪ねました。このことから、わたしは、楽しい休暇を過ごせる日を犠牲にするときに価値あることを行えるということを学んだのです。

### 法科大学院で不屈の精神を示す

わたしが生まれたとき、父は病院の待合室で遺言書に関する教科書を読んでいました。父は南カリフォルニアのロサンゼルス郡洪水防止地区で弁護士たちと一緒に働いた





「家族はこの世と永遠の世において  
最も大切な単位であり、  
人生の他のどのようなものにも勝って  
価値あるものです。」<sup>1</sup>

とき、法学生になろうと決意したのでした。いつも家庭を大切にする人であった父は、弁護士になればもっとよく家族を養うことができると感じたのです。しかし、妻と二人の子供がおり、常勤の仕事に就いていたため、通学と勉強に充てる時間は夜しかないことが分かっていました。

後に、わたし自身が法科大学院に在学していたとき、父はどのようにこれをこなしていたのだろうかと思議に思ったものです。「いつ眠ったのですか?」と尋ねると、父は、できるだけ勉強をして、もうこれ以上は勉強できないと思うほど疲れ切ったときに3時間か4時間眠るようにしていたと言いました。その状況は5年間続きました。わたしは父の不屈の精神に驚かざるを得ませんでした。

### 息子たちと一緒に過ごす

父は多忙な生活を送っていましたが、それでも家族のために時間を取りました。わたしがボーイスカウトであったとき、わたしたちの隊は、アメリカ合衆国オレゴン州のローグ川を自分たちで作ったカヤックで下る計画を立てました。父はキャンプをしたり、地面の上で寝たりするのを楽しそう思うような人ではありませんでしたが、わたしたちと一緒に行くことを買って出ました。わたしたちはガレージで何時間も掛けて、二人乗りカヤックを一緒に作りしました。

やがてわたしたちは川に出ました。わたしが前部のピボットポジション(着座部)を取り、父は後ろに乗りました。川を下って行くと、間もなく非常に危険な滝に差しかかりました。

カヤックの先端が滝の下で深く水に突っ込み、ひっくり返って、わたしたちは二人ともスプラッシュガード(水よけ)を越えて川に投げ出されました。わたしは浮き上がって父を捜しましたが、見当たりません。やがて父はひょっこりと顔を出し、口から水を吐き出しました。そして、わたしたちはカヤックを起こして、もう一度乗り込みました。起こった出来事を見直すために岸にたどり着くより先に、わたしたちは次の急流から急流へと押し流されました。カヤックを立て直す間もなく、渦にもまれ、次々に続く急流に向かってなすすべもなく押し流されたのです。

わたしたちはようやくその日の夕方、他のスカウトたちと一緒にキャンプに戻りました。父はわたしたちにヨブの物語

を少し詳しく話してくれました。その日の出来事とヨブの話から、わたしは、人生は必ずしも容易ではないことを学んだのです。翌朝、父は家に帰らずに、わたしたちの小さな舟に再び乗り込んで川の旅を続けました。この経験から、

わたしは、偉大な人が家族を大切に思うときに何を行うかを学んだのでした。

### 妻を介護する

1970年、母は診断の結果、脳に血液を送る動脈が詰まる慢性疾患だと言われました。母は、非常に聡明で、上品で、魅力的な女性で、いつも瞳を輝かせていました。しかし、その後の13年間、母の病状は進行してきました。それはまるで、一人の良い友人を少しずつ失っていくようなものでした。

おもに父が母の介護を務めることになりました。最初のうちは、父の犠牲は、母が心地よく楽しく過ごせるようにする程度の小さなものでした。母の食事を準備し、母の好きな歌を歌い、母の手を握っていました。しかし、時間の経過に伴い、母の介護は次第に難しくなり、もっと体力を要するようになってきました。父にとっては大変なことであったに違いありません。

母の病状悪化に伴い、父自身の健康が心配になってきました。医師が父に、母には熟練した介護士のいる施設で24時間介護が必要であることを告げたとき、わたしもその場にいました。母に必要なレベルの介護を続けたら父は死んでしまうかもしれないし、そうしたら母の世話をする人が誰もいなくなると医師は言うのです。

その後、母が亡くなるまでの13か月間、父は、教会の割り当てで不在になる日を除いて毎日、介護施設にいる母を見舞いました。母は父を認識できませんでしたが、それは父にとってどうでもよいことでした。まるでいつもと何も変わらないかのように、父は母に話し掛けました。わたしははるか遠くのステーク大会への訪問から帰って来た父をよく見かけたものです。父は疲れ切っていました。それでも、帰って来て最初にしたことは、母を見舞い、できるだけ母を元気づけることでした。

父は、これ以上は無理と思えるほど母の世話をしました。

「わたしに課せられた……召しを  
ためらうことなくお受けします。  
また、わたしの生活とわたしの持てる全てを、  
この奉仕に喜んでささげます。」<sup>2</sup>

わたしは母を世話する父の姿を見ることで、犠牲  
について多くのことを学んだのです。

### 召しのために犠牲を払う

父は、使徒としての召しが最優先であると感じており、それは無理からぬことでした。地上における神の業を指導するために、特別な証人として召されるのはほんのわずかな数の男性だけです。彼らは1年どころか、1日も休みを取ることができません。

父にとって、その割り当てを果たすことは自分の健康よりも大切なことでした。父は自分の体の更新を主に委ねたのです(教義と聖約 84:33 参照)。わたしはあるとき父から、フランスのバリで行われる地区大会に同行するようと言われました。長距離の旅は父の体には負担となるので数日掛けて行くべきだと、医者では考えました。しかし、わたし



たちは飛行機でパリに直行しました。わたしは目を開けているのがやっとなのですが、父は精神的に集会を行い、面接し、人々を啓発しました。

生涯の終わりの頃には、父はしばしばひどい苦痛と闘いました。人の体がそれほどの苦痛に耐えることができるとは、わたしは知りませんでした。わたしは尋ねました。「お父さん、このような体を持つことを、わたしたちが本当に喜び呼ばわったと思えますか。」父は確信をもって「もちろんだよ」と答えました。それから少しユーモアを交えてこう付け加えました。「一部始終を知っていたかどうかは定かではないがね。」

### 思いやりを示す

父は思いやりというものを高く評価していました。そして、思いやりを持つ人ならではの説得力をもっていつも話をしました。隣人や家族、友人、依頼人、同僚、教会員から思いやりのある人として知られ、尊敬されていました。

わたしは子供のときに父から厳しく、あるいは冷たく扱われたという記憶がありません。厳しい対応を受けて当然であると思われる場合でさえ、父は懲らしめるのではなく、教えることでそれぞれの状況に対処しました。わたしの行ったことがどうして間違っているのか、そしてそんな行動を取ってしまったらどうしたらよいのか、わたしたちはいつも話し合ったものです。わたしには、その方法でうまくいきました。あるいは、少なくともわたしには有り難いことでした。

教会がカリフォルニア州ロサンゼルス地域で発展し始めた頃、父はエルセレーノワードのビショップとして奉仕しました。ワードの会員たちは今でも、父が彼らと家族に思いやりを示してくれたことを話題にします。ある日曜日、父は神権会に姿を見



せませんでした。皆は父に何事があったのかと心配しました。後で分かったことですが、祭司の一人が集会に出かける時間に間に合うように起きることができなかつたのです。それで優しい父は、その祭司の寝室で定員会を開いたのでした。

わたしの高校時代の友人に、大きな可能性を持つ前途有望な女性がいました。しかし学費の問題のため、1学年を終えた段階で、大学生活を継続できるかどうか心配になりました。父は彼女の心配を知り、自分の事務所に招き入れました。話を聞き終わった後で、父は、彼女が大学に戻れるように前もって準備しておいた小切手を渡したのです。

父がパサデナステーキのステーキ会長のとき、わたしには、そのステーキにもう一人高校時代の友人がいました。彼女はブリガム・ヤング大学に通っていました。大学の代表団の一員として旅行していたとき、ひどい自動車事故に遭い、アメリカ合衆国ネバダ州ラスベガスの病院に入院しました。父は彼女の状態を知ったとき、ロサンゼルスからラスベガスまで270マイル(435キロ)車を走らせて彼女を見舞い、愛を伝え、励ましました。

父がこのような思いやりに満ちた行動を何度してきたのか、わたしには分かりません。父はわたしたちにも他の誰にも、決してそれについて語りませんでした。思いやりのある人は普通自分から語ることをしません。

父の思いやりに満ちたこうした行動について、感謝の手紙を送ってくれた人たちがいて、父が手紙を保管していたことから、わたしはそうした父の行動の一部を知ることになりました。父が受け取った手紙の中から典型的なものを紹介しましょう。「絶望の末に、わたしは長女のことについて手紙を書きました。……あなたは時間を取り、優しく気遣って、娘を訪問しようと電話を掛け、電話番号を残してくださいました。娘は、自分にそれほどの価値があるとあなたが思ってくくださったことに非

常に驚きました。その電話と個人的な訪問は、娘の人生にとって実に大きな転機になりました。」次いで手紙には、彼女が教会に戻り、神殿で結び固めを受け、幸せで実りある人生を送っていることが書かれています。「〔1994年10月の総大会で思いやりについて語った〕ハンター大管長の言葉を読んだ後、大管長が今わたしたち全員に勧めていることを何年にもわたって実践してこられたと実感し、わたしは涙を流してしまいました。」

### わたしの父、神の預言者

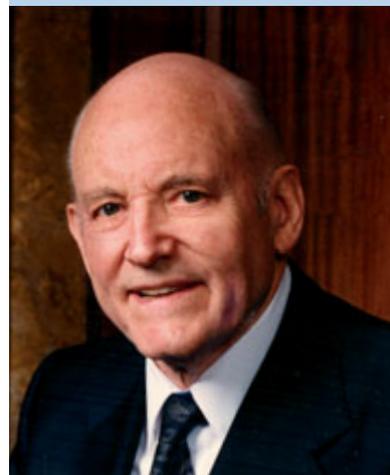
父はイエス・キリストを信じていました。そのために、わたしがキリストを信じるのも難しいことではありませんでした。わたしは、キリストを信じキリストのような人である人物がどのようなことを行うのか、この目で見てきました。そのような生き方から得られる平安、希望、喜びも感じました。

ここで最後の質問です。「お父さんは本当に神の預言者だったと思いますか。」この質問にはいつもたやすく答えることができます。父の私生活、家庭生活、職場や教会での生活で、わたしは父がふさわしくないと感じたことは一度もありません。しかしそれは、父が地上における神の全ての子供にとって神の代表者として実際に召されていると信じることは別のことです。わたしは父が神の預言者であることを知っていました。しかしその知識は、父を知ることや父の模範を見ること、あるいは父の言動を目にして心を動かされたことから得たものではありません。そういうことも助けにはなります。しかし、その知識は、父を召された同じ神から<sup>あわ</sup>憐れみ深い<sup>たまもの</sup>賜物としてわたしに与えられたものだったのです。■

筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。

### 注

- 1.『歴代大管長の教え—ハワード・W・ハンター』201
- 2.『教え—ハワード・W・ハンター』219
- 3.『教え—ハワード・W・ハンター』1



「主イエス・キリストの生涯と模範、特に主が示された愛と希望と哀れみにこれまで以上の注意を払って生活するよう全ての教会員にお勧めします。わたしたちが互いにもっと親切に……し合えるように祈っています。」<sup>3</sup>



七十人  
ケビン・S・  
ハミルトン長老

モルモン書が持つ

# 改心を促す力

わたしたちの証<sup>あかし</sup>のかなめ石、すなわちモルモン書が真実であるということが分かれば、福音の全ての真理は正しい位置に落ち着きます。

幼い頃、わたしはドミノ牌<sup>はい</sup>を並べて複雑な模様の長い列を作り、先頭のドミノ牌を倒すのが大好きでした。結果的に、倒されたドミノ牌は隣のドミノ牌を倒し、そうやって倒されたドミノ牌がさらに隣のドミノ牌を倒すという連鎖反応が列の最後まで続きます。細心の注意を払い、何時間もかけて、ドミノ牌をきちんと並べ、それらのドミノ牌が倒れるのを見るのはスリル満点でした。

モルモン書について証を持つことは、イエス・キリストの福音に関する証を得るための最初のステップの一つです。最初のドミノ牌が倒れることによって、残りのドミノ牌も次々と倒れていきます。これとまったく同じように、まず最初に、モルモン書が真実であるということが分かれば、イエス・キリストが救い主<sup>あがな</sup>、贖い主であられること、ジョセフ・スミスが神の預言者であり、彼を通して福音が回復されたこと、また末日聖徒イエス・キリスト教会が、力と権能を回復された、今日の地上におけるイエス・キリストの真の教会であるということも次々と分かるようになるのです。

## モルモン書はわたしたちのメッセージの中心を成す

この記録について、預言者ジョセフ・スミスは次のように言っています。「わたしは兄弟たちに言った。『モルモン書』はこの世で最も正確な書物であり、わたしたちの宗教のかなめ石である。そして、人はその教えを守ることにより、ほかのどの書物にも増して神に近づくことができる。」<sup>1</sup>



ジョセフはさらに、この書物はわたしたちの信仰、信条、証の中心を成すと教えています。「モルモン書とそれらの啓示を取り去ったならば、わたしたちの宗教はどこにあるでしょうか。」彼はそう尋ね、次のように答えました。「どこにもありません。」<sup>2</sup>

福音のメッセージのすばらしいところ、それはわたしたち一人一人がモルモン書の真実性を自分で分かるようになるということです。

数年前、フランス、ベルギー、オランダで伝道部会長を務めていた頃、わたしはバプテスマを受けるふさわしさについての個人面接を行う特権と祝福にあずかりました。一人の姉妹に面接をしたときのことを、わたしは決して忘れないでしょう。

面接中に、わたしはどのような経緯で教会が真実であると知るようになったのか尋ねました。この姉妹は、ハンドバッグに手を入れると、何度も読んでくたくたになった紙表紙のモルモン書を取り出しました。それからそのモルモン書の第三ニーファイ第 27 章を開き、この章は宣教師から最

初に読むよう勧められた章だと話してくれました。読み始めたとき、読んだ内容と感じた御霊によって、深い感動を覚えたと言いました。モルモン書の御霊に圧倒され、赤鉛筆で最も感銘を受けた言葉に線を引き始めたそうです。

それからわたしに自分のモルモン書の第三ニーファイ第 27 章を開いて見せてくれました。その章のほとんど全ての言葉に赤で線が引かれていました。

「だから信じました。」彼女はそう言いました。「この書物は、否定し難い方法で、わたしに語りかけてきました。わたしはこの書物が真実であると知っています。また、末日聖徒イエス・キリスト教会が真実であると知っています。」

彼女はバプテスマを受け、忠実な教会員となりました。

### モルモン書の序文

モルモン書の序文にはある方式が記されています。この方式に従えば、福音のメッセージは真実であるということが、自分で分かります。序文が「最初に挿入されたのはモルモン書の 1981 年版である。序文は現代の読者に、背景とな

聖なる御霊から、  
モルモン書は真実であるという神聖な証を得ると、  
イエスはキリストであり、世の救い主であられると、  
実際に自分で知ることができます。

る情報ならびにモルモン書の解説を提供している。』<sup>3</sup>

序文はまず、モルモン書とは何なのかを的確に教えてください。「『聖書』と肩を並べる聖典である。この聖典は、アメリカ大陸の昔の住民に対する神の導きの記録であり、この書物には完全な永遠の福音が記されている。」この書物は、金版の上に「昔の多くの預言者たちが啓示と預言の霊によって書き記し」、「モルモンという名の預言者であり歴史家であった人物」によって短くまとめられたものであることが分かります。

また、次のことも分かります。「最も栄光ある出来事は、主イエス・キリストが復活後間もなく、ニーファイ人の中で親しく教え導かれたことであろう。また、『モルモン書』は福音の教えを宣言し、救いの計画の概要を説き、人がこの世で平和を得、後の世で永遠の救いにあずかるには何をしなければならぬかを告げている。」

モルモン書を読むと分かる最も大切なことの一つは、ジョセフ・スミスを通じて、イエス・キリストにより回復された教会は真実であるということです。

序文では「『モルモン書』を読み、この書物に含まれている教えを〔自らの〕心の中で深く考え、そして、この書物が真実かどうか、キリストの名によって永遠の父なる神に問うように」勧められています。わたしたちは次のように約束されています。「この手順を踏んで、信仰をもって問う人々は、『モルモン書』が神から与えられた真実の書物であるという証を、聖霊の力によって得るであろう（モロナイ書第十章三―五節）。」

さらに次のような約束が続きます。「聖なる御霊を通じて神からのこの証を得る人々は、その同じ力によって、イエス・キリストが世の救い主であられ、ジョセフ・スミスがこの終わりの時代の主の啓示者であり、主の預言者であることを、そして末日聖徒イエス・キリスト教会が、メシヤの再臨に先立って地上に再び設立された主の王国であることを知るで

あろう。」

考えてみてください。わたしたちは、実際、次のことを自分で知ることができるのです。

- イエスはキリストであり、世の救い主であり、全人類の贖い主であられる。
- ジョセフ・スミスは真の預言者であり、真理を語った。見たと言ったものを見、聞いたと言った言葉を聞き取った。
- 末日聖徒イエス・キリスト教会は、「全地の面〔の〕唯一まことの生ける教会」である（教義と聖約1:30）。

それはイエス・キリストの教会であり、真理、力、権能、そして儀式を有する教会である。生ける預言者を通じて、主、救い主イエス・キリストが御自ら導いておられる教会である。

モルモン書が真実であると分かれば、これら全てのことが真実であると分かるのです。この書物には改心へと導き、確信を与える力があるのです。

### モルモン書についてのわたしの証

フランスで若い宣教師として奉仕していた頃、わたしはモルモン書が真実であることを自分で知りたと思いました。それが真実であると信じていました。真実であってほしいと望んでいました。伝道に出たとき、それが真実であるという信仰はありました。しかし、宣教師として日々働き、限られたフランス語で精いっぱい、自分にはこの書物について証があると人々に伝えながら

も、実際のところ、まだ自分で知っているわけではなかったのです。

南フランスにあったわたしたちの小さなアパートは、あの最初の冬の間、寒くてじめじめしていました。毎朝毎晩、その日の伝道の前と後に、わたしは毛布とコートにくるまって、モルモン書を読み、学びました。読み、深く考え、祈るならば、わたしも知ることができるというモロナイの約束につい



モルモン書を読むと分かる最も大切なことの一つは、ジョセフ・スミスを通じて、イエス・キリストにより回復された教会は真実であるということです。



ては知っていました。何日も、何週間も読みましたが、何も起こりませんでした。光、天使、声、そのいずれとも縁がありませんでした。読んだときに平安な気持ちを感じただけでした。

わたしはモルモン書を読み続け、大切な聖句に線を引き、この書物が真実であることを知るために祈り続けました。やがて奇跡が起こりました。十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老が語ったように、それは電気のスイッチが突然入るというよりも、太陽が少しずつ昇るような経験でした。<sup>4</sup> 一筋の光がわたしの思いと心を照らし始めたのです。モルモン書に対する見方が変わり始めました。以前に読んだ聖句が、新しい意味を帯び始めました。そのときの経験を最も分かりやすい言葉で説明すると、わたしの思いは啓発され始めたと言えるでしょう。

何週間、そして何か月もかかりましたが、モルモン書は神の言葉であるということが、かつてなかったほど確かに分かるようになったのです。この書物は、わたしたちの時代のために書かれ、取っておかれたこと、また、イエ

ス・キリストとその教会について力強く証するために世にもたらされたことが分かるようになりました。御霊の声を通して、何度も繰り返したわたしに与えられた印象は、「これは真実、真実、全て真実である」というものでした。

40年たっても、わたしはその同じ証を持ち続けています。モルモン書はもう何度も読みました。そして毎回、いつも、同じ言葉が聞こえてきます。「これは真実である。」そのおかげで、イエス・キリストはわたしの救い主であられ、わたしたちは主の偉大な救いの業に携わっているという確信を持つことができます。

子供の頃、大好きな遊びだったドミノで、先頭のドミノ牌を倒すと、他のドミノ牌が全部倒れるように、わたしたちの証のかなめ石、すなわちモルモン書が真実であるということが分かれば、福音の全ての真理は正しい位置に落ち着くのです。■

注

1. ジョセフ・スミス、「モルモン書の序文」で引用。*History of the Church*, 第4巻, 461も参照
2. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』196
3. 『モルモン書 教師用引き』(セミナー) 19
4. デビッド・A・ベドナー「啓示の霊」『リアホナ』2011年5月号, 87-90参照



### 回復の最も重要な部分

「モルモン書は回復の最も重要な部分です。それは主の指示の下で書かれ、保存され、伝えられました。それは『神の賜物と力により』<sup>なまもの</sup>翻訳されました。」

十二使徒定員会会長  
ラッセル・M・ネルソン会長  
「波に乗る」  
『リアホナ』2013年5月号, 47

# わたしに従ってきなさい—— 家庭で基本を 教える

アリシア・スタントンと  
ナタリー・キャンベル

**家**庭の夕べで、まず母親が二人の子供にこう尋ねます。「御霊の導きを感じたのはいつ?」

17歳の娘が文句を言います。「今月はこれで、御霊についてのレッスンは4回目よ。」

「それはいい。レッスンを助けてもらえそうだね」と父親が言います。子供たちが質問について考える間、母親と父親は静かに忍耐強く待ちます。

そのうちに、14歳の息子がその日に学校であった出来事について話します。

「そうね」と母親が答えます。「ラ

バンから版を手に入れる方法が分からなかったニーファイが、御霊に従ったときのことを思い出すわ。」

娘も口を開き、バスで寂しそうにしていた女の子に御霊の促しに従って話しかけた経験について語ります。父親は娘の決断力を褒め、自分が職場で経験したことについて話します。

話し合いの終わりに、「みたまはわれに」を歌います(『賛美歌』82番)。

簡単な教授法、つまりこの教義にまつわる経験を話すことにより、この家庭の夕べは実りあるものとなりました。

この記事は、日曜日の青少年向け教科課程で月ごとに設けている原則をどのように学んだかを示す実例を示しています。もちろん、この例だけがこれらの教義を学ぶ方法というわけではありません。自分の家族に必要なことについて靈感を求めるとよいでしょう。

日曜日の青少年向け教科課程「わたしに従ってきなさい」では、福音の基本的な教義を毎月一つずつ教えます。家族とともにそれらの教義の原則を学ぶ方法を幾つか紹介します。





## 1月 神会

神会の御三方, すなわち御父とイエス・キリストと聖霊は, それぞれ別個の御方ですが, 目的と栄光において一つです。

ある若い女性が神会について学んだときのことを次のように述べています。「天の御父と救い主と聖霊が別個の御方であって, それぞれの御方を知ることができること, 一致した御三方として従っていけることは, わたしにとって重要です。わたしは神のようになれると知って感謝しました。なぜなら, 神会は漠然とした, 理解できないものではなく, わたしを愛し, 祝福し, 導き, 知っておられる神聖な方々だからです。」

この教義を教えるために, 次のような質問について話し合うとよいでしょう。「一致して働くことについて, 神会からどのようなことを学べるでしょうか。」「神会の方々ととの関係を強めるにはどうすればよいでしょうか。」

ヨハネによる福音書第10章30節と, 教義と聖約第50章43節を比較することにより, 一つになることについて良い話し合いのきっかけを作り, 理解を深めることができます。

### 教えるためのリソース

**教**会はこのらの教義の原則を学び, 教える助けとなるリソースをたくさん提供しています。聖典や総大の説教に加えて, 以下のものも検討してください。

『**歴代大管長の教え**』。lds.org/manual/teachings-of-presidents にアクセスして見ることができます。

『**真理を守る**』。lds.org/manual/home-and-family にアクセスして見ることができます。

『**わたしの福音を宣べ伝えなさい**』とパンフレット。lds.org/manual/missionary にアクセスして見ることができます。

**音楽**。賛美歌集や子供の歌集にある音楽は, 福音の原則を補強してくれます。lds.org/music にアクセスして視聴できます。

**ビデオ**。教会のビデオは興味をそそり, 家庭で福音について話すきっかけを作ります。lds.org/media-library にアクセスして見ることができます。

**絵**。『福音の視覚資料集』などにある絵を用いることにより, 聖文について理解を深めることができます。lds.org/media-library にアクセスして見ることができます。

## 2月

### 救いの計画

救いの計画は, 「わたしは何者か」「人生の目的は何か」といった, 人間の根幹に関わる疑問に答えてくれます。自分の分からないことを問い, 答えを探すことは, 御父の幸福の計画について学ぶ強力な手段になります。

例えば, ある若い男性は聖文研究を始めたときにこう思いました。「神の属性は, 前世での自分の特質と比べてどうだろうか。今の自分の特質とではどうだろうか。来世で望む特質とではどうだろうか。」この問いに対する答えを聖典から見つけるたびに書き留めて, 救いの計画を人に教えるときに活用しました。

あなたの子供たちは, 救いの計画についてどのような疑問を抱いていますか。





## 3月

### イエス・キリストの贖い

どのようにすればわたしたちはイエス・キリストの贖罪しよくざいについて知るだけでなく、贖罪を生活で活用するよう救い主が心から期待しておられることを知ることができるでしょうか。

皆、孤独を感じ、過ちを犯し、強さを必要としたために、もっとよく贖罪について理解し、贖罪を活用することを必要とした経験があります。ある若い女性アドバイザーはビデオを用いて、クラスの生徒たちが救い主の贖罪についてもっとよく理解できるように助けました。

そしてある若い女性は次のような経験をしました。

「わたしたちは『だれも主とともにいなかった』（ビデオ, LDS.org）を見ていました。フルートのソロが悲しげな音を奏で、十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老の声が聞こえてきました。『この復活祭の季節に得られる大きな慰めの一つは、イエスがただ御独りでそのような長く孤独な道を歩まれたおかげで、わたしたちはそうする必要がないということです。』

それまでわたしは、救い主の贖罪を必要とすることを恥ずかしいことだと思っていました。しかし、御霊に満たされ、主の贖罪に対する希望によって罪悪感が取り去られるのを感じました。主はわたしのために御自分の命をささげてくださいました。主はそのことを後悔されませんでした。どうしてわたしが恥ずかしいと思うのでしょうか。」

贖罪はわたしたちの救いにとって最も重要な出来事であるため、聖霊の導きに従って贖罪について教え、学ばなければなりません。おそらく、聖文や使徒たちの証あかしについて話し合うように導きを受けることでしょう。「生けるキリスト—使徒たちの証」（『リアホナ』2000年4月号、2）などがその助けになります。「贖罪のもたらす癒やしや強さ、贖いの力を感じたのはいつか」といったような質問について話し合うとよいでしょう。

## 4月

### 神権時代、背教、回復

背教、すなわち真実の福音に背くことを理解することは、福音と神権、イエス・キリストの教会が回復されなければならなかった理由を理解するうえで役立ちます。

実物を使った次のレッスンは、宣教師が背教と回復について求道者に教える助けになりました。

「同僚とわたしは、真実の教会を構成する要素を書いたプラスチックのコップを使ってピラミッドを作り、イエス・キリストが御自分の教会をどのように設立されたかを説明しました。

それから使徒を表すコップを抜き、全体が崩れる様子を見て、背教について説明しました。預言者ジョセフ・スミスを通して福音が回復されたことを説明しながら、先ほどのピラミッドを作り直し、今日の教会はキリストが最初に組織された教会と同様に組織されていることを示しました。

その人は初めて理解しました。なぜ回復が必要だったかを理解したときに、やっと回復が彼にとって意味のあるものになったのです。」

神権時代、背教、回復のサイクルを示す方法は他にもたくさんあります。このテーマに関する聖句を読み、御霊の促しに従って、学んだことを提示する自分なりの方法を編み出すとよいでしょう（例として、アモス 8：11－12；1ニーファイ 13章；教義と聖約 136：36－38；モーセ 5：55－59 参照）。



## 5月

### 預言者と啓示



主はわたしたちとの交わりをととても大切に思っておられます。わたしたちは主が預言者に与えられる啓示とわたしたち一人一人に与えられる啓示を通して人生における主の導きを受けます。

福音の原則を身の回りのものや日常の経験になぞらえるならば、福音の原則をもっとよく理解できます。ある若い男性は、なぞらえることにより啓示をどのように認識できるようになったかについてこう述べています。

「わたしは現代の預言者を通して啓示について学びました。十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は、啓示の霊について述べ、光の比喩を用いて説明しました。啓示は時折、暗い部屋で明かりをつけるときのように、突然はっきりとした形で現れますが、もっと一般的には、太陽が昇るにつれて徐々に明るくなるように、だんだん明確になってきます。ベドナー長老によると、ほとんどの場合、啓示は霧のかかった日に差し込む光のようなものです。『薄暗い中、数歩前に足を踏み出すに十分な明るさはあるのです。』（「光のパターン—啓示の霊」〔ビデオ〕, LDS.org) この比喩は単純ですが、わたしは大きな影響を受けました。啓示に気づく時間を取れば啓示は受けられるのだということ深く理解したのです。」

比喩やたとえ、象徴について学ぶ時間を取れば、教義に対する理解力は増し続けるでしょう。御霊に新たな物の見方を示していただこうとするときに、これらの教授法はさらに学ぶ助けとなります。

## 6月

### 神権と神権の鍵

神権は全ての人にとって大切なテーマです。神権とは神の力であり、全ての人に祝福をもたらすことのできるものです。わたしたちにはそれぞれ、神権の業において果たすべき大切な役割があります。

神権の義務や職、歴史をよく知らない人がいます。これらの概念について楽しく学ぶのに、クイズは良い方法でしょう。

何を学びたいかに応じて、次の質問を幾つか用いて、子供たちに、聖文や現代の預言者の教えから答えを探してもらおうとよいでしょう。

- ・ アロン神権の職と義務は何ですか。メルキゼデク神権についてはどうですか。
- ・ 神権の鍵とは何ですか。神権の鍵を持っているのは誰ですか。なぜ鍵が必要ですか。
- ・ 神権の職と権能、力の違いは何ですか。
- ・ 神権は男性と女性の両者をどのように祝福しますか。

答えは、次のような参考書籍と聖句にあります。『福音の原則』『真理を守る—福音の参考資料』、教義と聖約第13章、第20章、第107章。

最後の質問「神権は男性と女性の両者をどのように祝福しますか」の答えは、聖文から見つけることができます。しかし最も大切なことは、この教義は自分にどのような影響があるかよく考えることなのです。■

著者はともにアメリカ合衆国ユタ州在住です。



この記事の第2部は、7月から12月のためのアイデアで、年内に掲載します。





十二使徒定員会  
ジェフリー・R・  
ホランド長老

# 神会を知る

わたしたちは、あらゆる面で可能な限り、  
この御三方を知る必要があります。  
また、御三方を愛し、御三方に近づき、従い、  
そして御三方のようになるために  
努力する必要があります。

2013年6月23日、プロボ宣教師訓練センターにおける新任伝道部長のためのセミナーで語られた説教、「神会」からの抜粋。

**預**言者ジョセフ・スミスはこう言っています。「神の属性を確実に知ることは福音の第一の原則です。」<sup>1</sup> さらに、こう言っています。「わたしは、皆さん全てに、神を知り、神と親しくなっていたいだきたいと思います。」<sup>2</sup> わたしたちは、「神の……完全さと属性について正しい知識を持ち」、また「〔神の〕卓越した特性」に対して称賛の念を抱く必要があります。<sup>3</sup>

わたしは、預言者ジョセフ・スミスの呼びかけをわたしたちにも当てはめて、わたしたちも、宣教師も、会員も、求道者も、**神会**の御三方の特質について確かに知る必要があると申し上げたいと思います。わたしたちは、御三方それぞれの完全性や属性について正しく理解し、その**御三方**の卓越した異なる特性に対して称賛の念を抱く必要があります。

信仰箇条の第1条に「わたしたちは、永遠の父なる神と、その御子イエス・キリストと、聖霊とを信じる」とあるのも偶然ではありません（信仰箇条1:1）。そのメッセージは、福音を教えるあらゆる人々にとって明解です。わたしたちの心の中で、そしてわたしたちが教えている人の心の中で、わたしたちの教義および永遠の行く末における神会の至高の役割がしっかりと理解できていなければ、わたしたちの信じるその他の真理について学ぶ意味はありません。わたしたちは、あらゆる面で可能な限り、この御三方を知る必要があります。また、御三方を愛し、御三方に近づき、従い、そして御三方のように

なるために努力する必要があります。

わたしたちが人々を教会に招き入れるとき、バプテスマを授けているのは人の教会に入るためではありません。その人がジョセフ・スミスであろうと、ブリガム・ヤングであろうと、トーマス・S・モンソンであろうと、そうした預言者を尊敬してはいますが、それは同じです。また、幸せな家族の教会やモルモンタバナクル合唱団の教会に入るためにバプテスマを施しているわけでもありません。

人々を教会に招き入れるときには、わたしたちは、御父と御子と聖霊の御名によって、バプテスマを施しています。そうすることで、わたしたちはバプテスマを受ける人々が、御子の働きや贖罪、恵みを通して、また聖霊の影響を受けて、目標とする御父のもとに戻ることができるよう導いているのです。ですから、わたしたちが救いの業を進めていくときには、神会のこの優れた役割を、方法としても目標としても、最も大切なものとして常に心にとどめておく必要があります。

ベニヤミン王が勧告しているとおおり、もしわたしたちが自分で仕えている御三方を**本当の意味**で知り、御三方ともわたしたちにとって見知らぬ他人ではなく、わたしたちの心の思

ベニヤミン王の教えは、群衆に対してこれだけの影響を与えたわけですが、これは、わたしたちが「全世界」に出て行って教会を打ち立てるときに、わたしたちが強調していることであって、改宗者に起こる**本当の成長**とは何かを説明する、完璧な聖典上の定義です。



いと志を異にしていなかったことを確信しているのなら（モーサヤ5：13 参照）、ベニヤミン王が経験したような成果がもたらされるはずですが、これは、その成果とはどのようなものだったのでしょうか。王の民は「大きな変化」を経験し、「悪を行う性癖をもう二度と持つことなく、絶えず善を行う望みを持つように」なり、「残りの全生涯、神の御心を行い、神から命じられるすべてのことについて神の戒めに従うという聖約を」喜んで交わしました（モーサヤ5：2、5）。

ベニヤミン王の教えは、群衆に対してこれだけの影響を与えたわけですが、これは、わたしたちが「全世界」（マルコ16：15）に出て行って教会を打ち立てるときに、わたしたちが強調していることであって、改宗者に起こる**本当の成長**とは何かを説明する、完璧な聖典上の定義です。

救い主御自身が教えられたように、伝道活動、すなわち救いの業とは、多様な国々、文化、そして民という広がりゆく世界の中にわたしたちが投げ込んでいる網のようなものです。そういうわけで、わたしたちは、たとえにあるように、「あらゆる種類の」（マタイ13：47）魚を集めることになります。広がりゆく最前線の中で網に入って来る「魚」の多くは、神がどのような御方なのか、また御父と言われる御方が実際にはどのような御方なのか、知らずにいます。イエス・キリストが実際にどのような御方なのか、あるいはなぜ主の御名がわたしたちを救い得る名として天下にただ一つしか与えられていないのかを分かっていません（使徒4：12 参照）。さらに、聖霊がどのような御方なのか、あるいはなぜ神会のこの御方が「真理を教えるために遣わされ」るのか、知らずにいます（教義と聖約50：14）。

### 神会に関する知識

もちろん、集められたあらゆる種類の魚が知らずにいる事柄は、他にもたくさんあります。しかし、その魚たちが回復された福音の祝福にあずかり、本当の意味で自分の救いを見いだしたいと思うならば、まず第一に、神会の御三方について何らかの知識と理解を持つことから始める必要があります。最終的には、「真実で、救いに至る礼拝というものは、神会……に関する真理を知っている者、また、人が〔ある中央幹部が言ったように〕永遠の会長会におられる御三方それぞれと築き上げなければならない真の関係について理解している者の中でのみ見いだすことのできる」ものなのです。<sup>4</sup>

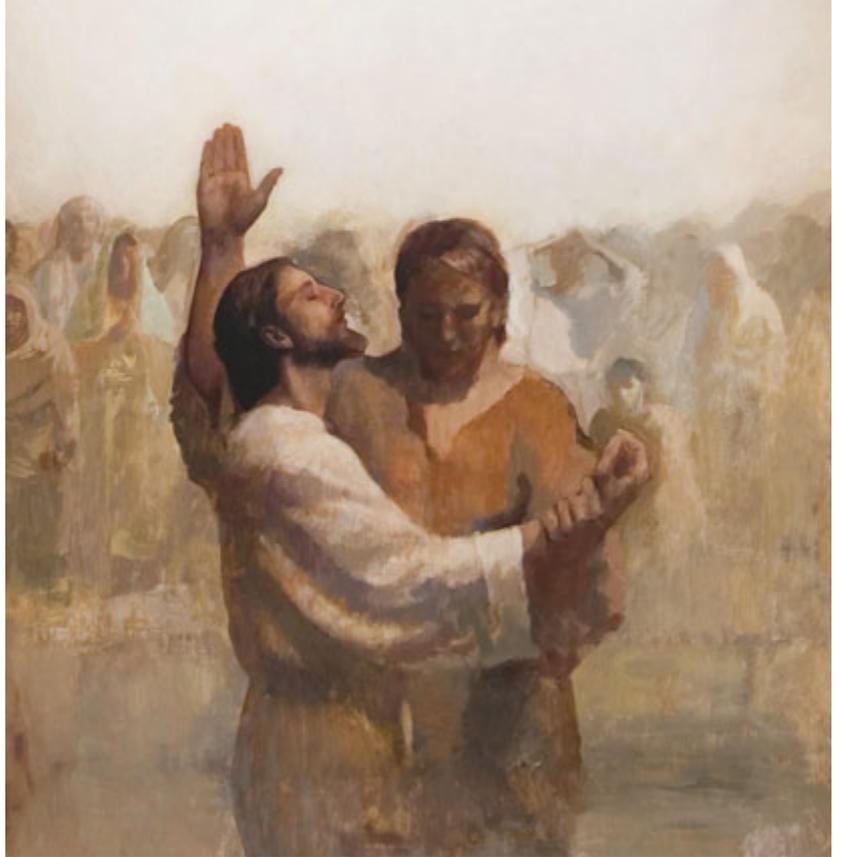
十二使徒定員会のブルース・R・マッコスキー長老（1915 - 1985年）は、わたしたちがこの教義の重要性を理解していなくとも、ルシフェルは理解していると警告して、次のように言っています。

「偽りの教義を……信じても救いはありません。特に、神会やその中の御三方について偽りの、あるいは愚かな考え方を信じている場合はなおさらです。……

そうなると、悪魔は、どんなことにも先駆けて、神や神会に関する偽りの教義をまき散らし、神会の御三方について偽りの感情を持つように仕向けるのです。」<sup>5</sup>

その場合、求道者が**本当の**<sup>あかし</sup>証を持ち、**本当**の改宗をして教会に入ることができなくなります。実は一人一人の改宗に当たって、わたしたちが求め、本当の意味での成長と呼んでいるものがこれであって、改宗に際しては、神との間で、少なくとも、何らかの個人的で、霊的で、かつ真実の経験が生じ始めていなければなりません。この種の真実の経験というものは、神が現実の存在であり、実際に人の形をしておられ、文字どおり骨肉の父であって、話すことも見ることも感じることもできる存在であり、その子供たち全員の名前も、その子供たちが何を必要としているかも知っておられ、その祈りを聞き、子供たちに皆御自分の教会に入ってほしいと願っておられる御方であるということを理解して初めてもたらされるものです。こうした求道者たちは、御父が彼らのために救いの計画を立てておられ、またわたしたちが御父のみもとに帰るための道を見いだす方法に関する戒めを与えられたということを知る必要があります。

親がその子供を優しく愛するように求道者を愛する神は、立ち上るかげろうのような存在であったり、あいまいな哲学で言う「第一原因」(訳注——哲学が展開してきた理論的に神を認識する方法で、原因と結果の流れを遡<sup>さかのほ</sup>った場合の究極の原因)であったり、あるいは理神論的に言う不在地主(訳注——宇宙を創造されたが、肝心なときに助けてくださらない神)であったりすることはあり得ません。神は現実にあるがままに理解される必要があります。つまり、慈悲深く、思いやりに満ちた御父であられ、その子供たちは皆、御自身の姿形にかたどって造<sup>みま</sup>られていて、わたしたちは皆、いつの日か、再び御前に立ち、ひざまづくということです。わたしたちの求道者の中で



も、現代のキリスト教に関する知識の有無にかかわらず、神が**そのような御方**であられるということを知っている人は限られています。

そのことを考えると、『わたしの福音を**宣べ**伝えなさい』のレッスン1で、「神様はわたしたちの天のお父様です」<sup>6</sup> という簡潔な宣言から始めることは、非常に意味があることになります。このレッスンで宣教師が最初に確認しなければならないことは、教えを聞いている人が神の真の性質について理解しているかどうかということです。

こうして教えた結果として、求道者の心と思いに神についての適切な理解が生まれていると宣教師が確認できたら、それに続くレッスンではあらゆること**が**はるかに容易に理解できるようになります。

#### イエス・キリストの使命とメッセージ

それと同様に、長老も姉妹も求道者も、今まで以上に、イエス・キリストの使命とメッセージの**壮大さ**について理解を深める必要があります。イエスは御父のもとからおいでになり、御父から教えられたままに教えを授けられたからです。人は皆、イエスがわたしたちに道と真理と命を示すためにこの死すべき世に

人は皆、  
イエスが  
わたしたちに  
道と真理と命を  
示すために  
この死すべき世に  
来られたことを  
理解する必要が  
あります。

わたしたちは、  
聖霊の力により、  
わたしたちの中から  
暗闇を追い出し、  
危険なことや  
真実でないことに  
対して警告を受ける  
ことができます。  
聖霊が約束の  
聖なる御霊でもあり、  
聖約と儀式を  
確認し、承認し、  
そして最終的には  
永遠の命に至る  
あらゆる救いの  
祝福を  
結び固めてくださる  
御方であることを  
証します。

来られたことを理解する必要があります。実に、イエスは唯一の道であられ、あらゆる真理、完全な命であられるのです。従って、イエスは御父が完全な意味で心から「これはわたしの愛する子、わたしの心にかなう者である」とおっしゃることのできる、人類の中で唯一の独り子なのです(マタイ 17:5)。

わたしたちは、キリストを信じる信仰を持ち、キリストがわたしたちを肉体的には死から、霊的には地獄から贖<sup>あがな</sup>ってくださったことに信頼を置き、キリストの贖罪がわたしたちと神との和解のために必要な唯一の手段であることを受け入れ、そして救いに通じる道は他にないということを認める必要があります。世の人々は、もし贖われたいと望むなら、そのひざをかがめ、イエスはキリストであって、生ける神の生ける御子であられることを、その舌で告白する必要があります。わたしたちは、「キリストの教」を聖文で宣言されているとおりに(ヘブル 6:1;2ヨハネ 1:9;2ニーファイ 31:2, 21;32:6;モルモン書ヤコブ 7:2, 6)、また『わたしの福音を宣べ伝えなさい』のレッスン3で要約されているとおりに、信仰と熱意をもって教える必要があります。

遠くまで放たれた網の中にいるわたしたちの魚は、聖霊が神会の中の御一方であって、魚たちが宣教師を受け入れ、そのメッセージについて天の導きをを祈り求めるときに、最も頻繁に、そして最も親しくつながりを持たなければならない御方であられるということを知する必要があります。求道者たちを真理へと導き、求道者が真理と出合ったときに、その真理について証をする役割を持つのが、神会のこの御方なのです。求道者は、レッスンの中で御霊の現れがあったときに、それを認識する方法を学ぶ必要があります。もちろん、宣教師は、改宗の過程において聖霊の果たす神聖な役割について理解していなければなりませんし、いつでも御霊とともにいることができるよう努力をする必要があります。

主はこうお尋ねになっています。「『何のためにあなたがたは聖任されたのか。』御霊、すなわち真理を教えるために遣わされた慰め主によって、わたしの福音を宣べ伝えるためであ

る。……

それゆえ、〔御霊によって〕説く者と〔御霊によって〕受ける者が互いに理解し合い、両者ともに教化されて、ともに喜ぶのである。』(教義と聖約 50:13-14, 22)

この聖なる方々に関する教えをぼかすようなことがあれば、それは宣教師にとっても求道者にとっても、決して望ましいことではないということを、わたしたちは確信しています。栄光に満ちたこの方々について教え、証を述べるよりも先に、地上の指導者について教えるはなりません。わたしたちは、基礎となる真理を教える前に、付随的な真理を教えるとする必要はないのです。バプテスマや新しい求道者の目標を達成しようと焦る必要はありません。その前に、神を信じる真の信仰について教え、キリストに従って真の悔い改めをする必要性を説明し、改宗者の証の成長に伴って芽生えてきた大切な新芽が、聖き御霊の養い育てるという働きによって強く生き生きと育っていくよう確実に見守る必要があるのです。

### キリスト教世界における混乱

この御三方のそれぞれの属性について、末日の啓示では、「御父は人間と同じ体と同じように触れることのできる骨肉の体を持っておられる。御子も同様である。しかし、聖霊は骨肉の体を持たず、霊の御方であられる」と教えています(教義と聖約 130:22)。

これほど明確な基本理念はありません。しかしながら、残念なことに、キリスト教徒の2,000年近くにも及ぶ歴史の中で、この点に関して、ひどい混乱と致命的な誤りの種がまかれたのです。宗教的信条の度重なる変遷と多様化により、真の教義の単純明快さがねじ曲げられてきました。御父と御子と聖霊は、抽象的かつ絶対的な存在であって、超越的かつ内在的、三位一体であって永遠に共存し、人知を超えた存在であって、肉体も肢体も感情も持たず、時空を超えて住まわれる存在だと宣言されてきたのです。

このような信条の中では、御三方は、別々の存在でありながら、一体であるとされ、それ

はしばしば「三位一体の奥義」と称されています。御三方は三つの別々の位格を持ちながら、三人の神ではなく一人の神になっているのです。この御三方とも理解不可能ではありますが、それでも、一人の神であって、理解を超えた神なのです。

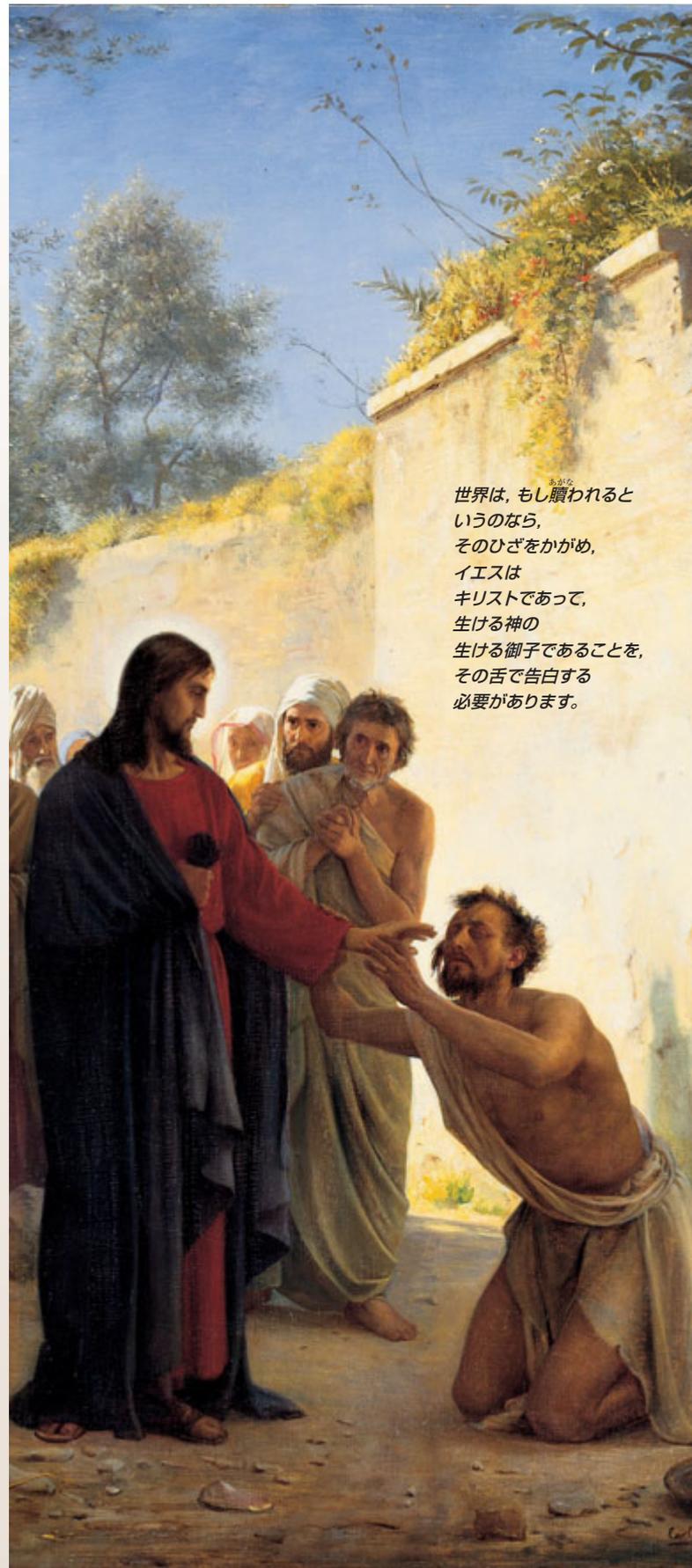
わたしたちは、少なくとも神に対するこのような概念が理解不可能であるという点については、わたしたちを批判する人たちとまったく同感です。神に関する定義がこのように混乱したまま教会に伝えられていたことから、4世紀のある修道士がこう叫んだのも無理はありません。「わざわざいなるかな。彼らはわたしの神をわたしから取り去ってしまった。……わたしは誰を礼拝したらよいのか、誰に語りかけたらよいのか、分からずにいる。」<sup>7</sup> 理解もできず、知ることもできない御方を、どうやって信頼し、愛し、礼拝し、そのような人になろうと努力することができるでしょうか。イエスが祈りの中で言われた、「永遠の命とは、唯一の、まことの神でいますあなたと、また、あなたがたがわかれたイエス・キリストとを知ることです」という言葉はどうなってしまうのでしょうか。（ヨハネ 17：3、強調付加）

ここでは、いかなる人の信仰であれ、またいかなる宗教の教義であれ、それをおとしめることはわたしたちの本意ではありません。わたしたちは、わたしたちの教義に敬意を払ってほしいと望むと同様に、彼らの教義にも同じ敬意を払っています。（それはわたしたちの信仰簡条の一部でもあります。）しかしながら、この分野で最も信頼できる、いわば究極のよりどころとも言える出典の『ハーパー聖書注解』には、次のように記録されています。「4世紀から5世紀に教会の大会議で正式に定義された三位一体の教義は、〔新約聖書〕の中には〔どこにも〕見いだすことができない。」<sup>8</sup>

ですから、率直に申し上げて、わたしたちは神会に関して4世紀や5世紀頃の異教徒の影響を受けた見方を持ってはいませんし、生けるキリストを目の当たりにした初期のキリスト教の聖徒たちも持っていなかったと公言することに、大きな心の安らぎを感じています。<sup>9</sup> わたしたちは新約聖書に基づくキリスト教徒であって、ニケーア信条に基づくキリスト教徒ではないのです。

### 神会的一致

しかしながら、御三方は別個の方であられるということを目指してきましたが、同時に大切なことは御三方が一致しておられるか、また神会が一致して一つであられるか、という点であることを今ここで強調しておきたいと思います。次のように言っても差し支えないと思います。つまり、わたしたちが他の伝統的なキリスト教会から誤解されている理由



世界は、もし贖<sup>あがな</sup>われるというのなら、  
そのひびをかかめ、  
イエスは  
キリストであって、  
生ける神の  
生ける御子であることを、  
その舌で告白する  
必要があります。

の一端は、わたしたちが神会の御三方が別個の存在であることを強調するあまり、実質的に可能な限りの場面で、御三方が一致していることを容認することも、強調することも十分にしていなかった点にあるということです。そのため、わたしたちは受けなくてもいい批判を受けてきました。また、末日聖徒の信条を理解してもらおうと思っても、それを必要以上に困難なものにしてきました。

実際、ニーファイ第二書第31章にある偉大な「キリストの教義」は、次のような宣言で終わっています。「これがキリストの教義であって、限りなく一つの神である御父と御子と聖霊の唯一真正な教えである。」(2 ニーファイ 31:21)

わたしたちは皆、ヨハネによる福音書第17章の救い主の荘厳な執り成しの祈りについて、よく読んで知っています。わたしたちはこの祈りが、御父と御子、そして御二方と御二方の地上の弟子であるわたしたちが一致していることを宣言したものであることを知っています。この祈りを度々読んでください。この祈りは特にデビッド・O・マッケイ大管長(1873-1970年)がかつて言ったように、「この地上でささげられた祈りの中でも……最も偉大な祈り」<sup>10</sup> なのです。わたしたちは、イエスが祈りの中でわたしたちに望まれたよ

わたしたちは、イエスが祈りの中でわたしたちに望まれたように、御父と御子、そして聖霊と一つになることができるよう努力する必要があります。



うに、御父と御子、そして聖霊と一つになることができるよう努力する必要があります。

## 使徒の証

話の終わりに、先に述べた「永遠の会長会」を構成する御三方についてそれぞれ証を述べたいと思います。わたしは、聖霊がもたらす御霊によって、聖霊について、また証人となることと証を述べるのが聖霊の二つの偉大な役割であられることについて証します。わたしは、聖霊が教師であられ、慰め主であられ、また個人の啓示の媒介者であられることを証します。わたしは、聖霊があらゆることをわたしたちに覚えさせてくださることを証します。特に祝福についてはそれが言えます。というのも、覚えるということは、<sup>せいさん</sup>聖餐の祈りの中にもあるように、わたしたちに与えられた偉大な戒めの一つだからです(教義と聖約 20:77, 79 参照)。

わたしは、聖霊の力により、わたしたちの中から暗闇を追い出し、危険なことや真実でないことに対して警告を受けることができると証します。わたしは、聖霊が約束の聖なる御霊でもあり、聖約と儀式を確認し、承認し、最終的には永遠の命に至るあらゆる救いの祝福を結び固めてくださる御方であられることを証します。わたしは、わたしたちが実にたやすく、神会の御一方に接する権利が与えられていて、わたしたちがふさわしくありさえすれば、それを絶えず、また繰り返し活用できることに畏敬の念を抱いています。わたしは、聖霊の賜物<sup>たまもの</sup>に対して、言葉に尽くせないほどの感謝の思いがあります。

わたしは、生ける神の生ける御子であられるイエス・キリストが、皆さんやわたし、そしてあらゆる男女、子供、つまりアダムから世の終わりに至るあらゆる人々の魂を解放するために代価を払われたことを証します。わたしは、福音の第一の原則とは主イエス・キリストを信じる信仰であり、それが末日聖徒イエス・キリスト教会の基盤であって、この教会の中心的なメッセージであることを証します。

わたしはこの世に生を受ける人は皆、その中にキリストの光を受けて生まれることを証します。わたしは、イエスがわたしたちの救いの最初であり最後、初めであり終わり、またアルファでありオメガであられることを証します。わたしは、イエスが偉大なエホバであって、贖いの「わたしは有る」であり、天地の造られる前から殺されることになっていた神の小羊であられることを宣言します。わたしは、イエスの中には満ちみちた徳が宿っておられたこと、そしてイエスが傷や染みのないまま、完全で罪のない人として、生まれ、生き、亡くなられたことを証します。

わたしは、イエス・キリストの権能が、この宇宙に永遠に

存在する万物を統御し、神の御名を冠していることに感謝しています。それが「神の御子の位に従う聖なる神権」です。もしわたしが1,000年にわたって生きることが許されたとしても、わたしには、自分がその御子の使徒の一人として召され、全世界に対するその御名の証人になったことについて、自分がどれほど驚き、ふさわしくないと感じているか、それを適切に表す言葉を見つけることはできません。

主イエスの愛に ただ驚く  
恵みの深きに われ感う。<sup>11</sup>

わたしは永遠の父なる神、大いなるエロヒム、すなわち、わたしの御父であり、皆さんの御父であって、わたしたちの霊の命を与えてくださった御方について証します。わたしはこの御方が聖なる人であられて、その慈悲、優しさ、愛、思いやりといった特質は、御父がお持ちの大切な永遠の特質を述べるに当たって、ほんの先駆けでしかないことを証します。わたしはキリストがその御父を表すためにおいでになったこと、そして、だからこそ（聖なる）人の子と呼ばれるのが適切であることを証します。

わたしは、わたしたちの父なる神が大いなる救いの計画の立案者であって、やがてイエス・キリストの福音として知られるようになったものが同時に「神の福音」としても知られるようになっていくことも証します（ローマ1:1。2-3節も参照）。わたしは、御父が過去も現在もあらゆるものの創造者であられて、エホバや他の天の御使<sup>みつか</sup>いを通して、その天地創造を完成させ、創造者としての称号をその愛する御子と共有されたことを証します。わたしは、わたしたちの務めは、ちょうど御子の御名によって御父に祈るように、御子の御名によって御父に仕えることであることを証します。

わたしは、イエス・キリストが御父の御心を行うために降臨され、御父の教義を教え、御父を通して御自身の救いの業を行われたことを証します。わたしは、御父が世を、すなわちその子供たちを愛しておられ、そのためにその最高の御子、完全な御子、すなわちその独



り子を送ってくださったこと、そして、それによって御子を愛する者は皆、永遠の命にあずかることができるようにしてくださったことを、心から厳粛に証します（ヨハネ3:36;6:47;ヒラマン14:8参照）。

わたしは御父と御子と聖霊に感謝しています。その御三方の御名によって、バプテスマから神殿での結び固めに至るまで、神聖な救いの儀式がこの教会では執り行われているからです。わたしは、皆さん一人一人が、この御三方について深く知るよう、心からお勧めします。■

#### 注

1. ジョセフ・スミス, *History of the Church*, 第6巻, 305
2. ジョセフ・スミス, *History of the Church*, 第6巻, 305
3. *Lectures on Faith* (1985年), 38, 42
4. ブルース・R・マッコンキー, "Our Relationship with the Lord", (プリガム・ヤング大学ディボーションナル, 1982年3月2日), 1 speeches.byu.edu
5. ブルース・R・マッコンキー, "Our Relationship with the Lord," 1-2
6. 『わたしの福音を宣べ伝えなさい—伝道活動のガイド』, 31
7. オーウェン・チャドウィック 編, *Western Asceticism* (1958年), 235
8. ポール・J・アクテマイア 編, *Harper's Bible Dictionary* (1985年), 1099
9. この問題について全体を知りたい場合, スティーブン・E・ロビンソン, *Are Mormons Christians?* (1991年), 71-89を参照。またロバート・L・ミレット, *Getting at the Truth: Responding to Difficult Questions about LDS Beliefs* (2004年), 106-122も参照
10. デビッド・O・マッケイ, Conference Report, 1967年10月, 5
11. 「主イエスの愛に」『賛美歌』109番

イエス・キリストは、  
御父の御心<sup>みこころ</sup>を  
行うために  
降臨され、  
御父の  
教義を教え、  
御父を通して  
御自身の  
救いの業を  
行われました。

## 神の言葉であることを認めました

数年前のこと、ブラジルのサンパウロにある空港で、書店の陳列棚に置かれた1冊の本が目にとまりました。表紙には、『モルモン書—イエス・キリストについてのもう一つの証』と書かれてありました。イエス・キリストについてのもう一つの証を受け入れるほど、現代の世の中は腐敗し、方向を見失ってしまったのだろうかと思い、週末はずっと、その本のことを考えていました。

結局、わたしは好奇心を抑えることができませんでした。その本を買うために、もう一度、その書店へと足を運んだのです。ところが、そこへ着いてみると、その本はありませんでした。どのような本か説明しましたが、店員は見たことがないと言います。陳列棚に展示されている本は全て、カタログに載っているはずなのに、その記録も見つけることができないのです。

それからしばらくして薬局に行ったとき、カウンターの上に1冊の本が開かれたままの状態に置いてあることに気づきました。読み始めたとき、コリホルという名の男について知りました。この男は、かたくなに神の力を疑い、結局、口が利けなくなりました。わたしは、自分が読んだ言葉について深く考えたとき、それが神から与えられたものであると分かりました。

その頃、わたしは神の導きを求めていました。ある日のこと、わたしはひざまずき、神に熱烈な祈りをささげました。神のもとに通じる真の道を示していただくためです。数日後、息子の具合が悪くなり、わたしはもう一度あの薬局を訪れました。店を出ようとしたそのときに、名札を着けた3人のア

メリカ人が入って来ました。わたしは胸に温かい気持ちを感じ、彼らに話しかけるように促されました。

彼らがブラジルに来たのは、イエス・キリストの福音を宣べ伝えるためだと教えてくれました。わたしはその福音を教えてもらえるかと尋ね、レッスンの日取りを決めました。

預言者ジョセフ・スミスについて初めて聞いたとき、自分の祈りがこたえられたことを知りました。すると宣教師はわたしに1冊の本をくれました。驚いたことに、それはモルモン書でした。わたしがあの陳列棚で見た本とまったく同じものだったのです。わたしは再び心地よく温かい気持ちを感じ、喜びのあまり口が利けなくなりそうでした。

宣教師はこの本の起源

について説明し、それが真実かどうかを神に祈り求めるよう勧めてくれました。この本の神聖さについては、そのとき既に、絶対的な確信がありました。主がそのことを2度も示してくださっていたからです。それでも、わたしはかなり詳しく調べました。第三ニーファイ第17章を読んだとき、この本には神聖な話が記されていると分かりました。イエス・キリストの言葉が記されていたからです。

わたしの証を支えているのは、モルモン書には神の言葉が記されているという知識です。この本はわたしを変えました。そして、これからもわたしを変え続けることでしょう。■

ホセ・エバンニルド・マティアス・フェルナンデス  
(ブラジル、サンパウロ)



それからしばらくして薬局に行ったとき、カウンターの上に1冊の本が開かれたままの状態に置いてあることに気づきました。その本を読み始めたとき、そこに書かれた言葉について深く考え、それが神から与えられたものであると分かりました。

どれくらい時間がかかったのか  
はっきりしませんが、  
ある日、ようやく神の愛を  
再び味わうことができました。  
長い冬の後の  
暖かな太陽の光のようでした。

## 暗黒の霧の中で 道を見いだす

数年前、これまでの人生でも特に  
暗い時期を経験しました。たく  
さんの困難に直面し、その重荷のため  
に悲観的となり、打ちのめされていま  
した。

ある日曜日、教会で周りを見回すと、  
賛美歌を歌い、神の愛を味わって  
いるたくさんの幸せな家族が目に入  
りました。わたしも同じように感じたい  
と思いましたが、自分の中の何かがお  
かしいのです。

以前は御霊を感じていたのですが、  
感じられなくなってからしばらくたっ  
ていました。リーハイが見た命の木の  
示現のように、暗黒の霧にすっぽり包  
まれているように感じました。木を見  
ることさえできませんでした。(1ニー  
ファイ 8:2-24 参照)

聖餐の祈りが始まりました。わたし  
は目を閉じ、天の御父に助けを求め、  
御父の愛を確信させてくださるよう願  
いました。なぜ命の木の實を味わう  
ことができないのか尋ねました。

リーハイの夢について思いを巡らせて  
いるとき、はっとあることに気づい  
たのです。「どうしてこれを思い出さ  
なかったのだろう。」そう思いました。  
暗黒の霧の中を歩くことは、神の計画  
ではまったく当たり前のことなのです。  
わたしたちが神と御子に完全に頼る  
ことができるように、神はわたしたち  
にときどき困難を経験させてくださ  
るのです。そこで大切なのは、鉄の棒に  
つかまっていることです。わたしはま  
だ暗黒の霧の中にいましたが、希望  
がありました。

この印象が心から消えたとき、その  
とき抱えていた多くの試練も終わると  
きが来るのだと聖霊が優しく証してく  
ださるのを感じました。御霊が、天の  
御父がそばにおられることを証してく  
ださいました。わたしは涙を拭き、御  
霊を再び感じる事ができたことに感  
謝しました。

聖文の研究に熱心に取り組み始め  
ました。暗い日はまだ何日も続きま  
したが、神の言葉である鉄の棒につか  
まっていれば(1ニーファイ 11:25 参  
照)、暗黒の霧から解放されることを  
信じていました。どれくらい時間がか  
かったのかははっきりしませんが、ある  
日、ようやく神の愛を再び味わうこ  
とことができました。長い冬の後の暖かな  
太陽の光のようでした。

人生で度々困難を経験しましたが、  
聖文と預言者の言葉を研究すること  
で鉄の棒にしっかりつかまっていると  
いう自らの約束を忘れませんでした。  
暗黒の霧がやって来ても、わたしには  
霧の中で道を見つけるための必要な  
道具があります。そして、霧を乗り越  
えたとき、温かく迎え入れられるとい  
う約束があることを知っています。■

フベンタ・ベッサーニ  
(アメリカ合衆国、カリフォルニア州)



## あなたはこれが真実だと分かっています

**ア**メリカ合衆国カリフォルニア州オークランドのデパートに勤めていたある日、ある友人が立ち寄り、食事に招待してくれました。友人は、二人のモルモンの宣教師も来ることになっていました。

食事の後、宣教師は小さなフランネルボードを立てて、わたしに質問を始めました。わたしは少しいらいらしてきました。話を聞いたら、すぐに帰らなかったのです。

しかし、レッスンの後、ユタ州出身の若い宣教師が椅子を引き寄せ、わたしの目を見ながら1冊のモルモン書を手渡して証あかししました。教会が真実であることを知っていると言い、わた

しもこの本を読むことで、それを知ることができると言ったのです。モロナイ書第10章4節を引用して、誠心誠意神に尋ねるならば、神は、聖霊の力によってこの本が真実であることを示されると言いました。

翌週、わたしは何章か読み、再び友人の家で宣教師と会いました。3度目のレッスンが終わると、ユタ州の宣教師は伝道が終わり、故郷に帰って行きました。

わたしはそれから毎晩読んで祈り、この本が真実かどうか尋ねました。ある夜、祈り終えてベッドに入ってから、さらに数章読みました。すると突然、簡潔な言葉が聞こえまし

た。「あなたはこれが真実だと分かっています。」

御霊みたまに話しかけられたのは初めてでした。しかし、そのとき、神がわたしを知っておられ、愛しておられることを知ったのです。感動で涙を抑えることができませんでした。イエスキリストの真の教会に入らなければならないと分かりました。また、ユタ州出身のあの若い宣教師が、どうして教会が真実だと知っていると言うことができたのか理解しました。

わたしは教会員となり、その後、ある美しい若い女性とカリフォルニア州オークランド神殿で結婚しました。8人の子供をもうけ、カリフォルニア州

**そ**の本を取り、彼の目を見、本を彼に返して言いました。「わたしはこの本が真実だと分かっています。」



に33年住み、その後ユタ州に引っ越しました。

数年前、伝道に出る準備をしていた末娘が、わたしを教えたあの若い宣教師に連絡を取ろうとしたことがあったのかと聞きました。

「あの宣教師のことは何年も考えているんだが、どうやって連絡を取ったらいいか分からないんだ」と答えると、

10分もしないうちに娘が戻って来て言いました。「ほら、その人の電話番号よ。」

彼と連絡が取れて、長い間話しました。彼は「近況を伝えたい」ので、わたしの電子メールアドレスを教えてくださいと言いました。翌日届いた電子メールには、自分が教会員でなくなつてから40年以上たつこと、わたしにがっかりしてほしくない、と書かれていました。

「どうしてがっかりするんですか?」すぐに返事のメールを送りました。「あなたはわたしの人生を変えてくれたのですよ!」

それからさらに電子メールのやり取りがあって、会うことになりました。すぐに車で彼の家に行くと、家に通され、奥さんに紹介されました。これまでのことについて話しながら、わたしは彼に、モルモン書を持っているかどうか尋ねました。彼は2階に行き、モルモン書を手にして戻って来ました。わたしはその本を取り、彼の目を見、本を彼に返して言いました。「わたしはこの本が真実であると知っています。モロナイ書第10章4節を読んで、それについて祈れば、あなたもそれが真実であるという証を得ることができます。」

それからの数か月間、彼は読み、祈り、悔い改めをしました。そして間もなく、彼の18歳の息子が父親に2度目のバプテスマを施し、わたしは彼を確認するという祝福を得ました。

娘は靈感を受けてあの質問をしたのです。わたしたち二人が45年を経た再会できるような主が準備してくださつたと知っています。モルモン書の力を知りました。また、教会から離れていった人を決して諦めてはならないことも学びました。■

ヘンリー・（ハンク）・ブラウン  
（アメリカ合衆国、ユタ州）

## 十分学んで いたでしょうか

**わ**たしは10代の頃から忠実にモルモン書を毎日読んできました。夜、疲れ切った状態でベッドに入った後でも、その日まだ読んでいないことに気づくと、モルモン書を手に取り、少なくとも幾つかの聖句を読むようにしていました。

2年前、わたしは早朝セミナーで旧約聖書を教えるように頼まれました。聖典の中で一番なじみがないのは旧約聖書だったので、3時間から4時間かけて学習してレッスンの準備をする日もありました。聖書や末日の啓示を学ぶことに多くの時間を割いたため、モルモン書を毎日読まなくなりました。家族で夜モルモン書を読んでいたし、時折参照聖句を調べたりしていたので、日々の福音学習を十分にしているつもりでいました。

年度途中の1月に、ステーキ会長はモルモン書を毎日1章読むようにス

テーク全体にチャレンジしました。セミナーのためにかなりの時間を費やして勉強していたため、どうやってモルモン書を読む時間を見つけようかと思いましたが、チャレンジを受け入れることにしました。自分自身を強めるだけでなく、子供や生徒たちに模範を示す必要もありました。

そのときから、わたしは毎日、セミナーのレッスンの準備を始めるときに、あるいは寝る準備をするときにモルモン書を1章読みました。失っていることに気づけなかった御霊と力が生活に戻って来ました。順調に行っていたセミナーのレッスンが、さらに良いものになりました。旧約聖書の分かりにくかった部分をもっと理解できるようになりました。預言者の教えやモーセの律法を熱心に学んだおかげで、モルモン書がさらによく理解できることにも気づきました。

モルモン書の序文には、預言者ジョセフ・スミスの次の言葉が書かれています。「わたしは兄弟たちに言った。『モルモン書』はこの世で最も正確な書物であり、わたしたちの宗教のかなめ石である。そして、人はその教えを守ることにより、ほかのどの書物にも増して神に近づくことができる。」

モルモン書は福音のあらゆる教えをつなぎ合わせる書物であり、そこにはイエス・キリストと救いの計画について力強い証あかしが書かれています。モルモン書は、わたしの人生の全てに意味があることを知る助けとなっています。モルモン書が日々の生活の一部となっていることに感謝しています。■

アンジー・ニコラス  
（アメリカ合衆国、テキサス州）



七十人  
ポール・B・  
パイパー長老

# 死すべき世

## ——その明らかにされた現実

**人**はそれぞれ地上において独自の環境に置かれています。それぞれの環境に違いがある中で、主は全ての人に当てはまる、死すべき世の目的に関する真理を明らかにされました。主はこれらの真理を最初の両親であるアダムとエバに教えられ、現代において再確認されました。

わたしはこの真理を「死すべき世の現実」と呼んでいます。わたしたちが死すべき世の経験から最大限の祝福と恩恵を受けるには、明らかにされた現実を理解し、喜んで受け入れなければなりません。これらの現実を理解することができなかつたり、あるいはさらに悪いことに、それを故意に無視したりすると、地上で過ごす時間を不適切に使い、十分に活用できず、おそらくことごとく無駄にすることになるでしょう。

単にこの地上に生まれ、死すべき肉体を受け、人生を生きるだけでは不十分です。地上で過ごす時間を意義深いものにするには、神が定められた死

すべき世の目的に沿って、最大限に、完全に、そして誠心誠意生活し、経験を積みなければなりません。面白いこと、安楽なこと、都合が良いことに心を奪われてはなりません。

アダムとエバはエデンの園から追い出されたとき、この死すべき世界に入りました。主は、アダムとエバがこれから経験する現実について教え、二人を死すべき世の経験に備えられました。それらの3つの現実について復習したいと思います。

始めに、前世にいた霊の多くは第一の位を保たなかったために、死すべき体を与えられなかったことを思い出してください。<sup>1</sup> 彼らは、わたしたちが死すべき世で全ての恩恵を受けることを妨げようと全力を尽くしています。永遠の幸福につながる経験からわたしたちを遠ざけようとしているのです。

### 現実その1 — 労働は永遠の命に必要な不可欠な資質や属性を伸ばしてくれる。

神はアダムにこう言われました。「あなたは顔に汗してパンを食べ、土

から取られたので、ついに土に帰る。」(モーセ4:25。創世3:19も参照) 主のこの言葉は、禁断の実を食べたアダムとその子孫に対する呪いであると考える人がいます。しかしわたしは、これから間もなく生活する堕落した死すべき世の状態について、愛ある御父が若くて未経験な息子に説明している言葉であると受け止めています。

家を離れて一人立ちする息子に準備をさせる地上の父親のように、御父は人類最初の人々が家を離れて自活する備えに手を差し伸べ、働くことが新しい現実、すなわち死すべき世の現実であることを説明されたのです。

天の御父は、アダムとエバがすぐに自然の力と地球そのものに対して奮闘しなければならないことを御存じでした。全てが備えられていたエデンの園とは対照的に、死すべき世では、生き延びるために肉体的、精神的な努力、汗を流して働くこと、忍耐、粘り強さが求められます。

労働を学ぶこと、すなわち力を発揮し、物を作り出し、物事を達成し、進

人間の偽りの教えを避け、  
死すべき世の旅路を  
実り豊かで最高のもの、  
意味のあるものとするために、  
神が明らかにされた  
現実に沿って進みましょう。



歩するために心身と霊を訓練し鍛えることは、死すべき世に生きる全ての人の生活の基となる現実です。これは、わたしたちが神のようになり、地上における神の目的を果たす方法の一つなのです。天の御父、イエス・キリスト、そして聖霊は皆働いておられます。御父の業と栄光とは「人の不死不滅と永遠の命をもたらすこと」です（モーセ1:39）。現実的には、働かずに栄光をもたらすことはできません。

人が働く必要があるおもな理由の一つは、家族の生活を支えるためです。「家族—世界への宣言」では、男性に具体的に与えられた3つの責任の一つとして「提供〔する〕」という言葉が使われています。<sup>2</sup> 働く方法と自活する方法を知っている人は、結婚して妻子を養う自信を持っています。

教会の前管理ビショップのH・デビッド・バートンビショップはこう言っています。「正直かつ生産的に働くことは、充足感や自尊心をもたらします。自立し、自分や家族の必要を満たすために全力を尽くした人は、それでもなお不足しているものがあれば、自信をもって主に求めることができるのです。」<sup>3</sup>

サタンは神の目的を打ち碎き、わたしたちの死すべき世の経験を破滅へ追い込もうと絶えず待ち構えています。御父が労働を強調しておられることとは裏腹に、サタンは現代の多くの人に人生の一番の目標は労働を避けることであると思込ませています。今日の社会において、多くの人は少ない労働で良い給料が得られる仕事や、努力なしに高い収益が得られ

る投資や財務戦略、あるいは自分の望むものを無償で手に入れられるプログラムを探すことに力を注いでいます。またある人々は、返済するつもりのないお金を借りて生活することで働くことを避けようとします。そのような人々はお金を使う前に、進んで働き、予算を立て、蓄えようとしません。教会の指導者は、必要としているものを得るために働き、「生活になくはならないものを確保する以外の目的でお金を借りることはあ〔ってはならない〕」と勧告しています。<sup>4</sup>

この時代において悪魔が使うもう一つの狡猾な策略は、人間が本来持っている働く意欲を事実上の袋小路に誘い込むことです。神は若い人々に競争し達成する意欲を植え付けられました。彼らがその意欲を使って家族を忠実に養うようにするためです。若いとき、この意欲は学問やスポーツなど、粘り強さ、克己心、働くことを学ぶ助けとなる活動に向けることができます。しかし、サタンは巧妙な方法でその意欲を遮ってビデオゲームの仮想世界にいざない、時間や意欲を浪費させ、依存症へと至らしめます。

どんなに一生懸命ビデオゲームに打ち込んだとしても、仮想世界の労働から本当の労働がもたらす満足感を得ることは決してできません。本当の労働とは、価値ある知識を習得し、必要な仕事を行い、困難な目標を達成するために努力し、粘り強さを養い、忍耐し、自らを訓練することです。

死すべき世にいる間に働くことを学ばなければ、わたしたちはこの世で最大限の可能性や幸福を手に入れること

ができませんし、永遠の命に必要な特質や属性が身につくこともありません。

## 現実その2 — 永遠の結婚を通して、天の御父が授けようと望んでおられる全ての祝福を得ることができる。

主は神権の誓詞と聖約の中でこう約束しておられます。

「だれでも忠実であって、わたしが語ったこれら二つの神権を得……る者は、……アブラハムの子孫となり、神の教会となり、神の王国となり、神の選民となる。

主は言う。この神権を受けるすべての者は、わたしを受け入れるのである。

……わたしを受け入れる者は、わたしの父を受け入れる。

そして、わたしの父を受け入れる者は、わたしの父の王国を受けるのである。それゆえ、わたしの父が持つておられるすべてが、彼に与えられるであろう。

これは神権に伴う誓詞と聖約によってである。」（教義と聖約 84:33 - 35, 37 - 39）

愛ある御父は、御自身の子供たち一人一人が全てのものを受け取るように望んでおられます。全てのものとは、完全、すなわち御父の完全のことです。この完全を受けるために、「人はこの神権の位（すなわち、結婚の新しくかつ永遠の聖約）に入らなければなりません。」（教義と聖約 131:2）

永遠の結婚、そしてわたしたちが学んで経験するように計画された全てのことは、天の御父が御自身の子供たちに与えようとしておられる全ての祝

福を受けるための鍵です。主の宮に参入するためにふさわしく生活し、互いに結び固められる男女から成る家族だけにその資格があります。神権の全ての祝福は、夫婦としてともに受けるものであって、そうでなければまったく受けることができません。

興味深いことに、主は神権の誓詞と聖約の中で、**得ると受け入れる**という動詞を使っておられ、**聖任する**という動詞は使っておられません。男女がともにアロン神権とメルキゼデク神権の両方の祝福と力を得、それを受け入れるのは、神殿においてです。夫婦が主の宮でこれらの祝福を受けた後、神のような特質や属性を伸ばす場所は、基本的に家庭です。互いのために犠牲を払い、仕え合い、完全な貞節をもって愛し合い、互いと神への愛によって一つとなるのです。

**完全、神権、家族。**互いに関連するこの3つの言葉は、永遠の結婚の現実の中に全て包含されています。永遠の結婚を死すべき世の現実とするために全力を尽くすことにより、地上で過ごす時間が無駄にならないようにすることができます。

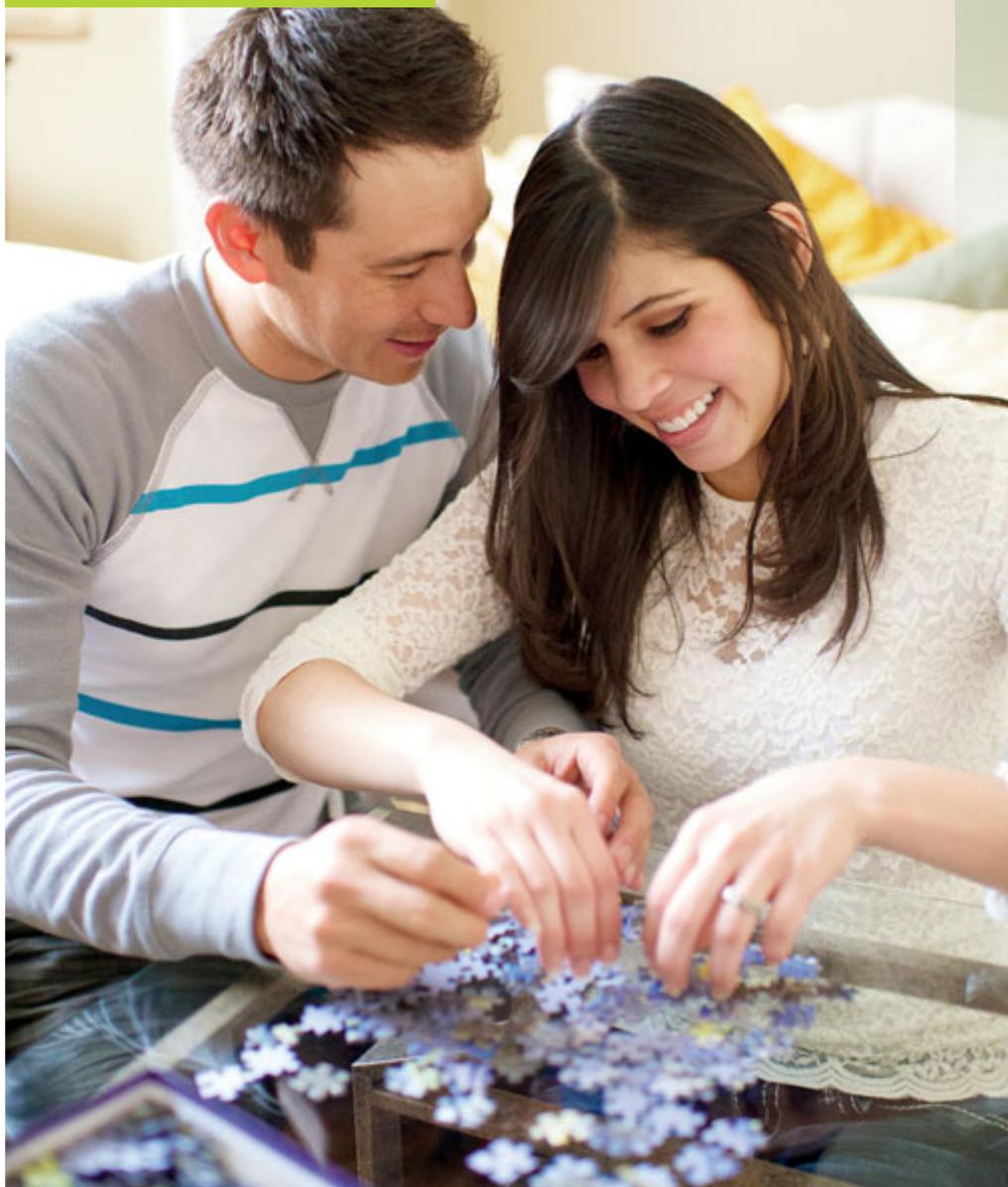
常に欺く者であるサタンは、今日死すべき世の現実をねじ曲げ、ゆがめるために働いています。そしてサタンは休むことなく動き回り、男性と女性の心に宿る結婚の意味そのものや結婚の重要性を打ち壊しています。ある人には、結婚は必要ない、愛があれば十分であるという偽りの教えを吹き込み、また別の人には、結婚に関する法律に新しい定義を用い、不道德な関係を合法化しようとしています。神が

定められた結婚を信じる人に対しては、結婚の優先順位が教育や経済的な安定よりも低くなるように働きかけています。また、結婚に伴う犠牲や困難に対して恐れを抱くように仕向けています。多くの人は恐れのために何も

できなくなり、前進して信仰をもって行動するよりも、働きかけられるのをじっと待っています。

ある人は実際の間人間関係を築く際に求められる事柄に困惑しながらも、伴侶や親密な関係を望みます。そして、間違っただ願望からインターネットの仮想世界に踏み込んでしまいます。仮想世界で親密な関係を築こうとしても何も得られず、さらに大きなむなしさ、満たされない願望、恥ずかしさしか残りません。多くの人は無意味な検索作業に何回も引き込まれ、ついにそ

**永遠の結婚は、  
天の御父が  
御自身の子供たちに  
与えようとしておられる  
全ての祝福を  
受けるための鍵です。**



の行動パターンは決して満足の得られない依存症になってしまいます。<sup>5</sup> そのような人たちは、誘惑に抵抗する意思を徐々にむしばむ悪循環に陥っていくのです。彼らにはまだ選択の自由はありますが、誘惑に抵抗するほどの希望を抱くことができません。このわなにかかると、永遠の結婚という死すべき世で最も崇高な現実の一つがもたらす充足感や喜びを味わう機会を逃す危険性があります。

もしあなたがこのわなにかかっているなら、助けを求めてください。待たないでください。すぐに行動しないと、死すべき世での成長と進歩を遅らせることになります。

自分の生活をよく吟味してください。結婚に関する誤った考えによって惑わされないように注意してください。実りある結婚は、「信仰と祈り、悔

い改め、<sup>ゆる</sup>赦し、尊敬、愛、思いやり、労働、健全な娯楽活動」<sup>6</sup> の上に確立されることを忘れないでください。

皆さんの生活の中でこれらの属性を身につける努力を今日から始めてください。そうすることによって、主は御自身の子供たちに備えられている完全な祝福、すなわち結婚の新しくかつ永遠の聖約を受ける道を開いてくださるでしょう。死すべき世での時間を「ことごとく荒廃〔させる〕」ことがないようにしてください（ジョセフ・スミス—歴史 1:39）。

**アダムとエバは、  
子供をもうけることが  
死すべき世の  
重要な現実であることを  
理解していました。**

**現実その3 — 子供をもうけて育てることは、神のようになる能力を伸ばしてくれる。**

神が地上に最初の家族を作るためにアダムとエバを「祝福」されたとき、つまり結び固められたとき、<sup>7</sup> 生めよ、ふえよ、地に満ちよ、という戒めをお与えになりました（創世 1:28；モーセ 2:28 参照）。結婚と子供には切っても切り離せない関係があります。この世への誕生を可能にする生殖の力は、法律によって結婚した男女の間でのみ使われるべきです。<sup>8</sup>

アダムとエバは、子供をもうけることが死すべき世の重要な現実であることを理解していました。二人は神の戒めに従って、「アダムはその妻を知り、彼女は彼に息子、娘たちを産んだ。そして、彼らは増えて、地を満ちし始め」ました（モーセ 5:2）。現代の預言者は、「増えよ、地に満ちよ、という神の子供たちに対する神の戒めは今なお有効です」と宣言しています。<sup>9</sup>

しかし今日の世界では、多くの人はもはや「子供たち〔が〕神から賜わった嗣業であ〔る〕」とは信じていません（詩篇 127:3）。

数年前、結婚を間近に控えていた一組の男女がわたしのもとにやってきました。子供をもうけることについて、わたしの助言を求めたのです。わたしは彼らに、結び固めのときに受ける戒めを心に留めるように、彼らが主と相談することでこの戒めを守ることができるかと助言しました。この戒めは、<sup>しゅうぶん</sup> 什分の一を納めること、安息日を守ること、その他の戒めと同様の戒めであると伝えました。ひとたび聖約を



交わしたら、問題はそれを守るかどうかではなく、どうすれば主に喜ばれ、主に認めていただける方法でその戒めを守れるかということです。

わたしは、この夫婦が結婚生活を始めるのを見守っていました。夫は大学を卒業するまで1年ありまして、妻は修士課程を修了するまでさらに1年残っていました。学業や将来の仕事に対する不安があったにもかかわらず、二人はすぐに子供をもうけた方がよいと感じました。それほど早くに子供をもうけることは、簡単なことでも、都合の良いことでもありませんでした。夫は仕事を探し、家を引っ越し、妻は学位を取得しなければなりません。彼らはストレスと犠牲に直面しました。妻が修士論文を書き、実習を行う間、夫は毎日急いで家に帰って子供の面倒を見なければなりません。妻は授乳とおむつを取り換える時間の合間に勉強し、論文を書き上げました。

主は彼らを祝福し、繁栄を与えました。多くの人が2008年の経済危機で失業する一方で、夫は仕事を続け、昇進を果たしました。彼らは節約して生活していたので、住宅ローン以外の負債はありませんでしたし、借金をしないで修士課程のための学費を完納することができました。その間中、二人は親の務めを果たすことでしか得られない貴重な教訓を学び続けました。子供をもうけることは、簡単なことでも、都合の良いことでもありませんが、死すべき世の本当の祝福に気づかせてくれる戒めなのです。

## 大いなる賜物<sup>たまもの</sup>

死すべき世の生活は、天の御父が与えてくださった最も大いなる賜物の一つです。天の御父はわたしたちを愛しておられ、この賜物を最大限に、そして完全に活用するように望んでおられます。神が明らかにされた現実を喜んで受け入れ、それを中心として生活することによってのみ、わたしたちが地上に来た目的を成し遂げることができます。サタンは、わたしたちが肉体を得るのを阻止できないことを知っています。そこで、肉体が創造された目的、すなわち働き、結婚し、子供をもうけることからわたしたちの心をそらそうとしています。

漫然と目的もなく生活するのはやめましょう。さもなければ、地上での目的を果たすうえで不可欠な、神が明らかにされた死すべき世の現実とかけ離れた人生を過ごしてしまったことに後で気づくことになるでしょう。人間の偽りの教えを避け、死すべき世の旅路を実り豊かで最高のもの、意味のあるものとするために、神が明らかにされた現実に沿って進みましょう。■

2013年2月19日、ブリガム・ヤング大学アイダホ校のディボーションで行われた説教、“The Realities of Mortality”（「死すべき世の現実」）から。英語の全文を見るには、[web.byui.edu/devotionalsandspeeches](http://web.byui.edu/devotionalsandspeeches) にアクセスしてください。

### 注

1. アブラハム3:26, 28 参照
2. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129 参照
3. H・デビッド・バートン「労働の祝福」『リアホナ』2009年12月号, 37
4. ニール・L・アンダーセン「主を敬うことは知恵のはじめである」『リアホナ』2013年1月号, 26。ロバート・D・ヘイルズ「物心両面で賢い養い手となる」『リアホナ』2009年5月号, 7-10も参照



## 永遠に増し加えられるという約束

「結婚していない人々や子供を持たない人々も、求めているながら、今はまだ自分の手に届かないところにありますが、その永遠の祝福を拒まれることはありません。わたしたちは祝福がどのように、あるいはいつ、そのような人々に与えられるか必ずしも知っているわけではありません。しかし、神聖な聖約を交わして守る忠実な人は誰も、永遠に増し加えられるという約束を拒まれないのです。」

### 十二使徒定員会

ボイド・K・バックー会長（1924 - 2015年）  
「証人」『リアホナ』2014年5月号, 95

5. 十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老はこう言っています。「常習行為は生まれながらの人がしきりに求めるものであって、決して満足を得られ……ません。」（“Becoming Provident Providers Temporally and Spiritually,” 10）
6. 「家族——世界への宣言」
7. ジョセフ・フィールディング・スミス, *Doctrines of Salvation*, プルース・R・マッコンキー編, 全3巻（1954 - 1956年）, 第1巻, 115, 第2巻, 71
8. 「家族——世界への宣言」
9. 「家族——世界への宣言」

## 2016年 ミューチャルのテーマ

「したがって、あなたがたはこれからも  
**キリストを確固として信じ、**  
完全な希望の輝きを持ち、神とすべての人を愛して

# 力強く進まなければならない。

そして、キリストの言葉をよく味わいながら力強く進み、最後まで堪え忍ぶならば、  
見よ、御父は、『あなたがたは永遠の命を受ける』と言われる。」(2 ニーフアイ 31:20)

### 力強く進むことから もたらされる祝福

#### 中央若い男性会長会

**忠**実な教会員として生活することにより、驚くほどの祝福がもたらされます。しかしそれは、人生に困難なことがまったく起こらないという意味ではありません。誘惑や不誠実な友人、家族の問題などがあります。さまざまなが、あなたを試し、聖約の道からそらせようとするでしょう。

今年のミューチャルのテーマ、「キリストを確固として信じ、力強く進む」(2 ニーフアイ 31:20) に力強いメッセージが込められているのはこのため

です。聖約に忠実であり続け、キリストを確固として信じ、力強く進むときに、神はあなたのために、またあなたを通して、驚くべきことがおできになります。そして同時に希望と慰めと平安を一度に感じられるようにしてください。

預言者ジョセフ・スミスはこのことをよく知っていました。ジョセフ・スミス



会長、スティーブン・W・オーウェン(中央)、  
第一顧問、ダグラス・D・ホームズ(左)、  
第二顧問、M・ジョセフ・ブラフ(右)

は、最初の示現を経験したときにわずか14歳でした。聖なる森で祈るためにひざまずいたとき、ジョセフは、目に見えない力に襲われました。ジョセフを滅ぼそうと脅かす、途方もない力で。あらん限りの力を尽くして神に呼び求めたことで、ジョセフは救い出され、御父と御子の訪れを受けました。

ジョセフは後にこの経験について語り、友人や地元の指導者に嘲られました(ジョセフ・スミス—歴史1:15-17, 21-26 参照)。その迫害は、やむことがなく、ついに24年後にジョセフの命を奪うこととなります。

しかし、ジョセフは希望をもって力強く進みました。

バプテスマ

聖餐

そして、主の務めにおいてそうすることに喜びを感じました。キリストを確固として信じ続け、信仰を働かせて正しいことを行ったので、神はジョセフを祝福し、支えられました。神はあなたにも同じようにしてくださいます。

ですから、力強く進みましょう。福音に従って生活することを決意してください。救い主にひたすら目を向けましょう。「完全な希望の輝きを持ち、神とすべての人を愛し」ましょう。「キリストの言葉をよく味わい」ましょう。神権の指示の下で奉仕しましょう。神が望んでおられるような人物になろうと努力しましょう。

永遠の命に至る道にあって聖約を交わし、それを守って力強く進むならば、幸せを見いだすことができると、わたしたちは証<sup>あかし</sup>します。■

## 前進する

### 中央若い女性会会長

**あ**なたは自分がどこへ向かっているか、どこに行き着きたいかを考えたことがありますか。2016年のミューチャルのテーマは、ニーファイ第二書 31 章 20 節です。この一つの

節に、あなたの人生の方向に関する 7 つの勧告があります。神から命じられた**方向と行い、態度、学習**、ならびに**努力に対して約束された報い**が分かります。この節にある幾つかの鍵となる言葉を見てみましょう。

**力強く進む**という言葉は、反対の力に対抗するために現実の努力が求められることを暗に意味しています。わたしたちは神の戒めに敵対する世界に取り囲まれているため、福音に従って生活するためには力を注がなければなりません。

キリストを確固として信じていますか。キリストへの忠実さにおいて揺るぎないと言えますか。

もし「キリストにつながって」いて(ヨハネ 15:4 参照) 主の教えに従っているならば、あなたは真に確固としており、必ず祝福を受けることでしょう。

神の愛を自分で理解し、感じる時



会長、ボニー・L・オスカーソン(中央)、  
第一顧問、キャロル・F・マッコンキー(左)、  
第二顧問、ニール・F・マリオット(右)

に、**希望と神と人への愛**は深まるでしょう。キリストの言葉をよく味わう、すなわちキリストの言葉を感謝と目的をもって生活に生かすとき、さらに神の愛を理解するようになります。

最後に、**堪え忍ばなければ**なりません。退屈で過酷なことのように思えますか。実際、**堪え忍ぶ**とは、行っている善を続けること、すなわち力強く進む努力を一貫して続けることだと言えます。福音の道にしっかりとどまるならば、**堪え忍んで**いると言えます。

その価値があるのでしょうか。はい！愛にあふれた天の御父は、わたしたちがみもとに戻り、御父とともに**永遠の命**を得ることを望んでおられます。なぜなら、そこは、わたしたちが現在想像できる範囲を超えた**真実の永続する幸福と喜びのある場所**であるということを、御父は御存じだからです。ニーファイ第二書 31 章 20 節で、御父がきわめて明確かつ具体的に、みもとに戻るためにしなければならないことを述べられたのは、このためです。主の助けがあれば、わたしたちはそれができます。御父は、お命じになったことをわたしたちが行えるように、常に方法を備えてくださいます。■

神権

神殿のエンダウメント

神殿結婚



# 2 ニーファイ 31:20

今年のミューチャルのテーマは、**確固として前進する方法を知る助けとなります。**



## 最後まで堪え忍ぶ

「愛にあふれる神が与えておられる試練は、苦難に耐えられるかどうかを試すものではなく、立派に耐えられるかどうかを試すものなのです。わたしたちは神を覚え、神から与えられた戒めを守ると証明することによって試練を乗り越えるのです。」

大管長会第一顧問 ヘンリー・B・アイリング管長  
「主の力を受けて」「リアホナ」2004年5月号, 17 参照



## キリストの言葉をよく味わう

「『よく味わう』とは、単に味をみるのではなく、味を楽しむことを表します。そのためには、楽しく発見して誠実に従う精神をもって聖文を研究することです。キリストの言葉をよく味わうとき、それらは……わたしたちの人格に必要な部分になるのです。」

十二使徒定員会 ラッセル・M・ネルソン会長  
「聖文の導きに従って生活する」  
「リアホナ」2001年1月号, 21



## 完全な希望の輝き

「かすかな希望は気分やいろいろな出来事で吹き消されそうになりますが、『完全な希望の輝き』はその人を照らします。彼らの輝きは外見からも分かり、物事もその輝きに照らし出されます。……真っ暗な闇の中では、外からの光がまったくない場合もありますが、そのようなときでも内なる光だけは導きと確信を与えてくれます。」

十二使徒定員会  
ニール・A・マックスウェル長老 (1926 - 2004 年)  
「完全な希望の光」「聖徒の道」1995年1月号, 40 参照

## あなたがたは永遠の命を受ける

御父は、わたしたちはある事柄を行うならば、イエス・キリストの贖罪を通して永遠の命を受ける、すなわち御父のようになる、と約束されました。以下の聖句には、行うべき事柄の幾つかが述べられています。

- ・ ヨハネ 3 : 15 ; 6 : 54
- ・ モロナイ 7 : 47
- ・ 教義と聖約 5 : 22 ; 101 : 38 ; 133 : 62
- ・ モーセ 6 : 59

## 神とすべての人を愛して

「神とすべての人を愛して」には、二つの大切な戒めが含まれています (マタイ 22 : 37 - 40 参照)。このような愛を表すもう一つの言葉は、慈愛、すなわちキリストの純粋な愛でしょう (モロナイ 7 : 47 参照)。

20したがって、あなたがたはこれからもキリストを  
確固として信じ、完全な希望の輝きを持ち、神とす  
べての人を愛して力強く進まなければならない。そ  
して、キリストの言葉をよく味わいながら力強く進  
み、最後まで堪え忍ぶならば、見よ、御父は、「あな  
たがたは永遠の命を受ける」と言われる。

## 力強く進む

永遠の命に至る道を力強く進みながら何を行う必要があるでしょうか。命の木についてのリーハイの示現の中で、人々が行ったことを読んでみましょう (1ニーファイ 8 : 30 参照)。聖典には他にどのような例がありますか。

## キリストを確固として信じる

確固とは、しっかりして揺るがないことです。「キリストを確固として信じる」とは、主に対する揺るぎない信仰を抱き、主の戒めを守ることです。それには、儀式を受けることと、聖約を交わしてそれを守ること含まれます。



キリストを確固として信じ、

# 力強く進む

2 ニーファイ 31:20

# 天の御父について学ぶ — 壮大なスケールの研究

あ

あなたは天の御父に祈っています。でも、神がどのような御方が考えたことがありますか。この間なくした鍵を見つめるよう助けてくださったのは一体なぜなのでしょう。御父はどれほどよくあなたのことを知っておられるのでしょうか。また、どのようなにして、あなたと連絡を取られるのでしょうか。

幸いなことに、神について学ぶのに遅すぎるといえることはありません。今こそ、壮大なスケールの聖文研究を始めるチャンスです。そうすれば、数え切れないほどの霊の子を持つておられる万物の神が、どうしてあなたのことを考えておられるのかはつきりと分かるようになります。

しかし、何であれ、壮大なことを始めるのは簡単ではありません。ですから、まず以下のフローチャートから始めましょう。

毎日チャートから質問を一つ選んでください。順番に従って質問の答えを見つげながら、自分と天の御父との関係について考えるようにしましょう。あなたの人生における御父の役割について考え、御父にさらに近づいためにどんなことができるか考えてください。 ■



日曜日のレッスン

今月のテーマ —  
神 会

神は一体、  
どのような御方なのでしょうか

マタイ 7:9-11  
1ヨハネ 1:5  
エペソ 3:12



神との意義深い時間

「神との関係を強めるには、神と自分だけの意義深い時間を持つ必要があります。日々の個人の祈りや聖文研究に静かに集中し、常に神殿推薦状を持つのにふさわしくあると努力します。天の御父に近づくために、このように時間と努力をささげるとは賢明な投資です。詩篇に記されている勧めに聞き従いましょう。「静まって、わたしこそ神であることを知れ。」(詩篇 46:10)」

大管長会第二顧問 ディーター・F・ワークトドルフ管長  
「最も大切な事柄について」  
「リアホナ」2010年11月号, 21

どの言葉が印象に残りましたか。何度も出て来る言葉がありましたか。そのような言葉を辞書や「聖句ガイド」で調べてみましょう。

天の御父とイエス・キリストは  
どのような点が同じで、  
どのような点が異なって  
おられるのでしょうか。

ヨハネ  
3:16, 35

ヨハネ  
17:20-23

モルモン  
7:5-7

学んだことをテーマにした、家庭のタペのレッ  
スンを準備しましょう。

天の御父を知るには  
どうすればよいでしょうか。

ヨハネ 14:6-9  
1ヨハネ 4:7  
アルマ 30:44  
教義と聖約 132:22-24

聖句で重要な言葉を見つけたら、LDS.orgで  
検索してみましょう。lds.org/media-library  
で、テーマに関するビデオを見てください。

地上には数十億人が住んでいます。  
天の御父がわたしのことを  
御存じだということなど、  
あり得るのでしょうか。

サムエル上  
16:7

ルカ 12:6-7

教義と聖約  
93:23

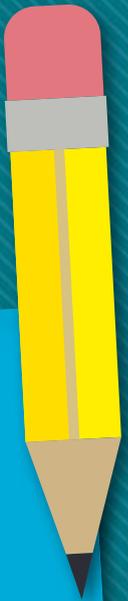
それぞれの聖句は、おもにどんなことを教え  
ていますか。短くまとめてみましょう。

わたしたちは祈りで天の御父と  
話すよう教えられています。  
でも、天の御父はどのようにして  
わたしに語りかけられるのでしょうか。

教義と聖約 1:38  
教義と聖約 8:2-3  
教義と聖約 9:8-9

あなたはどのようにして神と話しますか。こ  
のように学んできた結果、あなたはどんな点  
を変えようと思うようになりましたか。

天の御父やイエス・キリスト、聖霊について他に何か分らないことがありますか。あれば、それをメモし  
ておき、フローチャートの質問に全部答えた後の聖文研究に使いましょう。また、勉強していることにつ  
いてもっと知りたくなったら、『聖句ガイド』や『真理を守る』『わたしの福音を宣べ伝えなさい』などの  
資料がいつでも使えるということを、忘れないでください。



# モロナイと母と 人生の教え

モルモン書のこの教えのおかげで、  
靈的に決して独りではないと知りました。

ルイーザ・ホー

17歳になった年にはいろいろな変化がありました。進学し、セミナーも3年目を迎えようとしていました。それだけではありません。セミナーの教師も新しい人になったのです。わたしの母です。

ところで、生徒がわたし一人だけということは、言いましたか？これから通うことになる学校は、家から車で1時間かかる所にあったので、学校に間に合うよう、母が自宅で早朝セミナーを教えることにしたのです。毎日母に教えてもらえるのは幸運なことでしたが、同時に少し気の重いことでした。特に、朝5時半に全神経を集中させて母の話聞くのは楽ではありませんでした。

モルモン書の学習で、モロナイ書まで進みました。モロナイはわたしが尊

敬する預言者です。でも、いつも疑問に思っていたことがありました。なぜモロナイは独りだったかということです。

なぜ天の御父はモロナイと行動を共にする人を送られなかったのでしょうか。主がモロナイに、たった一人でモ



## 家庭——福音を学ぶ教室

一員になるのです。

永遠の家族と御霊<sup>みたま</sup>にあふれた家庭は、何もしないで自然にできるわけではありません。時間を掛けて熱心に努力し、家族の一人一人が自分の務めを果たす必要があります。家庭は皆同じではありませんが、真理を求める人が一人でもいる家庭は違いを生み出すことができます。」

中央初等協会会長会第一顧問 チェリル・A・エスプリン  
「家庭を光と真理で満たす」『リアホナ』2015年5月号、8参照



家庭で福音を学び、  
福音に従って生活するためのアイデア



**霊的な促しを記録しましょう。** 祈った後、聖文を読んだ後、あるいは家庭の夕べに参加した後などに、受けた印象を書き留めることは、霊的な感受性を高める助けになります。



**学んだことを分かち合いましょう。** セミナリーや教会で、また、聖文を研究していて学んだことや、毎日の生活の中で得た考えを分かち合うのもいいでしょう。自分の考えを伝えることで、他の人も強められます。



**家庭の夕べの準備をしましょう。** 例えば、両親に何か責任を割り当ててもらってもいいですし、次の家庭の夕べで話し合うために、ある総大会の話や聖文のある章を家族それぞれが読むよう提案したら、みんなが賛成してくれるかもしれません。



**毎日の生活で学びましょう。** 信仰を働かせなければならないのはどのような場面ですか。どのようなときに、聖約を守らなければなりませんか。皆さんの周りにあるものは、どのようにキリストを証していますか。

福音を学ぶことについて、  
聖文はどう教えていますか。

「あなたの心を悟りに向け〔る。〕」——<sup>しんげん</sup>箴言 2 : 2

「真理の<sup>みたま</sup>御霊が……あなたがたをあらゆる真理に導いてくれるであろう。」——ヨハネ 16 : 13

「神の戒めを守ることを若いうちに習慣としなさい。」——アルマ 37 : 35

「研究によって、また信仰によって学問を求めなさい。」——教義と聖約 88 : 118

ルモン書を書き上げるようにされたとき、なぜ彼は不平を言わなかったのでしょうか。

母は、正しい心と天の御父への信仰があったモロナイは、自分が独りではないことを知っていたと説明しました。モロナイには御父とイエス・キリストがついておられて、ルモン書を完成できるように助けてくださったのです。そのときわたしは、霊的に自分を見守ってくださる御方がおられたことを知っていたモロナイには、実際に誰かがそばにいる必要はなかったことを知りました。天の御父がそばを離れられることは決してないと彼は知っていたのです。

それはわたしに大きな影響を与えました。今は、どんなときに孤独を感じても、聖霊がともにいてくだ

さるので霊的に独りになることはないと思っています。聖霊が、天の御父とイエス・キリストをさらに近くに感じられるよう助けてくださるからです。主を信じ、信頼する限り、独りで歩むことはないと思っています。

その日の授業は、天の御父とイエス・キリストに対する信仰と証<sup>あかし</sup>に大きな影響を与えました。セミナリーを自宅で行うことを心配していましたが、今は、母との特別な学びの経験となったことに感謝しています。

■ 筆者はシンガポール在住です。

# わたしたちのスペース



## 若い女性メダルを受賞

**わ**たしは「若い女性表彰」を受けてとても幸せです。自分を清く汚れない状態に保ったのだから、堂々とメダルを首にかけられる、と言えることをわたしは誇らしく思います。「だれが賢い妻を見つけることができるか、彼女は宝石よりもすぐれて尊い。」(箴言 31:10)

「若い女性」はすばらしい組織です。この組織はわたしたち若い女性の成長を助け、わたしたちが聖なる神殿で結婚する備えができるように助

けてくれます。この組織があることを、天の御父に感謝しています。このメダルを獲得したことでわたしは自分の生活のために設定した目標の一つ達成したことになり、主の業の中で大いなる善を行い続けることができます。

キャサリン・モレーノ (ベネズエラ)

## 才能は世の中をさらに住みよい場所にする

**母**と姉に手伝ってもらい、わたしはこの、ステーク主権の扶助協会スポーツフェスティバルの旗の色づけを仕上げました。母が扶助協会の会長にわたしのことを推薦したため、会長からこの旗の作成の依頼が来たのです。わたしは依頼を引き受け、大ざっぱなデザインを描き始めました。家族と力を合わせて、「母親であることに気高さを、女性であることに喜びを見いだす」というテーマを表現する良い作品ができました。

才能を使って奉仕すると、人を幸せにするだけでなく自分の才能を伸ばすことにもなることを、わたしは知ってい

ます。主から与えられた賜物<sup>たまもの</sup>を使って主の王国を築く人を、主は祝福されます。タラントのたとえが教えているように、自分の賜物を他の人と分かち合わない人は、その賜物を失ってしまいます(マタイ 25:24-29 参照)。しかし、自分の才能を良いことに使うならば、世の中をさらに住みよい場所にする事ができます。

パネッサ・パミタン  
(フィリピン)



## 「神への務め」から学べること

**神**への務めを果たす」の活動に積極的に参加するためには心を込め、熱意と力を注ぎ、何よりも信仰をもって取り組まなければなりません。「神への務め」は、確かに靈感を受けたプログラムです。

「神への務め」にある霊的、物質的、身体的その他多くの目標を達成することによって、皆さんは若い男性として、これからの人生に活用できるすばらしいことを学ぶことができます。

これらの目標は、熱心に努力して達成する価値があると言えます。わたしは善い人になることを学びましたし、イエス・キリストの福音の証が強くなりました。それに、メルキゼデク神権を受けるための良い備えができました。このすばらしい大切な目標を達成したのですから、わたしは将来授かる子供たちに対して良い模範となることができますし、そう思うとうれしくなります。

ホナタン・アルグエーヨ（ベネズエラ）



## 伝道は期待以上でした

**若**い男性だった頃、わたしは専任宣教師になる日を楽しみにしていました。ついに伝道が始まり、そして分かったのは、宣教師の奉仕が期待していたようなものではないことでした。期待以上にすばらしかったです。思っていた以上に大変でしたが、主が望んでおられることを行うことで得られた達成感は、言い表せないほど大きなものでした。

人が教会に出席できるよう導く喜びを、わたしはそれまで経験したことがありませんでした。回復された福音を聞こうとして、「いいですよ、どうぞ

入ってください」と言ってもらえる喜びを、わたしはそれまで味わったことがありませんでした。悔い改めを教えるときに出る本当の力を、わたしはそれまで感じたことがありませんでした。わたしはそれまで、あれほど心を込めて祈ったことはありませんでした。聖文研究の1時間があれほど早く過ぎたことは、それまでありませんでした。自分の不完全さを自覚して涙を流したことは、それまでありませんでした。「長老たち、もう家に来ないでくれ」という言葉に打ちのめされるのを、わたしはそれまで経験したこ

とがありませんでした。親指ほどの大きさの豆が足にできたことは、それまでありませんでした。自分があれほど守られていると感じたことは、それまで一度もありませんでした。胸に「イエス・キリスト」という名前をつけているために自分の行動にあれほど責任を感じたことは、それまで一度もありませんでした。

専任宣教師として奉仕している間ほど、天の御父に近くいられたことは、それまでに一度もなかったのです。

ナウエル・カブラネス（ペルー）



十二使徒定員会  
ニール・L・  
アンダーセン長老

## 力強く進む方法

**力**強く進むという言葉は、単に前に進むことだけを意味しているのではありません。力強くという言葉には、前に進むことを阻むものがある、それを打ち破って行かなければならないという意味が隠れているのです。この人生で前に進むためには、**誘惑を脇に押し**のけ、**障害を打ち破り**、**疑いや恐れを踏み越え**、**信仰と希望と愛**という神聖な特質を身につけなければなりません。

力強く進むには、どうすればよいのでしょうか。「したがって、あなたがたはこれからもキリストを確固として信じ、完全な希望の輝きを持ち、神とすべての人を愛して力強く進まなければならない。」(2 ニーフай 31:20)

キリストを確固として信じ、力強く進むとは、**主を信じる信仰を持つこと**です。それは、**主を自分の思いと行動の中心と**することを意味します。あなたが従うものが主なのであれば、力強く進むことは、究極の冒険となります。

力強く進むというのは、世の「誘惑と煩い」を**押し**のけて、**厳密に戒めを守る**という意味です。「もしあなたがたがわたしを愛するならば、わたしのいましめを守るべきである。」(ヨハネ 14:15)

ニーフайはこれに加えて、キリストを確固として信じるなら、わたしたちは完全な希望の輝きを持ち、神と全ての人を愛することができると言っています。希望がわたしたちに明るくほほえみ、わたしたちは困難なときも、平安を見いだすことができます。弟子となることによって、地上で果たすべき自分の真の目的が見えてきます。その目的の中心には、**自分の家族や愛する人々、そして周りにいる人々を助ける**ことがあります。これには、**神の王国を建設**することも含まれます。その建設に携わるとき、わたしたちは、なるべき人物になるのです。

ニーフайは、**キリストの言葉をよく味わいながら**力強く進まなければならないとわたしたちに教えています。そして、**聖霊の賜物**があれば、わたしたちは天使の言葉で語る(そして理解する)ことができると教えています(2 ニーフай 32:2-5 参照)。わたしはこの声を知っています。これは、わたしたちが常に聞くことのできるように備えていなければならない声です。

義になかった方法で力強く進むとき、イエス・キリストは「あなたがたを導いて行」ってください(教義と聖約 78:18)。そしてあなたは、主が確かにおられ、あなたを愛しておられることをより一層確かに知ることができるようになります。あなたが信仰をもって力強く進むとき、**聖霊はあなたがなすべきことを示して**くださいます(2 ニーフай 32:5 参照)。■

この話は、2013年12月14日のブリガム・ヤング大学ハワイ校での説教を基に書かれました。



### 自分にどのように 当てはめましたか

わたしの大好きな聖句は、マルコによる福音書第4章39節です。救い主の言われた「静まれ、黙れ」という言葉が好きなのです。弟子たちが嵐を恐れて我を忘れたように、わたしは悲しみに我を忘れ、そこから抜け出す希望を失っていました。それは誰にでも起こり得ることです。でも、わたしは、救い主はそのような簡単な言葉を言うだけで荒れ狂う嵐を静めることができなることを知りました。荒れ狂う嵐を静めることが主におできになるなら、主を信頼すれば、日常生活の嵐も静めていただけということが分かって、気持ちが楽になりました。

アネカ・W, 18歳  
(アメリカ合衆国, ユタ州)

## そこが知りたい

友人は、  
教会のことで  
からかわれたために  
教会から  
離れてしまいました。  
どうすればよいでしょうか。

そ—のような状況でできる最善のことは  
—(1) その友人に思いやりと愛を示し、その友人を受け入れること、そして  
(2) 自分の証<sup>あかし</sup>が決して揺るがないようにすることです。

これらのことを行うならば、友人はおそらく、あなたに愛され受け入れられていると感じ、あなたのそばにいたいと思うようになるでしょう。また、からかいや嘲<sup>あざけ</sup>りは卑劣な行為であり、そのように人の信仰を攻撃する人には関心を寄せる価値も友情を築く価値もないということに気づいてもらえれば幸いです。

その友人にとって、あなたの模範は何にも代えがたいものの一つになり得ます。リーハイの夢の中には、命の木の実を味わった後に大きく広々とした建物にいる人々に嘲り笑われながらも「彼らのことを気に留めなかった」人々が出て来ます。その人々のようであってください(1ニーファイ8:33)。自分の信条を確固として変えず、人に嘲られても、堂々として、相手に敬意を払いながらユーモアたっぷりに対応するあなたの姿を目にすれば、その友人は、自分にも同じことができると思うようになるかもしれません。その友人の心に証の種がまだ残っているならば、あなたの模範と証<sup>みたま</sup>によって、彼は御霊を感じるようになるかもしれませんし、かつて知っていたことを思い出すかもしれません。■



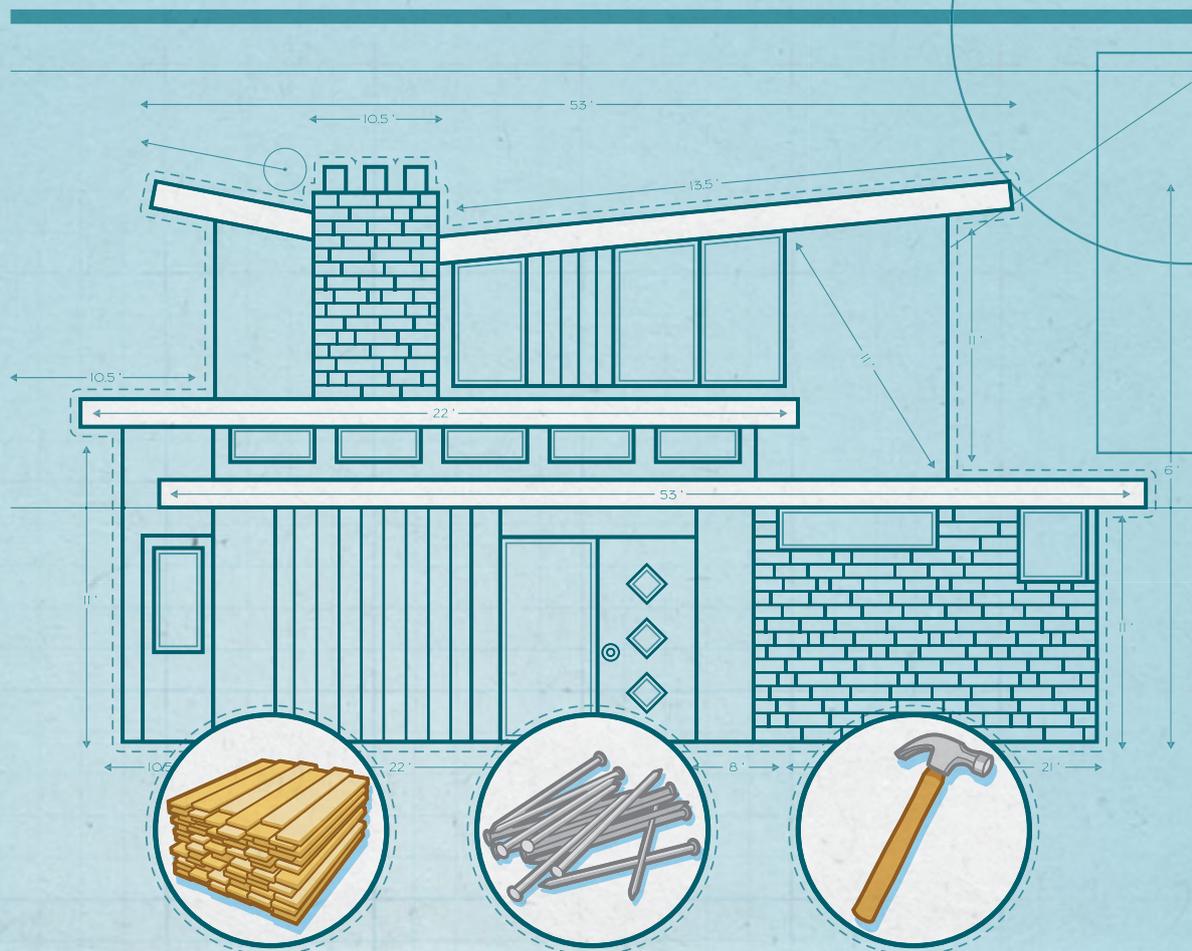
ギャンブルに対して教会は  
どのような立場を取っていますか。

**教**会は、富くじ(宝くじなど)を含むあらゆる形のギャンブルに反対しています。『手引き 第2部——教会の管理運営』〔2010年〕21.1.19参照) そのようなものに時間とお金を浪費しないよう勧められている理由は簡単です。「ギャンブルは誤った行為で[す。]……ギャンブルには常習性があり、最終的には、機会を失ったり、生活を台なしにしたり、家庭が崩壊したりすることもあります。何の努力もなしに何かを得られると信じるのは間違っています。」(『若人の強さのために』〔小冊子〕, 40 - 41) ■

# 神を設計者とする

皆さんが想像しているよりもはるかに  
すばらしい人生を歩むことができます。

教会機関誌  
デビッド・ディクソン



人生では、その場の試行錯誤によって多くのことを成し遂げることができます。百万もの部品を使って家具を組み立てるときに説明書に頼らずに仕上げたり、一番良く聞こえる音を出そうと楽器を適当に弾くことによって演奏方法を身につけたりするなど、試行錯誤によって学べることは無数にあります。ただし一つ言えることは、通常、そのような方法はあまり簡単ではないということです。

非常に複雑な作業を思い浮かべてください。もし自分の家を建てることを任せられ、全ての建材を目の前に置かれたらどうでしょうか。巨大な山のように積まれた建材を想像することができますか。板、釘、パイプ、針金、工具など、あなたと家族が住む立派な家を建てるために必要なものが全てそろっています。

これまでのように、試行錯誤しながら家を建てたいと思いませんか。それとも、建材を最大限に活用する方法をきちんと知っている人に助けてもらいたいですか。

人生の旅路も同じです。全ての人は人生を組み立てるうえで助けが必要です。そして、神以上に信頼できる設計者はおられません。



に昇進する道を歩んでいました。10年もの間ずっと、昇進に備えて努力し、その日が来ることを望み、祈っていました。

ところが、大将の席が空いたとき、教会員であるという理由だけで選考から外されてしまいました。文字どおり、理由はそれだけであったと上官たちは言いました。

それを聞いて、ブラウン管長は激怒しました。彼はこのように語っています。「汽車に乗り、……引き返しました。わたしの心はひどく傷つき、苦々しさばかりが残っていました。……テントに着いたわたしは、……帽子を簡易ベッドの上に投げ捨てました。拳を天に向かって振り上げ、叫びました。『神よ、あなたはどのようにこのようなことをなさるのですか。あれほど努力してきたではありませんか。できるはずだったこと、すべきはずだったことを怠ったことなど一度もありません。それなのに、どうしてこのようなことをなさるのですか。』苦々しさで胸が張り裂けそうでした。』<sup>3</sup>

そんなとき、ブラウン会長は何年か前の経験を思い出しました。以前、手入れされていない農場を買ったことがありました。そこには枝が伸びすぎたスグリの木が生えていて、剪定しなければ、いつまでも実はず、枝がどんどん上へ伸びていくばかりでした。

そこで、ブラウン管長はその木を大胆に刈り込みました。後で見ると、一つ一つの枝の先に樹液が滴となってにじみ出ている、涙のように見えました。ブラウン管長はスグリの木に向かって「わたしはこの庭師だ」と言いました。ブラウン管長はその木に将来どのようにしてほしいか知っていました。それは、ただの日よけの木になることではありませんでした。

そして、昇進させてもらえなかったことへの怒りと葛藤しているときに、この経験を思い出しました。「そのときわたしは声を聞きました。その声が誰の声かはすぐに分かりました。それはわたし自身の声でした。『わたしはこの庭師だ。わたしはおまえにどのような木になってほしいか知っている。』心の中からあの苦々しさが消えていきました。わたしはベッドの脇にひざまずき、心に抱いた不満と不敬の念について赦しを請い求めました。……

……あれから約50年の歳月が過ぎました。今、わたしは〔神を〕仰いでこのように言うことができます。『わたしの庭師であられる神よ、本当にありがとうございます。あなたはわたしを愛したからこそ、わたしが傷ついても、枝を刈り込



「わたしはこの庭師だ。わたしはおまえにどのような木になってほしいか知っている。」

んでくださったのですね。』<sup>4</sup>

ブラウン管長が大将になることはありませんでした。主はブラウン管長のために、別のことを計画しておられました。主が設計者となられたことで、ブラウン管長は最高の人生を築くことができました。

#### 一から建て直す

神の預言者から「地獄の子」と呼ばれたら、おそらくその人の人生は正しい方向に向かっているとは思えません。モルモン書に登場する律法学者のゼズロムの経験はまさにそのとおりでした。(アルマ11:23 参照)

アルマとアミュレクが教えを説いていた地で、ゼズロムは民の怒りをあおってアルマとアミュレクに反対させ、律法学者として金銭を得ようとしていました。ゼズロムは質問をしてアルマとアミュレクを惑わそうとしましたが、二人は正しく答えて、彼をとがめました。ゼズロムの考えは、御霊によって二人に明らかにされました。(アルマ11-12章参照)

二人と問答を続けた結果、ゼズロムは驚きのあまり何も言えなくなりました。彼は自分の間違いに気づき始め、自分

が犯した罪や、民を間違った方向に導いたことに対して深い自責の念を覚えました。すぐに自分の悪事を正そうとして、「見よ、わたしには罪がある。この方々は神の御前に染みがない」と言いました（アルマ 14：7）。

しかし、無駄でした。民はゼズロムを町から追い出しました。自分の言動に対する罪悪感と絶望は非常に大きいものでした。自分がアルマとアミュレクに反対するように民を説得したせいでアルマとアミュレクが命を落としたのではないか、という間違った恐れから、ゼズロムは「高熱を出して」病床に伏していました（アルマ 15：3）。

彼がそれまで築いてきた人生が音を立てて崩れたのでした。しかし、ゼズロムの話はここで終わりません。

アルマとアミュレクが生きていることを知ると、彼は心を奮い立たせ、自分のところへ来てほしいと二人に頼みました。二人がやって来たとき、ゼズロムは癒やしてほしいと言いました。すると、彼の信仰を通して完全に癒やされました。その後、彼はバプテスマを受け、そのとき以来、教えを説き始めました（アルマ 15：11 - 12 参照）。

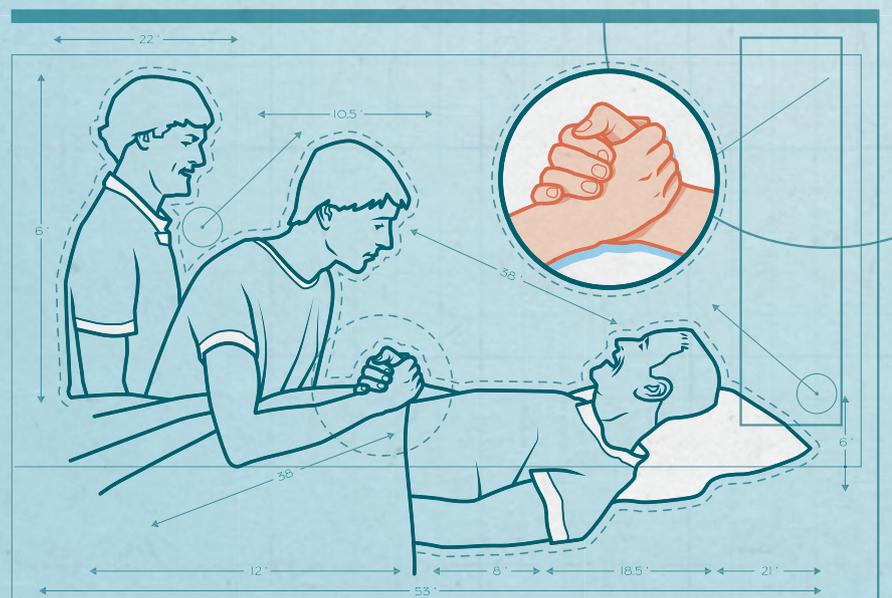
神を設計者としたゼズロムの新たな人生が始まったのでした。

### 金づちと釘の向こうに

うれしいことに、わたしたちは一人で人生の旅路を歩むわけではありません。神はいつでもわたしたちを助けたいと望んでおられます。そして、神の助けを得るなら、わたしたちは何者にもなることができます。■

#### 注

1. ビデオシリーズ "His Grace" mormonchannel.org
2. "From Gang Member to 'Good Man'" (ビデオ) mormonchannel.org
3. ヒュー・B・ブラウン「スグリの木」『リアホナ』2002年3月号、24 参照
4. ヒュー・B・ブラウン「スグリの木」『リアホナ』2002年3月号、22、24 参照
5. ニール・A・マックスウェル、「召しに応じて」『聖徒の道』1974年11月号、525 参照



### 一時的なもの、永遠のもの

この世の人生では、選択の自由を使う機会がたくさんあります。全てのソーシャルネットワーク、人気を集めること、友達関係は人生で重要なものに思えますが、最終的に大事なものは神の王国です。ニール・A・マックスウェル長老（1926 - 2004年）が総大会で述べた、わたしの好きな言葉があります。「もしあなたが神の王国を第一に選んでいなければ、何を選んでいても最終的には同じなのです。」<sup>5</sup>

時々、わたしたちはこの世の生活に集中するあまり、一番大切なことは何かを忘れてしまいます。わたしたちの目から幕を取ることができれば、物の見方は一変するでしょう。もっと謙遜になり、主に重きを置くようになり、人にあまり左右されることがなくなります。

わたしなら、きっと義にかなった人となり、神に従いたいと思うでしょう。主の偉大な王国に入れるよう、永遠の見地から物事を見られるようになりたいです。これは、世の全ての富や権力を手にすることよりも良いことです。永遠の世に比べれば、わたしたちのこの世の生活はほんの短い間です。わたしたちが受ける栄光は、永遠に続く栄光です。

イザベル・A、19歳（メキシコ）

# エチオピアで しっかりと立つ

エイミー・ジェーン・レビット

このお話を書いた人はアメリカ合衆国  
ユタ州に住んでいます。

わたしの名前は  
**ツシヨン**です。

わたしは東アフリカの国、エチオピアに住んでいます。

わたしはサッカーと読書が好きです。

大きくなったら、医者になりたいと思っています。

わたしは、毎日福音をじっせんして、友達と福音を  
分かち合いながら、しっかりと生活しようとしています。

どのように、  
あかしを得たか

わたしは8才のときに初めて  
教会に来ました。モルモン  
書を読んで、宣教師  
のお話を聞いて、いの  
りました。みたまが、  
この教会は真実だと  
教えてくれたので、わ  
たしはバプテスマを受  
けたいと思いました。  
福音はわたしを幸せに  
してくれます。



### しっかりと立つための、 ツシヨンからの提案

- 自分<sup>じぶん</sup>のあかし<sup>あかし</sup>を得る。聖文<sup>せいぶん</sup>を読み、いのる。
- あかし<sup>あかし</sup>を伝え、友達<sup>ともだち</sup>に良いものはんをしめす。
- 毎週日曜日<sup>まいしゅうにちようび</sup>に教会<sup>きょうかい</sup>に行き、福音<sup>ふくいん</sup>の標準<sup>ひょうじゆん</sup>を守って生活<sup>せいかつ</sup>する。

### 家族<sup>かぞく</sup>を助ける

わたしの家族<sup>かぞく</sup>はふだん<sup>ふだん</sup>教会<sup>きょうかい</sup>に歩いて行きます。だいたい1時間<sup>じかん</sup>かかります。おとうと<sup>おとうと</sup>がつかれたときは、お兄ちゃん<sup>おにいちゃん</sup>かわたしがおんぶ<sup>おんぶ</sup>してあげます。家<sup>いえ</sup>では、お皿<sup>おしら</sup>をあらったり、そうじ<sup>そうじ</sup>をしたりして手伝<sup>てつだ</sup>います。



### わたしの教会<sup>きょうかい</sup>のめし

わたしが教会<sup>きょうかい</sup>で一番<sup>いちばん</sup>好き<sup>す</sup>きなのは、せいさん<sup>せいさん</sup>会<sup>かい</sup>です。わたしは指揮<sup>しき</sup>をします。

わたしは福音<sup>ふくいん</sup>について学ぶ<sup>まなぶ</sup>のが好き<sup>す</sup>きです。わたしの好きな聖文<sup>せいぶん</sup>の物語<sup>ものがたり</sup>は、「ダビデとゴリアテ」です。わたしの好きな歌<sup>うた</sup>は「モルモン書<sup>しよ</sup>の物語<sup>ものがたり</sup>」です。

### 自分<sup>じぶん</sup>が知っていること<sup>こと</sup>を分かちあう

わたしは学校<sup>がっこう</sup>の友達<sup>ともだち</sup>に、回復<sup>かいふく</sup>された福音<sup>ふくいん</sup>について話<sup>はな</sup>します。友達<sup>ともだち</sup>の一人<sup>ひとり</sup>が、教会<sup>きょうかい</sup>についてよく質問<sup>しつもん</sup>していたのに、急に<sup>急に</sup>なくなりました。その理由<sup>りゆうゆ</sup>を聞いてみると、両親<sup>りやうしん</sup>がよく恐<sup>おそ</sup>っていないからだと言<sup>い</sup>いました。いつか友達<sup>ともだち</sup>の両親<sup>りやうしん</sup>が考<sup>かんが</sup>えを変<sup>か</sup>えてくれたらいいなと思います。

### 体験談<sup>たいけんだん</sup>をおよせください

しっかりと立つ<sup>たつ</sup>ことによって、あなたはどのようにイエスにしたがっていますか。両親<sup>りやうしん</sup>のきよか書<sup>しょ</sup>といっしょに、あなたの経験談<sup>けいけんだん</sup>と写真<sup>しやしん</sup>をおくってください。インターネットでは [liahona.lds.org](http://liahona.lds.org) (「投稿<sup>とうこう</sup>する」をクリックします) まで、あるいは、[liahona@ldschurch.org](mailto:liahona@ldschurch.org) へ、電子メール<sup>でんしめい</sup>を送<sup>おく</sup>ってください。

### わたしにとって、「しっかりと立つ<sup>たつ</sup>」ということの意味

「しっかりと立つ<sup>たつ</sup>」ということは、毎日福音<sup>まいにちふくいん</sup>にしたがって生活<sup>せいかつ</sup>するという意味<sup>いみ</sup>です。天<sup>あま</sup>のお父様<sup>ちちさま</sup>とイエス様<sup>イエスさま</sup>はわたしに、お二人<sup>おふたり</sup>のことをあかししてほしいと思<sup>おも</sup>っておられます。わたしは世界中<sup>せかいじゅう</sup>の友達<sup>ともだち</sup>みんなに、自分<sup>じぶん</sup>の友達<sup>ともだち</sup>と回復<sup>かいふく</sup>された福音<sup>ふくいん</sup>を分かちあってほしいです。



ま い に ち  
毎日  
もつと  
よく  
よ  
読む

マリッサ・ウィディソン、  
ソニア・クエナラータ  
ほんとうにあったお話をもとに書かれました。

ジ ヨセフは本のページをめ  
くると、しかめつらをしま  
した。あと2ページあります。

「大丈夫？」お母さんが聞き  
ました。

「ほく、本が好きなんだ。でも、読むのがすごくおそいんだよね」とジョセフは答えました。「もっとすらすら読めるようになるにはどうすればいいのかな。」

「いい考えがあるわ」とお母さん。「毎日モルモン書を1章ずつ読んだらどうかしら。そうすれば、もっとすらすら読めるようになるわ。」

ジョセフはやってみました。最初は長い時間がかかりました。長い言葉は声に出してみなければなりませんでした。それでも、毎日読み続けました。やがて、1章よりもたくさん読めるようになりました。

2週間がすぎました。ジョセフがはさんだしおりは、ニーファイ第一書からニーファイ第二書

2016年





イラスト/ケーティー・マクティー

にうつりました。それから、ヤコブ書に入りました。

あるばん、家庭の夕べでジョセフがレッスンをすることになりました。

「どうしたらいいか、ぼく分かるよ。」ジョセフは思いました。ジョセフは『モルモン書ものがたり』の本を見つけました。それには文章と絵がのっていました。ジョセフはページをめくって、レッスンにぴったりな物語を見つけました。

ジョセフはその物語を家族に読んで聞かせました。「船」のように、短い言葉も読みましたし、「めいじられた」のように、長い言葉も読みました。預言者は、これらの言葉をはるか昔に書きました。どの言葉も簡単に読めました。

物語を読み終えたとき、お母さんは目になみだをためていました。

「大丈夫、お母さん？」ジョセフが聞きました。

「ええ」と、お母さんが答えました。「お母さんね、うれしいのよ。あなたが、一生けんめいがんばったから。」

ジョセフはにっこりしました。

「お母さんに言われたように、毎日読んでいるよ。」ジョセフは自分のモルモン書をお母さんに見せました。しおりは、アルマ書まで行っていました。

いつか、ジョセフのしおりは本の最後まで行くでしょう。そうしたら、また最初から始めることができるのです。■

このお話を書いた人はアメリカ合衆国ユタ州とボリビアに住んでいます。



十二使徒定員会  
ロバート・D・  
ヘイルズ長老

# どうすれば自分のあかしを 持つことができるでしょうか



天のお父様とイエスについて学ぶとき、あなたのあかしは強くなります。



聖文を読むことによって、学ぶことができます。



両親や先生の教えやあかしから学ぶことができます。

わたしも  
少年のとき、  
そうやって  
自分で  
知ることが  
できました。



正しいことをするとき、  
せいいがあなたを  
助けてくださるでしょう。



七十人  
黄(サム)志康長老

# ウィルフォードの だんじき献金



わたしはある日、長男のウィルフォードがじゅうぶんの一のお金を用意しているのを見ました。当時、おそらくかれは5才くらいだったと思います。ウィルフォードは働いてお金をもらってはいないので、わたしは、なぜかれが、じゅうぶんの一をおさめようとしているのだろうと不思議に思いました。かれに聞いてみると、だんじき献金をはらおうとしているとのことでした。

ウィルフォードは自分のお金はあまり持っていませんでした。それでも、だんじき献金をはらうのがうれしくて

しかたありませんでした。

わたしはかれの親切な行いに感謝し、どうしてそうしようと思ったかを聞いてみました。

ウィルフォードは、「だってぼくはぜんぜんこまっていないけど、こまっている人がいるって知ってるから」と答えました。ウィルフォードは自分のお金が人々の助けになるのを知っていたのです。そして、そのことをとてもうれしく思っていました。

この簡単な経験から、わたしはとても良いことを学びました。子供たちは、本当にみたまと一致して、キ

リストのような愛を自然に持っていることがわかりました。ウィルフォードは自分には必要ないものが、他の人の助けになるのを知っていました。かれは喜んでそれを差し出そうとしていました。

お金をためるのはよいことです。でも、おさないむすこは、もはんによってもう一つの大切なことを教えてくれました。みたまに聞きしたがうことによって、持っているものを分け合い、人々の生活を祝福することができるのです。■

# モルモン書は イエス・キリスト について教える

モルモン書を読み進める中で、たくさんのぼうけんができます。リーハイやサライアの家族とあれ野を旅して、ニーファイが船を作るのを見ることができますし、リーハイやニーファイ、アビナダイ、サムエル、モルモンといった、たくさんの預言者にも会えるでしょう。モルモン書のすべての預言者は、イエスについて教えました。中にはイエスに会った預言者もあります。実は、だからこそ、天のお父様はわたしたちにこの特別な本をあたえてくださったのです。あらゆる所にいるすべての人がイエスについて学べるように助けるために。■

## 計画を立てましょう

今年、モルモン書を読む計画を立てましょう。今月のモルモン書のヒーローカードと、74-75ページの読書チャレンジを見てください。

インターネットで [www.lds.org/children/videos/scripture-stories?lang=jpn](http://www.lds.org/children/videos/scripture-stories?lang=jpn) (「聖文の物語」) の中の、第1章「モルモン書のしゅつげん」を見てください。「モルモン書」をクリックしてください。





リーハイ

順番に、次の節を読みましょう。モルモン書の預言者と合うせいくの番号を書きましょう。答えはページの下にあります。



モロナイ

1. エテル12:39, 41
2. 1ニーファイ1:5, 9
3. 1ニーファイ11:26-27
4. モーサヤ16:8-9
5. アルマ6:8
6. モロナイ9:22



アビナダイ



ニーファイ



アルマ



モルモン

それについて書いてください。  
モルモン書の中で、イエス・キリストはどのようにわたしたちへの愛をしめしてくださったでしょうか。

答え 1. モロナイ 2. リーハイ 3. ニーファイ 4. アビナダイ 5. アルマ 6. モルモン

# ニーファイは従順でした

ニーファイは、むずかしい、おそろしいことを、たくさんしなければなりません。家を出て、悪い人から真ちゅうのはんを手に入れて、あれ野で家族が生き残れるように助けなければなりません。でも、ニーファイは神を信頼し、神にしたがう勇気をもらいました。今月、あなたはどのようにニーファイのもはんにしたがるでしょうか。



わたしは、お母さんと一緒にモルモン書を読み始めました。ニーファイについて読んだとき、ニーファイはいつも神様にしたかったので、それによって祝福を受けたことがわかりました。それは正しい方法だと感じるし、わたしもニーファイのようになりたいと思います。だから、お母さんから「ごみを出してきて」と言われたら、「分かったわ、お母さん」と答えるようにしています。

ハイジ・M, 10才 (韓国・靈岩郡)



エリー・B, 8才 (アメリカ合衆国ユタ州)

切って、折って、このチャレンジカードを持ち歩きましょう。



わたしは 従順に なれます。

- 1 ニーファイ 3:7 を覚える。
- 両親から何かするようにたのまれたとき、ニーファイのように従順になる。
- [www.lds.org/children/videos/scripture-stories?lang=jpn](http://www.lds.org/children/videos/scripture-stories?lang=jpn) でモルモン書物語のビデオの2章から9章を見る。
- わたしは \_\_\_\_\_ にチャレンジします。

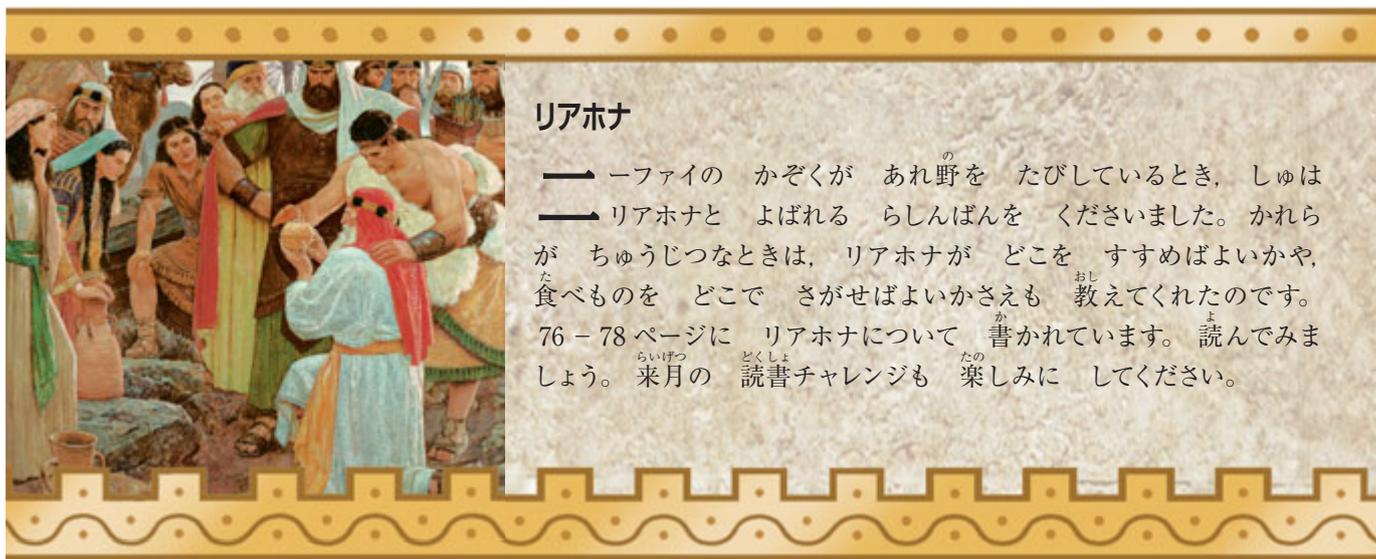
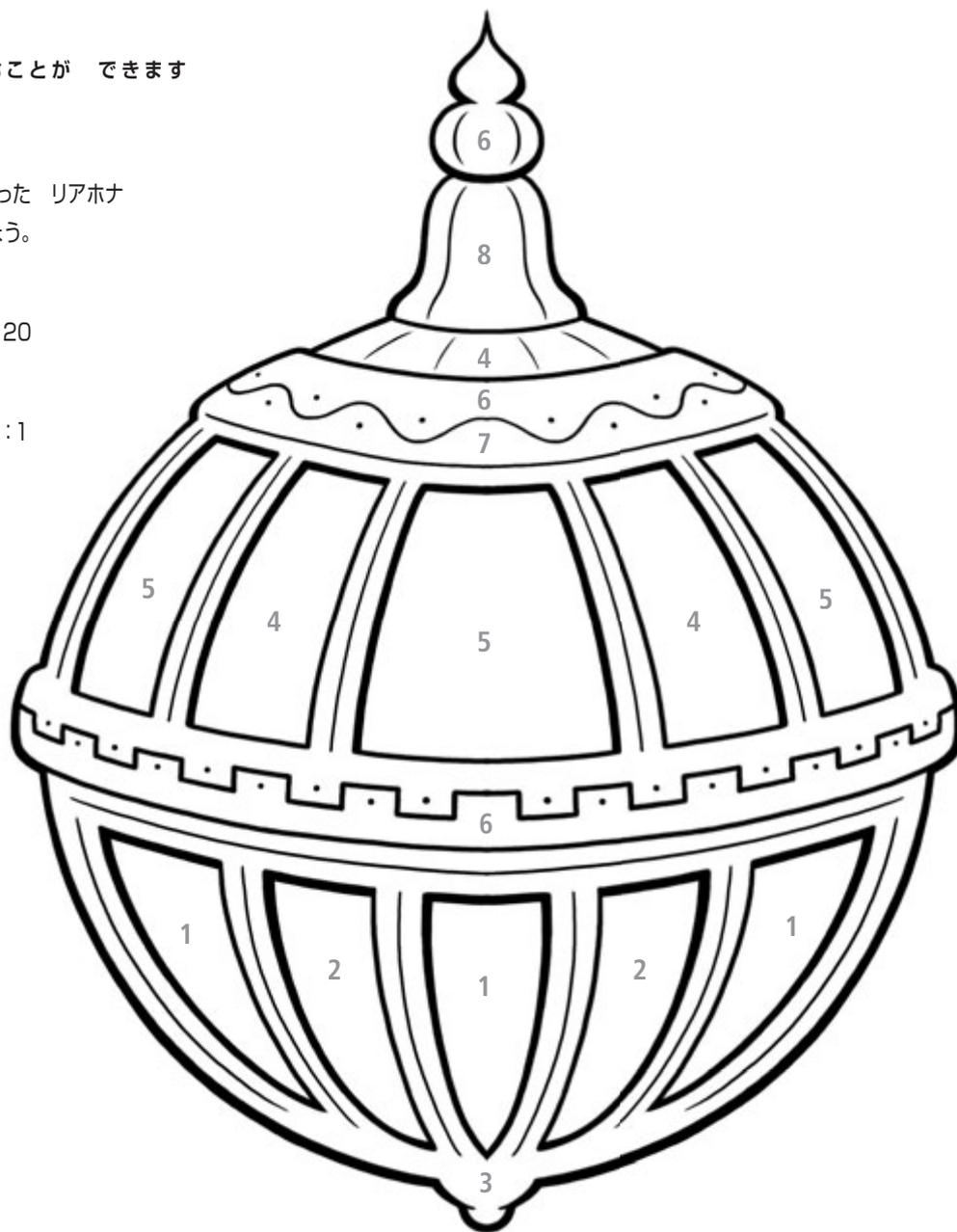
ニーファイ

わたしは モルモン書を 読むことが できます

こんげつ  
今月の せいぐ

せいぐを 読んだら、それに 合った リアホナの ばんごうに 色を めりましょう。

- 1 1ニーファイ1:1-10
- 2 1ニーファイ2:1-7, 16-20
- 3 1ニーファイ3:1-9
- 4 1ニーファイ3:22-31, 4:1
- 5 1ニーファイ4:4-35
- 6 1ニーファイ8:2, 5-18
- 7 1ニーファイ8:19-33
- 8 1ニーファイ16:9-16



リアホナ

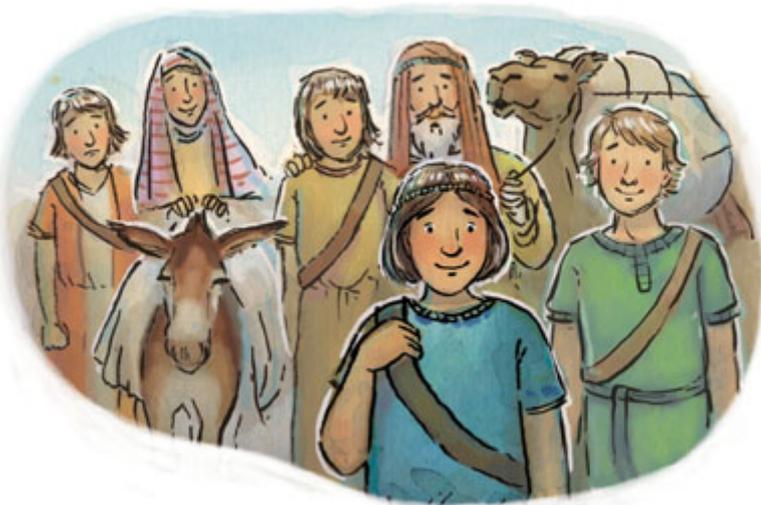
——ファイの かぞくが あれ野を たびしているとき、しゅは  
 ——リアホナと よばれる らしんばんを くださいました。かれら  
 が ちゅうじつなときは、リアホナが どこを すすめばよいかや、  
 食べものを どこで さがせばよいかさえも 教えてくれたのです。  
 76-78 ページに リアホナについて 書かれています。読んでみま  
 しょう。来月の 読書チャレンジも 楽しみに してください。

イラスト: エドワード・コッポルトの「リアホナ」の一部

# の あれ野の たび



ニーファイと かぞくは エルサレムに  
すんでいました。お父さんの リーハイは、  
よげんしゃでした。お母さんは、サライア  
と いました。兄弟の名前は、レー  
マン、レムエル、サムと いました。



ニーファイのお父さんは、いのりまし  
た。天のお父さまはリーハイに、  
かぞくが あんぜんに いられるように  
エルサレムの町を出るように 言わ  
れました。家を出るのはたいへん  
でした。でも、ニーファイのかぞくは  
したがいました。



ニーファイのかぞくはあれ野に出でて行きました。そのとき、天のお父さまはニーファイと兄弟たちに、エルサレムの町にもどって、せいぶんをとって来るようにおっしゃいました。それはむずかしいことでした。兄弟たちは、したがいたくないとおもいましたが、ニーファイはよいもはんになりました。ニーファイは、天のお父さまから言われたことを行いおこないますと言いました。



天のお父さまは、ニーファイのかぞくにとくべつならしんばんをくださいました。それは、リアホナとよばれました。ニーファイのかぞくが天のお父さまにしたがったとき、リアホナはあれ野ですすむべき道をしめしてくれました。かぞくのために食べものをさがすためにどこに行けばよいかもニーファイにしめしてくれました。



わたしたちも、いましめに したがひ、天<sup>てん</sup>のお父<sup>とう</sup>さまに したがうとき、  
ニーファイのように なることが できます。■





十二使徒定員会  
ジェームズ・E  
タルメージ長老  
(1862 - 1933 年)

## 夜行特急の たとえ

わたしは、  
すすと油にまみれた機関士の言葉を、  
深く思い巡らしました。

**大**学時代、わたしは地質学の規定コースの一環として、実地調査の割り当てを受けました。……

ある割り当てを受けたとき、現地に何日間も滞在しなければならなかったことがありました。……調査期間も終わりに近づいたとき、わたしたちは暴風に見舞われました。そして予期せぬことに季節外れの大雪となったのです。雪は次第に激しさを増し、雪山で身動きが取れなくなる恐れが出てきました。嵐の猛威が頂点に達する中、わたしたちは長く険しい山の斜面を小さな駅に向かって何マイルも下りて行きました。その駅で夜行列車に乗り、家路に就ければと思っていたのです。嵐のさなか、わたしたちは大変な苦勞をして、その夜遅く、駅にたどり着きました。……

……わたしたちが期待と希望を胸に到着を待っていたその列車は、大都市を結ぶ夜間の急行列車、つまり夜行特急でした。……



夜もかなりふけたころ、吹きすさぶ風と雪の中、この列車は到着しました。同僚たちがせき立てられるように乗車する中、わたしはその場にたたずんでいました。機関士に興味を覚えたからです。助手は水の補給作業を行っていましたが、この機関士は短い停車時間に、エンジンの点検に大わらわで、数か所に油を注ぎ、その他の箇所を調節していました。それまでの長旅と悪天候であえぐように蒸気を吹き出す機関車を徹底的に点検していたのです。忙しいのは分かっていたのですが、わたしはあえてこの機関士に話しかけました。荒れ狂い、不気味で、恐ろしく、破壊の力が解き放たれ、猛威を振るっているように思われる夜、また嵐が吹き荒れ、四方八方から危険が迫っている夜にはどのような気持ちができるのかと尋ねたのです。……

機関士の答えは今でも忘れられない教訓となりました。言葉は途切れ途切れでまとまった文としては聞こえ

ませんでした。要するに彼はこう答えたのです。「列車のヘッドライトを見てごらん。100ヤード(90メートル)以上先まで、線路を照らし出してくれるだろう。わたしは、ただ100ヤード単位で照らし出される線路を走り抜けようとしているだけさ。それだけは見ることができる、そして少なくともその区間は線路に何も障害がなくて安全だということが分かるんだ。……列車の明かりがいつも自分の前を走ってくれるのさ。」

彼は持ち場の機関士室によじ登りました。わたしは急いで1号車に乗り込み、クッションのよく利いた座席に深々と腰を下ろしました。窓の外の荒れ狂う夜とはまったく対照的に、心温まる至福の思いと全身の安らぎを感じつつ、すすと油にまみれた機関士の言葉を、深く思い巡らしました。機関士たちは自信に満ちあふれていました。それは偉大な仕事を成し遂げる自信であり、勇気と決意の源となる自信でした。……

数年後、あるいは数日後、数時間後にどのような出来事が待ち受けているか、わたしたちには知る由もありません。しかしながら、数ヤードだけ、あるいはひょっとしたらたった数フィートだけかもしれませんが、道は明るく照らし出されています。また、わたしたちの義務は明白で、行く手は明るく照らし出されています。その短い距離、そしてまた次の短い距離と、神の靈感によって明るく照らし出された道を走り続けるのです。■

「3つのたとえ 愚かな蜂、夜行特急、二つのランプ」『リアホナ』2003年2月号、36 - 41から参照

# 洞 察



近頃再奉献されたユタ州オグデン神殿

**わたしたちはどうしたら神殿に参入する民になることができるでしょうか。**

「神殿に参入する民となりましょう。状況が許すかぎり頻繁に神殿に参入しましょう。子供たちに見えるように、家の中に神殿の写真を飾りましょう。主の宮の目的について子供たちに教えましょう。子供たちが幼いうちから神殿に参入することを計画し、その祝福を受けるふさわしさを保てるように助けてください。」

# 今月号のその他の記事

## ヤングアダルト

### 死すべき世— その明らかにされた**現実**

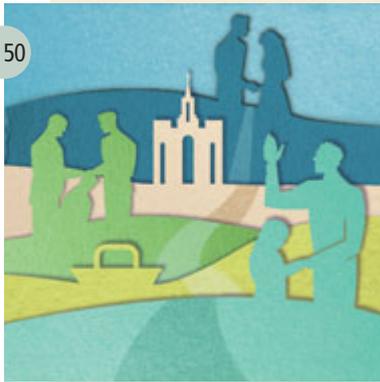
わたしたちは、主がアダムとエバにお教えになった、死すべき世の3つの現実を受け入れることにより、意義深く目的のある人生を送ることができます。



p. 44

## 青少年

p. 50



### 2016年の ミューチャルのテーマ

中央若い男性会長と中央若い女性会長が、今年のテーマと「キリストを確固として信じ、力強く進む」ことがどのような意味なのかを説明します（2ニーファイ 31：20）。

## 子ども

### モルモン書は イエス・キリスト について教える

今年モルモン書を読むときに、あなたは、同じようにイエス・キリストのことについて教えたいと望んだ多くの預言者について学ぶでしょう。



p. 72

末日聖徒  
イエス・キリスト  
教会

JAPANESE



13281 300